広川町公共施設等総合管理計画

福岡県　広川町
平成 29 年３月

・ 平成 27 年度の施設所管部門へのアンケート調査結果より作成した、施設調査票をもとに作成しています。
・ 端数処理や四捨五入等の関係上、表中に記載の個別数字の合算値と合計欄の数字が一致しない場合があります。

目　次

第１章　公共施設等総合管理計画について …… 1
　１．計画策定の趣旨 …… 1
　２．計画の位置づけ …… 1
　３．計画期間 …… 1
　４．計画の対象 …… 2
第２章　公共施設等の現況と将来の見通し …… 3
　第１節　広川町の概要 …… 3
　第２節　人口推移と見通し …… 4
　第３節　財政分析 …… 5
　　（１）歳入歳出の推移と見通し …… 5
　　（２）施設の維持管理経費（コスト）の状況 …… 8
　第４節　公共施設の現状と課題 …… 9
　　（１）公共施設等の保有状況 …… 9
　　（２）公共施設（建築物）の保有量比較 …… 12
　第５節　公共施設にかかる更新費用の試算 …… 13
　　（１）公共施設等にかかる普通建設事業費の実績 …… 13
　　（２）公共施設等の将来更新推計の考え方 …… 14
　　（３）公共施設（建築物）の将来更新費 …… 16
　　（４）インフラ施設の将来更新費 …… 17
第３章　公共施設等の総合的かつ計画的な管理に対する基本方針 …… 18
　第１節　現状と課題に関する基本認識 …… 18
　　（１）広川町全体の現状と課題 …… 18
　　（２）基本認識 …… 19
　第２節　公共施設等のマネジメントに関する基本方針（全体方針） …… 20
　　（１）公共施設等マネジメントの目的 …… 20
　　（２）公共施設等マネジメントの基本方針 …… 20
　　（３）計画のフォローアップについて（計画策定後の取組体制） …… 22
第４章　施設類型ごとの基本方針 …… 23
　第１節　評価・分析の方法 …… 23
　　（１）対象施設 …… 23
　　（２）建物性能の評価・分析方法 …… 24
　第２節　用途別の現状と課題、今後の方向性 …… 27
　　（１）学校教育系施設 …… 27
　　（２）行政系施設 …… 33
　　（３）保健・福祉施設 …… 39
　　（４）社会教育系施設 …… 44
　　（５）スポーツ・レクリエーション系施設 …… 50
　　（６）産業系施設 …… 55
　　（７）町民文化系施設 …… 60
　　（８）子育て支援施設 …… 64
　　（９）公営住宅 …… 69
　　（10）公園 …… 74
　　（11）その他 …… 79
　第３節　インフラ資産の基本方針 …… 82
　　（１）道路・橋梁 …… 82
　　（２）上水道施設、下水道施設 …… 83
　参考資料

第１章　公共施設等総合管理計画について

１．計画策定の趣旨

わが国では、高度成長期に一斉に整備してきた公共施設やインフラ資産の老朽化が大きな課題をもたらしつつあります。

総務省は、平成 26（2014）年４月に「公共施設等総合管理計画」（以下、「本計画」とします）の策定に取り組むよう全国の地方公共団体に要請しました。これは人口減少と厳しい財政状況が続く中で、公共施設等全体の現状と課題を把握し、長期的な視点をもって、公共施設等の適切な整備や更新、長寿命化等を計画的に行うことで、将来の財政負担を軽減、平準化することを目的としています。

２．計画の位置づけ

本計画では、公共施設（建築物）およびインフラ資産（道路、橋梁、上水道）の課題解決に向けて、公共施設等を戦略的に維持管理していくマネジメントの考え方を取り入れます。この公共施設等マネジメントの全体像のうち、本計画を本町の保有資産全体の方向性および取組方針を明らかにする計画と位置づけます。

本計画の立案にあたっては、既に個別に計画を立案済の公園施設長寿命化計画や橋梁長寿命化計画等における考え方を参考にしつつ、本町の公共施設等全体のあり方や今後の方向性を整理しています。今後は、本計画に基づき、公共施設等の用途（行政施設、道路等）ごとに実行計画（個別整備計画、長寿命化計画等）の策定を検討していきます。

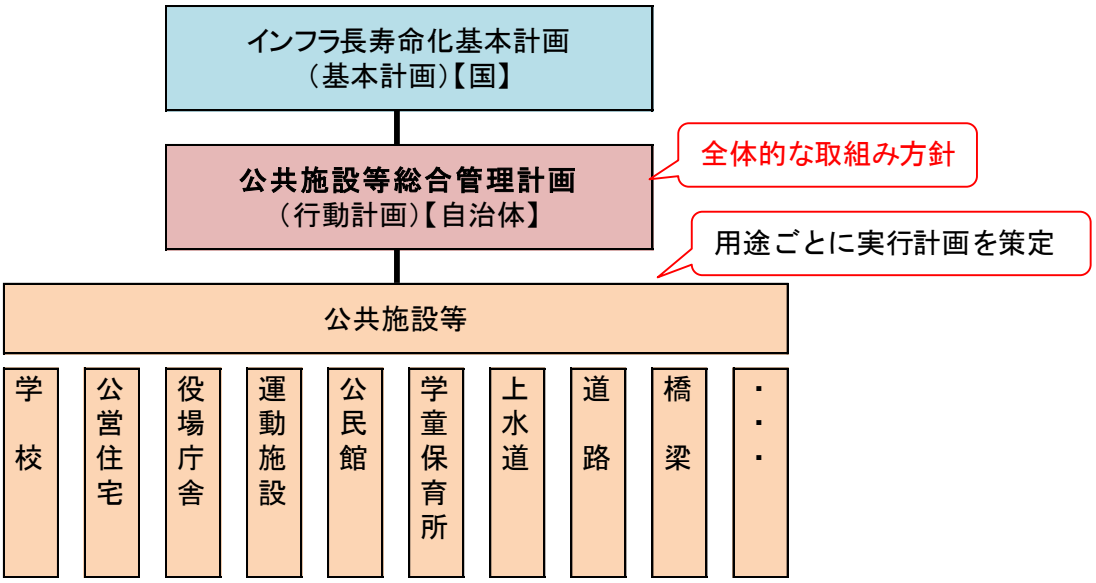


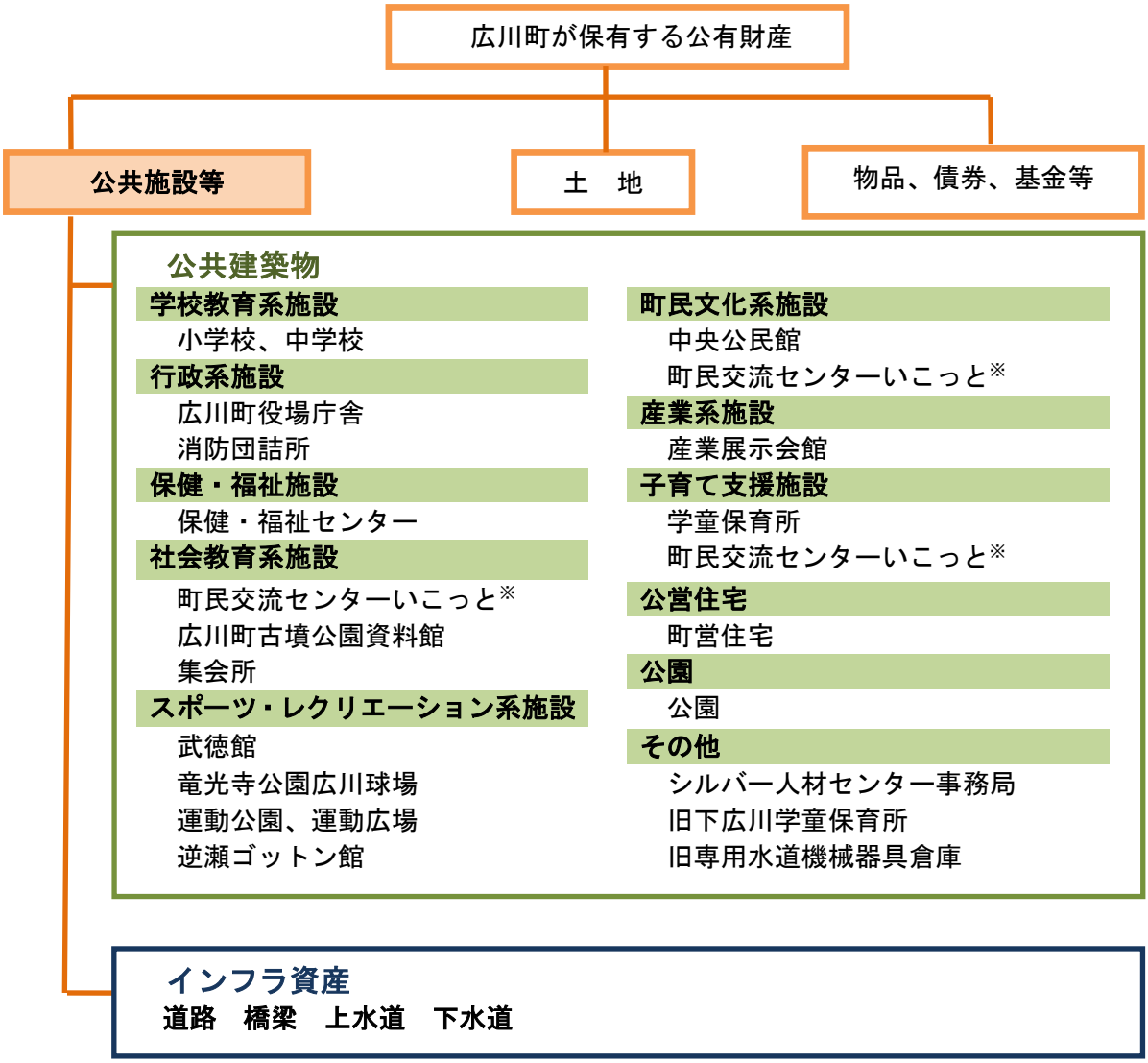
図　公共施設等マネジメントの全体像と公共施設等総合管理計画の位置づけ

３．計画期間

本計画の計画期間は、平成 29 年度（2017 年度）から平成 68 年度（2056 年度）までの 40 年間とします。なお、本計画は、社会経済情勢の変化や上位計画である広川町総合計画の見直し等を考慮し、適宜見直していくこととします。

４．計画の対象

本計画の対象となるのは、広川町が保有する全ての「公共施設等」であり、下に示す公共建築物およびインフラ資産とします。



※：町民交流センターいこっとは、図書館、子育て支援センター、研修施設を備えた複合施設です。本計画では、社会教育系施設（図書館）として分類、評価しました。

第２章　公共施設等の現況と将来の見通し

第１節　広川町の概要

広川町は、福岡県南部に位置し、東西約 14km、南北 5.4km、面積 37.94km² となっています。

昭和 30（1955）年 4 月 1 日に、上広川村、中広川村が合併により村を廃し、広川町として発足し、さらに同年 12 月 1 日に下広川村の一部が編入して、13 の大字からなる現在の広川町となりました。

この地域は、石器縄文式土器、炭化米の出土品が示すように相当古くから人類生活が営まれ、稲作農業が展開してきたことがうかがえます。

また、大和朝廷による国家統一とほぼ時代を同じくする古墳文化も石人山古墳をはじめ、岩戸山古墳など八女古墳群に見られ、江戸時代の 17 世紀後半には、広川古賀組の大庄屋、稲員孫右エ門父子三代により広川三村の道路、水路の開発、橋梁の修理等が行われ、耕地の増大、生産増加がなされてきました。

合併後、昭和 40（1965）年までは、人口の減少が見られましたが、経済の変化、交通の利便、モータリゼーションの向上などにより、平成 22（2010）年国勢調査までは、伸び幅は年々小さくなっているものの人口増となっています。

これは、福岡・久留米市の急激な発展の影響を受け、特に久留米都市圏の外延的拡張に伴いベッドタウン的役目を担ってきたことや広川町中核工業団地における企業立地の進展により、国道３号線沿いを中心に都市化、宅地化が進んできたことよるものと考えられます。

しかしながら、横ばい増加傾向にあった人口も平成 27（2015）年国勢調査では減少に転じ、今後、これまで以上に少子・高齢化の進展が予想されます。

そのため、広川町の持続的な発展のため、定住促進、住民の安全確保に向けた地域防災体制の強化、基幹産業である農業の 6 次産業化や新たな農産物のブランド化による雇用の拡大、企業誘致を見据えたインフラ整備など、様々な施策に取り組み、広川町民であることに誇りを持てるような「まちづくり」を進めています。

第２節　人口推移と見通し

広川町の人口は、「日本の地域別将来人口推計」（以下、人口推計）によると、平成 22（2010）年の 20,253 人をピークに、平成 52（2040）年には 17,870 人に減少すると予測されています。これは、平成 22（2010）年の人口と比較すると、2,383 人（12%）減少していることになります。

年齢 3 区分別人口をみると、老年人口は一貫して増加を続けています。人口推計によると、今後も老年人口は増加し続け、平成 52（2040）年には、町全体の 29.4%（3 人に 1 人）が 65 歳以上となり、生産年齢人口約 1.6 人で老年人口 1 人を支えることになります。

表　人口推移と将来推計

実績値					推計値				
昭和55年 1980年	平成2年 1990年	平成12年 2000年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年	平成42年 2030年	平成47年 2035年	平成52年 2040年
17,154	18,629	19,437	20,253	20,066	19,759	19,355	18,914	18,419	17,870
0～14歳人口数（年少人口）			2,990	2,900	2,759	2,584	2,443	2,376	2,327
15～64歳人口数（生産年齢人口）			12,462	11,723	11,235	10,872	10,605	10,175	9,580
65歳以上人口数（老年人口）			4,801	5,443	5,765	5,899	5,866	5,868	5,963
総人口に占める0～14歳の割合			14.8	14.3	13.6	12.8	12.1	11.7	11.5
総人口に占める15～64歳の割合			61.5	57.9	55.5	53.7	52.4	50.2	47.3
総人口に占める65歳以上の割合			23.7	26.9	28.5	29.1	29.0	29.0	29.4

※推計値：日本の地域別将来人口推計（平成25（2013）年3月推計）

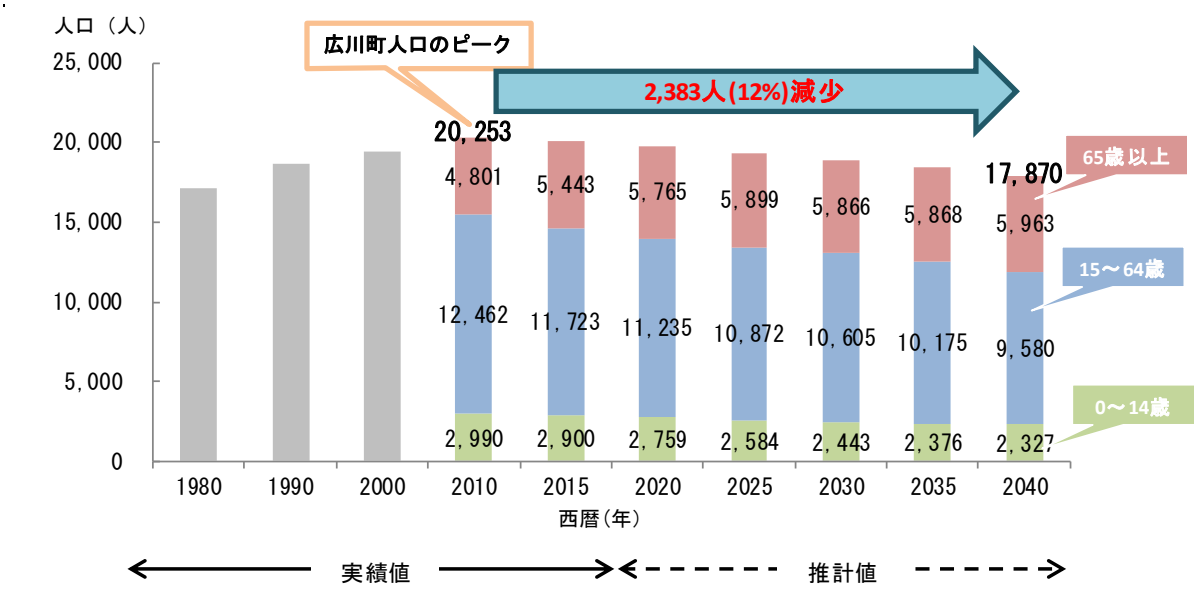


図　人口推移と将来推計

第３節　財政分析

（１）歳入歳出の推移と見通し

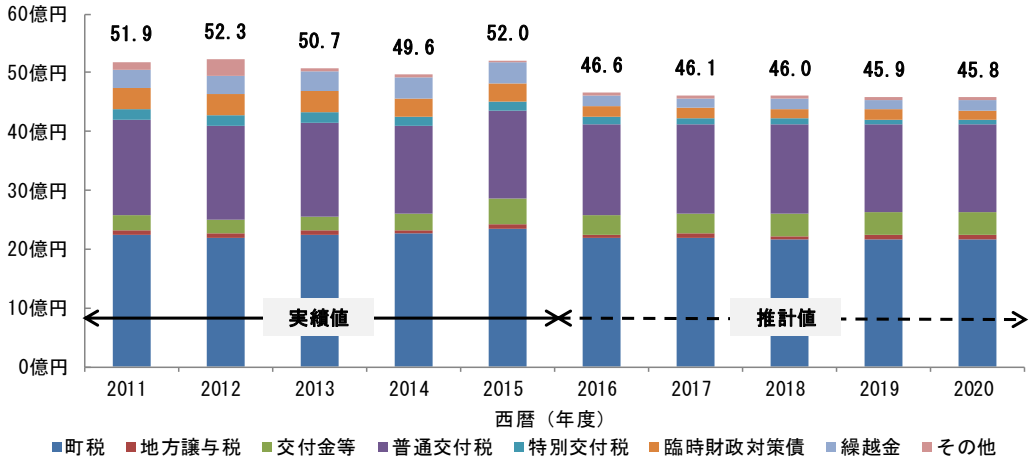
「広川町財政計画（平成 27（2015）年 7 月改訂)」によると、広川町の歳入額（一般財源ベース）は、平成 27（2015）年度に約 52 億円であったものが、平成 32（2020）年度には、町税等を最大限に見積もった場合で約 49.0 億円、最小に見積もった場合で約 42.6 億円と、約 2.9～9.3 億円の減少が見込まれています。

表　歳入の推移と見通し

（百万円）

区　分		実績値					推計値				
		H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	H31年度 2019年度	H32年度 2020年度
町税	最小						2,143	2,137	2,072	2,068	2,062
	最大						2,225	2,246	2,238	2,261	2,285
	中間	2,240	2,200	2,248	2,261	2,347	2,184	2,192	2,155	2,165	2,174
地方譲与税	最小						69	69	68	67	65
	最大						72	72	72	72	72
	中間	84	78	75	72	75	71	71	70	70	69
交付金等	最小						292	306	359	359	358
	最大						357	369	421	421	421
	中間	252	230	243	274	440	325	338	390	390	390
実質的交付税	最小						1,780	1,680	1,650	1,620	1,590
	最大						1,951	1,916	1,891	1,876	1,871
	中間	2,164	2,141	2,125	1,963	1,949	1,866	1,798	1,771	1,748	1,731
普通交付税	最小						1,540	1,500	1,470	1,440	1,410
	最大						1,550	1,560	1,550	1,550	1,560
	中間	1,617	1,602	1,589	1,483	1,492	1,545	1,530	1,510	1,495	1,485
特別交付税	最小						120	90	90	90	90
	最大						130	100	100	100	100
	中間	177	181	168	157	154	125	95	95	95	95
臨時財政対策債	最小						120	90	90	90	90
	最大						271	256	241	226	211
	中間	370	358	368	323	303	196	173	166	158	151
繰越金	最小						150	150	150	150	150
	最大						200	200	200	200	200
	中間	320	307	337	340	364	175	175	175	175	175
その他	最小						30	30	30	30	30
	最大						50	50	50	50	50
	中間	132	271	45	54	27	40	40	40	40	40
歳入合計	最小						4,464	4,372	4,329	4,294	4,255
	最大						4,855	4,853	4,872	4,880	4,899
	中間	5,192	5,227	5,073	4,964	5,202	4,660	4,613	4,601	4,587	4,577

出典：広川町財政計画（平成27年7月改訂）。ただし、財政計画策定時に未確定であった平成26,27年度の実績値は決算資料による。



注）推計値は、最大限と最小の中間値

図　歳入の推移と見通し

歳入の減少が予測されているのに対して、歳出総額（一般財源充当ベース）は、おおよそ 45 億円程度で推移し、大きな変動は見込まれていません※1。

歳出の内訳をみると、歳出全体に占める義務的経費（人件費、社会保障や福祉等に充てられる扶助費、将来に返済義務がある公債費）が、5 割近くを占めています。

表　歳出の推移と見通し

区　分	実績値					推計値				
	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	H31年度 2019年度	H32年度 2020年度
義務的経費	**2,094**	**2,106**	**2,009**	**2,073**	**2,067**	**2,077**	**2,132**	**2,151**	**2,120**	**2,123**
人件費	1,079	1,059	972	995	997	1,009	1,027	1,023	1,017	1,006
扶助費	264	289	280	346	385	383	387	389	391	393
公債費	751	758	757	732	685	685	718	739	712	724
物件費	584	507	544	577	628	591	590	591	593	594
維持修繕費	26	16	9	11	7	18	18	18	18	18
補助費等	890	877	864	797	801	830	833	838	844	850
積立金	430	298	180	8	175	80	80	80	80	80
投資及び出資金・貸付金	50	47	51	44	46	95	99	70	72	73
繰越金	612	620	671	714	711	713	724	717	739	762
歳出合計	**4,686**	**4,471**	**4,328**	**4,224**	**4,435**	**4,404**	**4,476**	**4,465**	**4,466**	**4,500**

出典：広川町財政計画（平成27年7月改訂）。ただし、財政計画策定時に未確定であった平成26,27年度の実績値は決算資料による。

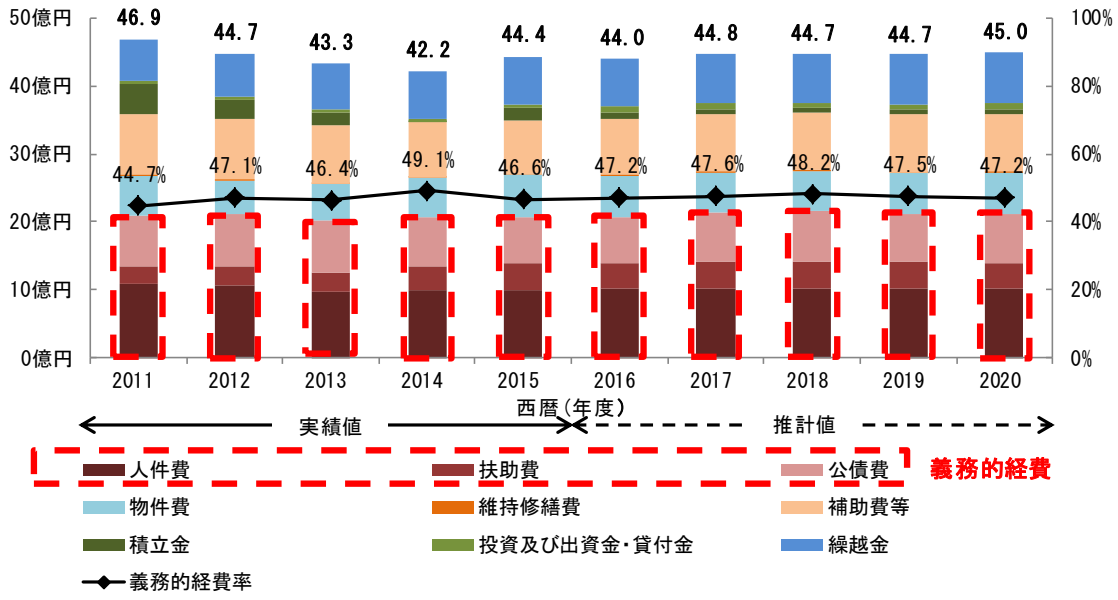


図　歳出の推移と見通し

※1　：平成 27（2015）年時点での予測であり、随時見直していきます。

一般財源ベースでの歳入と歳出の差額をみると、町税等を最小で見積もった場合で、平成 31（2019）年度から赤字になる予測となり、新規事業・重点化事業・投資的経費に充当できる一般財源は、平成 29（2017）年度以降確保できない予測となっています。

表　一般財源収支差額の見通し

（百万円）

区　分	実績値					推計値				
	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	H31年度 2019年度	H32年度 2020年度
最小	506	756	745	740	767	60	−104	−136	−172	−245
最大						451	377	407	414	399

最大…町税等を最大限見積もった場合
最小…町税等を最小で見積もった場合
出典：広川町財政計画（平成27年7月改訂）。ただし、財政計画策定時に未確定であった平成26,27年度の実績値は決算資料による。

表　新規・重点化事業、投資的経費充当可能一般財源

（百万円）

区　分	実績値					推計値				
	H23年度 2011年度	H24年度 2012年度	H25年度 2013年度	H26年度 2014年度	H27年度 2015年度	H28年度 2016年度	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	H31年度 2019年度	H32年度 2020年度
最小	186	449	408	399	405	61	−88	−135	−186	−124
最大						251	177	207	214	199

最大…町税等を最大限見積もった場合
最小…町税等を最小で見積もった場合
出典：広川町財政計画（平成27年7月改訂）。ただし、財政計画策定時に未確定であった平成26,27年度の実績値は決算資料による。

（２）施設の維持管理経費（コスト）の状況

施設の日常的な維持管理には、人件費等の施設を運営するために必要な「施設運営にかかるコスト」が約 97,549 千円/年（56.6%）、光熱水費や修繕料などの「施設保有にかかるコスト」が 74,650 千円（43.4%）、合計 172,199 千円/年の維持管理費がかかっています。

この維持管理費は、施設の延床面積当たりでは、約 3.6 千円/㎡、町民 1 人当たりでは約 8.5 千円/人に相当します。

公共施設（建築物）にかかる維持管理費の内訳

施設運営にかかるコスト	**97,549千円**	**56.6%**
人件費	18,331千円	10.6%
委託料（指定管理費含む）	79,218千円	46.0%
施設保有にかかるコスト	**74,650千円**	**43.4%**
光熱水費・燃料費・電話料	38,478千円	22.3%
修繕料	8,964千円	5.2%
手数料・使用料・賃借料	4,060千円	2.4%
原材料費・消耗品・備品等購入費	18,252千円	10.6%
負担金・補助金・交付金	3,831千円	2.2%
その他（旅費・交通費・印刷製本費等）	1,065千円	0.6%
合計（工事請負費除く）	**172,199千円**	**100.0%**

延床面積当たりコスト	3.6千円
町民1人当たりコスト	8.5千円

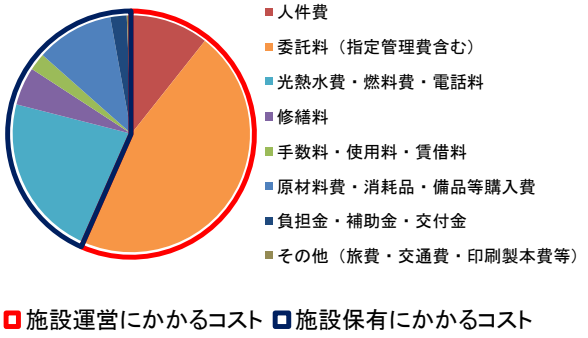


図　公共施設（建築物）にかかる維持管理費の内訳〔平成 24～26（2012～2014）年度の平均〕

用途別にみると、学校教育系施設が全体の 22.5%、次いで社会教育系施設が約 18%、行政系施設および保健・福祉施設がそれぞれ約 13%を占めています。

用途分類別の維持管理費

用途分類		
学校教育系施設	38,743千円	22.5%
社会教育系施設	30,863千円	17.9%
行政系施設	22,535千円	13.1%
保健・福祉施設	21,826千円	12.7%
スポーツ・レクリエーション系施設	17,329千円	10.1%
子育て支援施設	13,789千円	8.0%
その他	7,925千円	4.6%
産業系施設	6,749千円	3.9%
町民文化系施設	6,089千円	3.5%
公園	5,579千円	3.2%
公営住宅	774千円	0.4%
合計（工事請負費除く）	**172,201千円**	**100.0%**

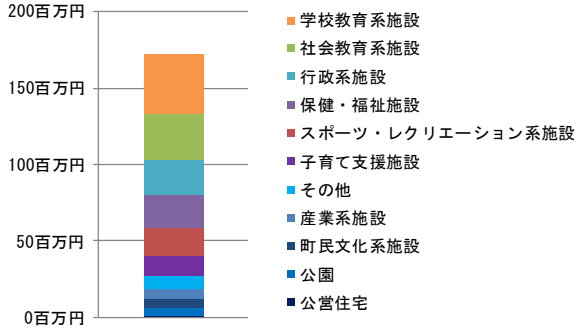


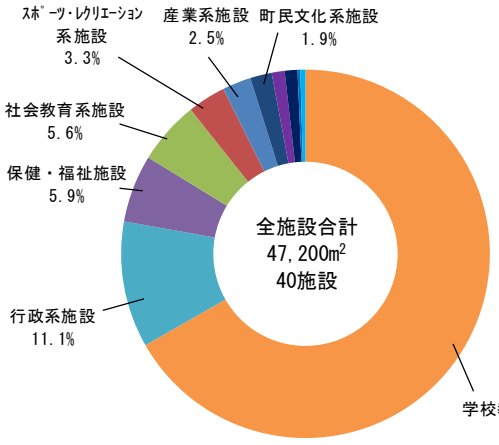
図　公共施設（建築物）にかかる用途分類別の維持管理費〔平成 24～26（2012～2014）年度の平均〕

第４節　公共施設の現状と課題

（１）公共施設等の保有状況

■公共施設（建築物）の保有状況（延床面積）

延床面積では、約 47 千 m² の建築物を有しており、そのうち学校教育系施設（小中学校）が全体の約 7 割を占めています。



用途分類	延床面積	構成比	施設数
学校教育系施設	31,500 ㎡	66.7%	4
行政系施設	5,232 ㎡	11.1%	7
保健・福祉施設	2,798 ㎡	5.9%	1
社会教育系施設	2,621 ㎡	5.6%	4
スポーツ・レクリエーション系施設	1,578 ㎡	3.3%	7
産業系施設	1,188 ㎡	2.5%	1
町民文化系施設	894 ㎡	1.9%	1
子育て支援施設	533 ㎡	1.1%	3
公営住宅	528 ㎥	1.1%	3
公園	116 ㎡	0.2%	6
その他	212 ㎡	0.4%	3
合計	47,200 ㎡	100.0%	40

図　公共施設（建築物）の用途別保有状況

建築年度別にみると、築 30 年以上経過した施設が延床面積全体の約 30%を占めており、広川町役場庁舎や下広川小学校などの老朽化が進んできています。

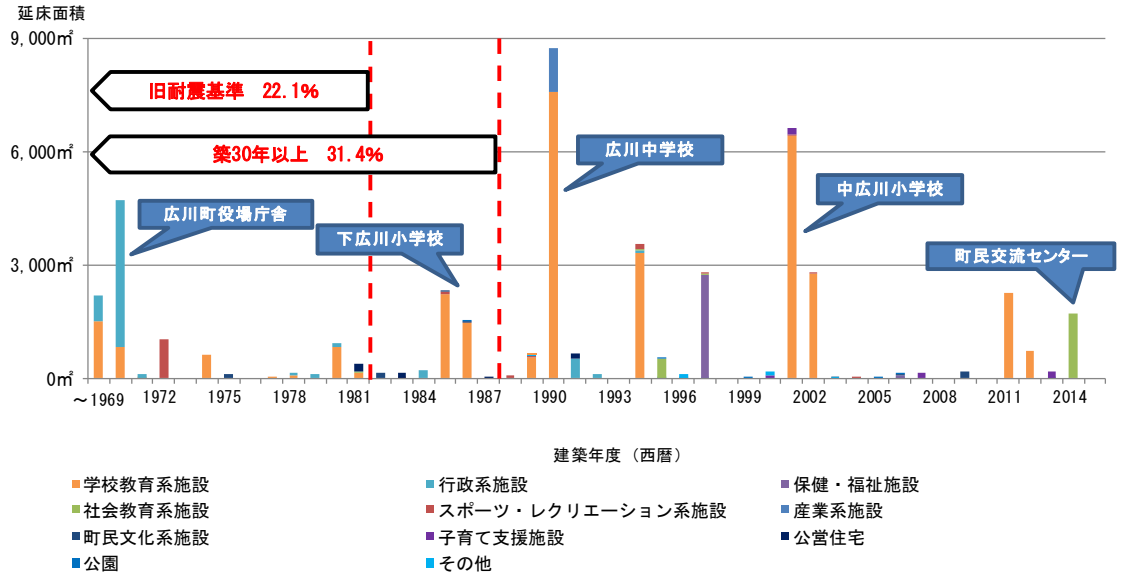


図　公共施設（建築物）の年度別整備状況

■インフラ資産（道路、橋梁、上水道、下水道）の保有状況および年度別整備状況

➢ 道　路

本町の道路は、総延長 268,776m、面積 1,545,355m² となっています。

表　道路の整備状況

道路種別	実延長	面積
一般道路	246,138 m	1,477,625 m²
自転車歩行者道	22,638 m	67,730 m²
合　計	**268,776 m**	**1,545,355 m²**

出典：道路台帳，道路現況（部分自歩道）台帳

➢ 橋　梁

橋梁は、160 橋あり、総延長 1,464m、面積 317,204m² となっています。

表　橋梁の整備状況

橋梁種別	橋梁数	実延長	面積
鋼橋	4	201 m	7,915 ㎡
PC橋	34	689 m	67,465 ㎡
RC橋	75	409 m	147,989 ㎡
ボックスカルバート	46	161 m	91,907 ㎡
石橋	1	4 m	1,928 ㎡
合　計	**160**	**1,464 m**	**317,204 ㎡**

出典：橋梁点検報告書

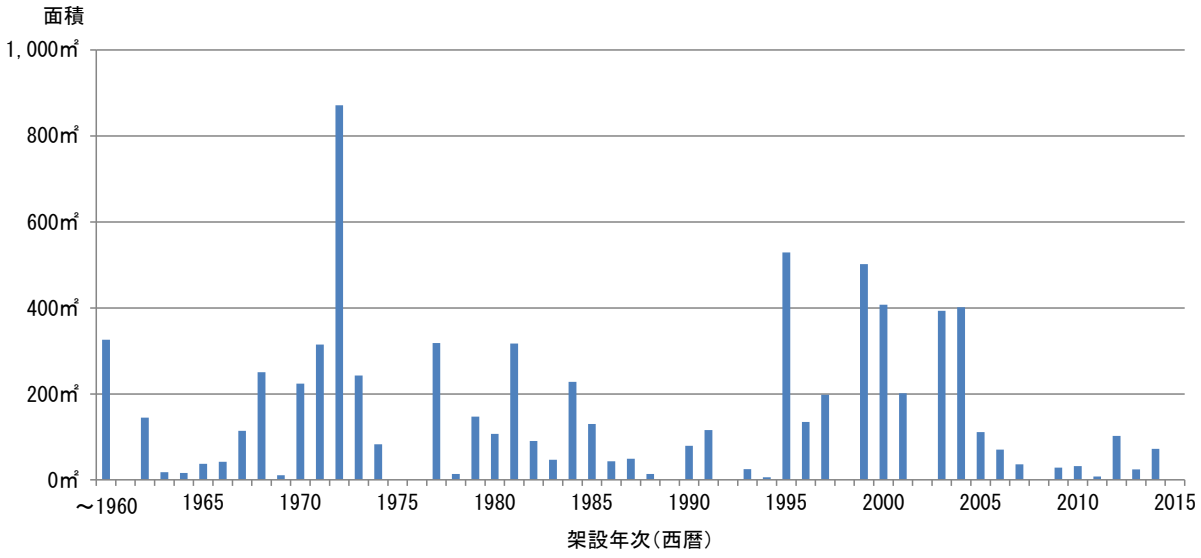


図　橋梁の整備状況と経過年数

➢ **上水道（管渠）**

上水道（管渠）は、総延長 119,273m となっています。

全体の約 94%が、平成 10（1998）年以前に整備されており、将来的な更新時期の集中が想定されます。

.

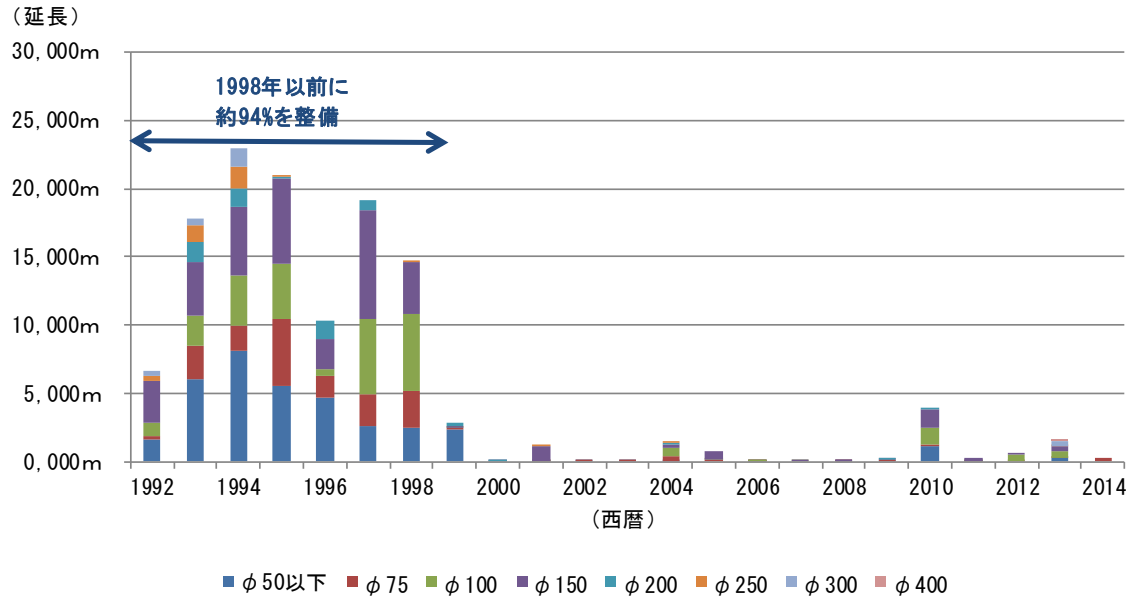


図　上水道（管渠）の整備状況

➢ **下水道（管渠）**

下水道（管渠）は、塩ビ管 36,754m、鉄筋コンクリート 1,067m、圧送管 631m の総延長 38,452m となっています。

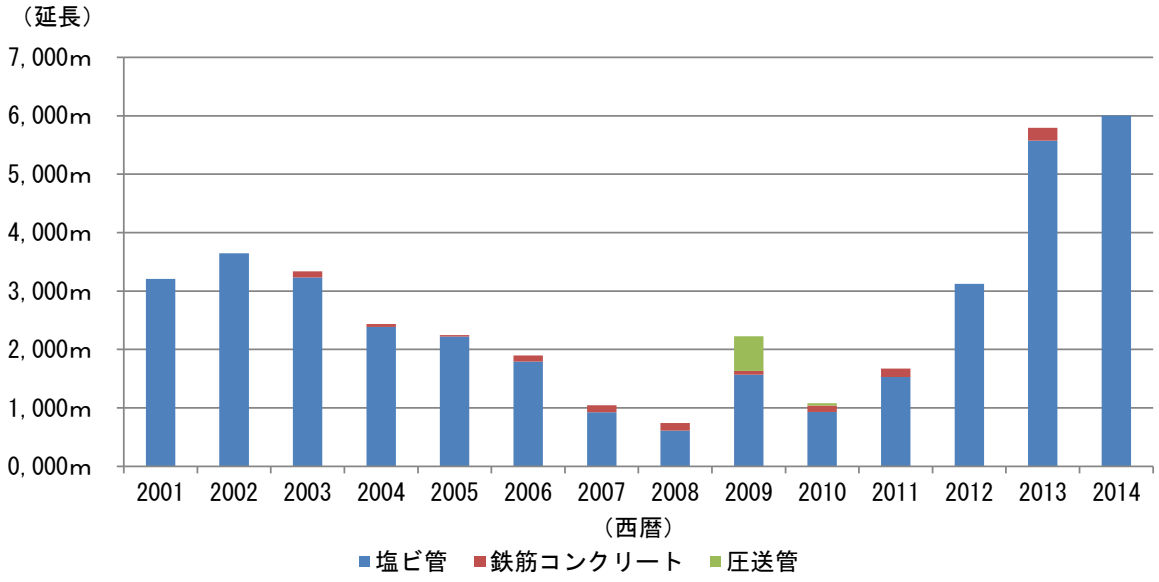


図　下水道（管渠）の整備状況

（２）公共施設（建築物）の保有量比較

■県内の自治体との比較

県内の町村を対象に、総務省「公共施設状況調査経年比較表」から、平成 26（2014）年度末の公有財産（土地・建物）の建物総面積合計による比較を行いました。なお、住民 1 人当たりに用いた人口は、平成 27（2015）年国勢調査人口を用いています。

広川町の公有財産（建物）延床面積は、45,662m² となっており、県内 32 町村で 5 番目に少ない状況となっています。

住民 1 人当たりに換算すると、6.3 ㎡/人となり、32 町村平均の 7.3 ㎡/人を下回っています。

順位	自治体名	1人当たり面積
1	川崎町	24.1 ㎡/人
2	東峰村	18.3 ㎡/人
3	添田町	15.7 ㎡/人
4	大任町	14.5 ㎡/人
5	赤村	13.2 ㎡/人
6	糸田町	12.7 ㎡/人
7	福智町	10.8 ㎡/人
8	小竹町	8.8 ㎡/人
9	香春町	8.6 ㎡/人
10	みやこ町	8.5 ㎡/人
11	築上町	8.1 ㎡/人
12	上毛町	7.9 ㎡/人
13	芦屋町	7.8 ㎡/人
14	鞍手町	7.5 ㎡/人
15	那珂川町	7.2 ㎡/人
16	水巻町	6.6 ㎡/人
17	**広川町**	**6.3 ㎡/人**
18	久山町	5.8 ㎡/人
19	桂川町	5.2 ㎡/人
20	筑前町	4.5 ㎡/人
21	吉富町	4.4 ㎡/人
22	苅田町	3.6 ㎡/人
23	大刀洗町	3.4 ㎡/人
24	遠賀町	3.4 ㎡/人
25	篠栗町	3.1 ㎡/人
26	大木町	3.0 ㎡/人
27	宇美町	2.8 ㎡/人
28	岡垣町	2.7 ㎡/人
29	須恵町	2.6 ㎡/人
30	粕屋町	2.4 ㎡/人
31	新宮町	2.3 ㎡/人
32	志免町	2.1 ㎡/人
平　均		7.4 ㎡/人

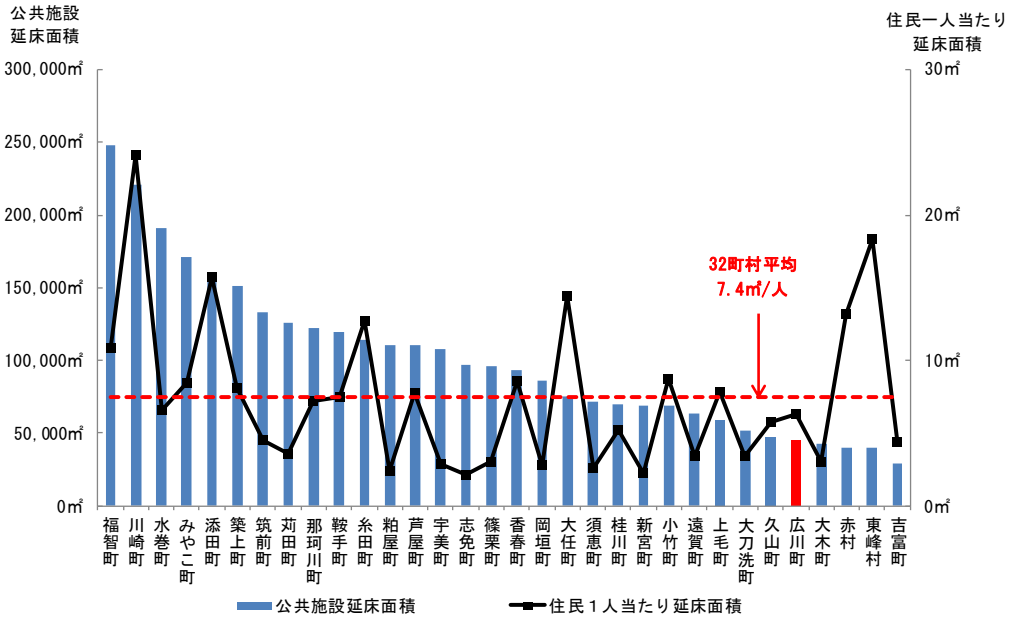


図　公共施設延床面積と住民１人当たり延床面積の比較

第５節　公共施設にかかる更新費用の試算

（１）公共施設等にかかる普通建設事業費の実績

平成 22（2010）年度から平成 27（2015）年度までの普通建設事業費の実績から、公共施設整備費は平均で約 5.6 億円/年、インフラ整備費は平均で約 3.4 億円/年であり、用地取得費を加えた公共施設等に充てられた費用は、<u>平均で約 9.4 億円/年</u>となっています。※2

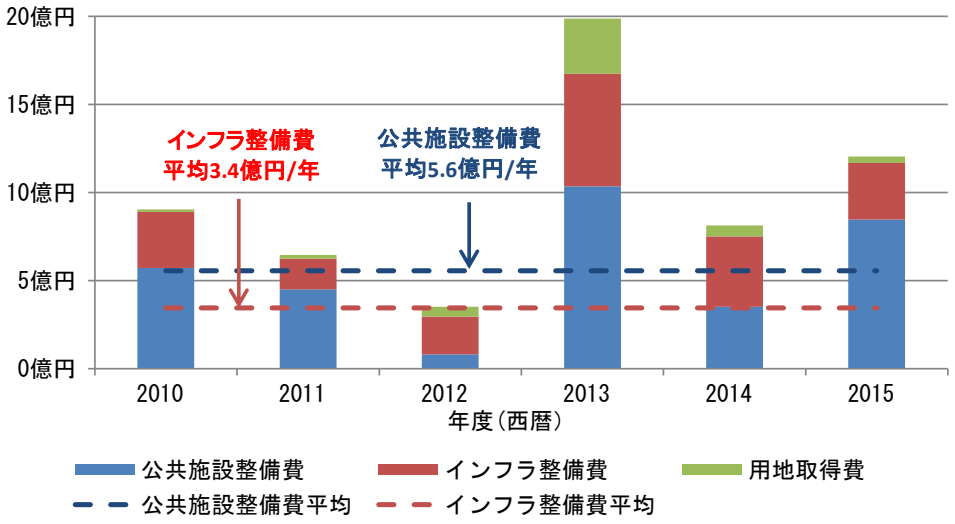


図　公共施設等にかかる普通建設事業費の目的別実績

補助事業費と単独事業費の割合をみると、国や県に依存しない本町独自の財源で賄ってきた費用は約 4 割程度となっています。

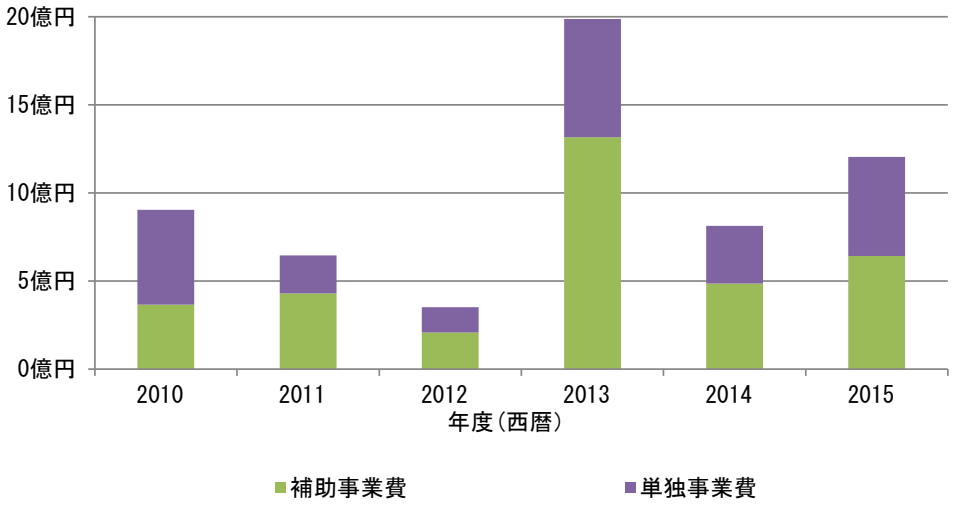


図　公共施設等にかかる普通建設事業費の性質別実績

※2：決算統計の普通建設事業費の内訳より、公共施設整備費は「総務費、民生費、労働費、商工費、土木費のうち住宅部分、消防費、教育費」、インフラ整備費は「土木費（道路橋りょう、都市計画）」の合計金額としています。

（２）公共施設等の将来更新推計の考え方

広川町が保有する公共施設等の将来更新費用の算定については、総務省が公開する「更新費用試算ソフト」（以下「総務省ソフト」という）の算定条件を参考に算出します。

（算定の対象）

公共建築物及びインフラ施設（道路、橋梁、上水道、下水道）とします。

（算定の手法）

現在の公共施設等を、それぞれ設定した耐用年数の経過後に現在と同じ規模で更新すると仮定して算定します。

公共施設等の整備数量データに更新単価を乗じることにより、将来の更新費用を算定します。

表　施設別の耐用年数の設定

種　別	更新時期（耐用年数）	試算の基礎単位
公共施設（建築物）	60年で建替え 30年で大規模改修	延床面積（㎡）
道　路	15年で更新	面積（㎡）
橋　梁	60年で架替え	面積（㎡）
上水道（管渠）	40年で更新	延長（ｍ）
下水道（管渠）	50年で更新	延長（ｍ）

①公共建築物

公共施設の大分類ごとの単価に更新する延床面積を乗じることで、更新費用を算出します。

大規模改修の修繕期間は 2 年、建替え期間は 3 年としています。なお、現時点で築 30 年（築 60 年）が経過しており、大規模改修（建替え）が実施されていない建築物については、更新費用を直近 10 年間に等分します。

表　公共建築物の更新費用単価

用途別	大規模改修単価 （築30年後）	建替え単価 （築60年後）
町民文化系、社会教育系、産業系、行政系等施設	25万円／㎡	40万円／㎡
スポーツ・レクリエーション系等施設、保健・福祉施設、その他、上水道施設（建築物）	20万円／㎡	36万円／㎡
学校教育系、子育て支援等施設、公園	17万円／㎡	33万円／㎡
公営住宅	17万円／㎡	28万円／㎡

②道路

全整備面積を 15 年で割った面積の舗装部分を毎年度更新していくと仮定して、更新費用を算出します。

表　道路の更新費用単価

種　別	単　価	耐用年数
一般道路	4,700円／㎡	15年

③橋梁

部材ごとの単価に橋梁の面積（㎡）を乗じることで、更新費用を算出します。なお、現時点で積み残している処理の割り当て年数は 5 年とします。

表　橋梁の更新費用単価

構　造	単　価	耐用年数
PC	425千円／㎡	60年
RC	425千円／㎡	
鋼橋	500千円／㎡	
石橋	425千円／㎡	
その他	425千円／㎡	

④上水道（管渠）

管径ごとの単価に水道管の延長距離を乗じることで、更新費用を算出します。なお、現時点で積み残している処理の割り当て年数は 5 年とします。

表　上水道の更新費用単価

構　造	管　径	単　価	耐用年数
導水管・送水管	～300mm未満	100千円／m	40年
	300～500mm未満	114千円／m	
配水管	～150mm以下	97千円／m	
	～200mm以下	100千円／m	
	～250mm以下	103千円／m	
	～300mm以下	106千円／m	
	～350mm以下	111千円／m	
	～400mm以下	116千円／m	

⑤下水道（管渠）

管種ごとの単価に下水道管の延長距離を乗じることで、更新費用を算出します。

表　下水道の更新費用単価

管　種	単　価	耐用年数
コンクリート管	124千円／m	50年
塩ビ管	124千円／m	
その他	124千円／m	

（３）公共施設（建築物）の将来更新費

公共施設（建築物）の将来更新費は、平均 4.5 円/年と想定されます。

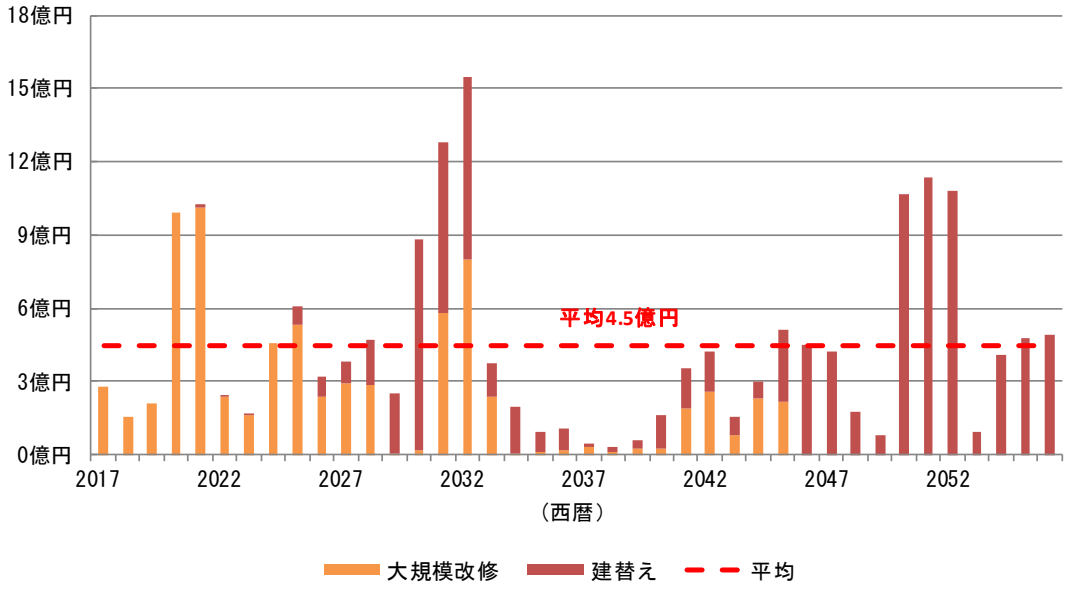
過去 6 年間における公共施設整備費の平均は約 5.6 億円/年であり、平成 44（2032）年の更新ピーク時には、約 15.5 億円の更新費が見込まれていることから、最大 10 億円程度の不足となります。

そのため、将来更新費用が、充当可能な財源の目安を超過する年度において、老朽化した施設の早期更新に加え、公共建築物の長寿命化を図ることで 1 年間あたりの更新費用を縮減しながら、財政負担の平準化を図る必要があります。

表　公共建築物の将来更新費

（億円）

西暦	2016年以前（積み残し）	2017～2021年	2022～2026年	2027～2031年	2032～2036年	2037～2041年	2042～2046年	2047～2051年	2052～2056年
大規模改修	14.94	19.06	8.79	11.77	10.75	2.81	7.83	0.00	0.00
建て替え	0.00	0.08	1.75	20.91	12.48	3.76	10.59	28.80	25.51
合　計	14.94	19.14	10.54	32.68	23.23	6.57	18.42	28.80	25.51



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　公共建築物の将来更新費

（4）インフラ施設の将来更新費

インフラ施設の将来更新費は、平均 8.9 億円/年であり、うち一般会計の対象である道路、橋梁は平均 5.3 億円と想定されます。

平成 44（2032）年以降に予測されている上水道の更新費用の増大により、ピーク時には、27.6 億円の更新費が見込まれています。

そのため、インフラ施設の予防保全や長寿命化を図ることによって、1 年間あたりの更新費用を縮減しながら、財政負担の平準化を図る必要があります。

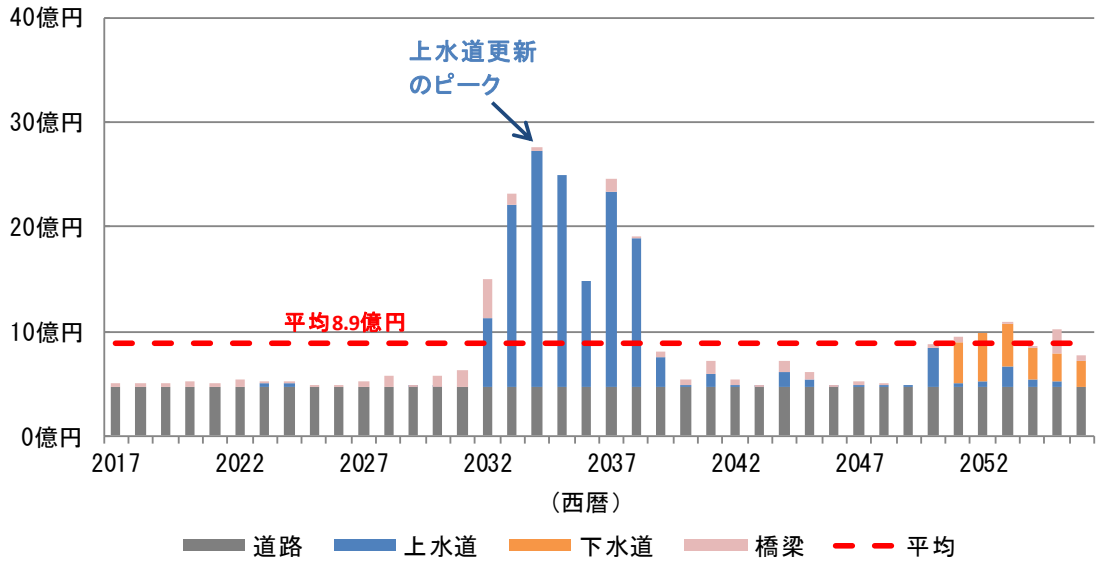


図　インフラ施設の将来更新費

第３章　公共施設等の総合的かつ計画的な管理に対する基本方針

第１節　現状と課題に関する基本認識

（１）広川町全体の現状と課題

主にこれまでに、人口推移と見通し、財政状況及び公共施設等の現状について整理してきました。これらの結果より、広川町が抱える課題は以下のとおりです。

課題１：人口減少・少子高齢化の影響

- 人口減少により、施設利用者・需要の減少が予測されます。
- 少子高齢化の進行により、中長期的には学校教育系施設等の需要減少、介護・福祉ニーズの増加が予測されます。

課題２：財政規模の縮小

- 国の財政支援の削減や、人口減少に伴う税収の減少により、歳入が減少することが予測されます。
- 歳出については、高齢化の進行による扶助費の増大によって、公共施設等の更新財源（普通建設事業費等）の確保が困難になることが予測されます。

課題３：公共施設の老朽化・安全性の確保

- 公共施設の老朽化の進行によって、今後 10 年以内に築 30 年以上を経過した施設（全体の約 3 割）の大規模改修時期が集中することが予測されます。
- 耐震基準の改正前（旧耐震基準）に建設された建物（全体の約 2 割）について、安全性の確保が課題です。
- 上水道（管渠）の約 94%が 1998 年以前に整備されており、更新時期が集中することが予測されます。

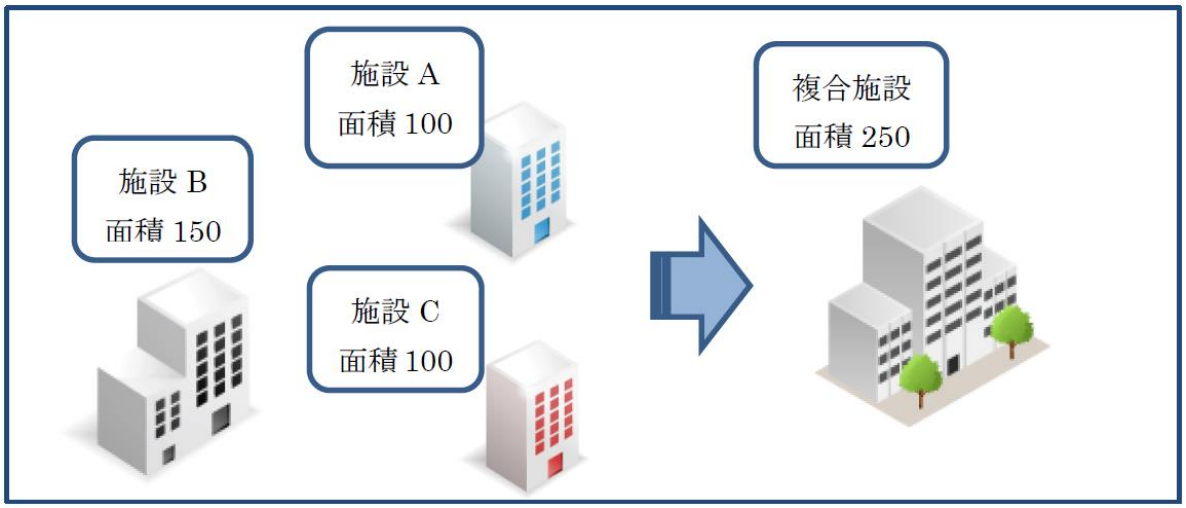
（２）基本認識

広川町が抱える課題に対応するためには、町民ニーズの変化や適正な施設規模を見極めたうえで、「建築物やインフラの充実から機能（サービス）重視へ」という公共施設等のあり方を実現させる必要があります。

そのため、「長寿命化」「複合化」「集約化」等を推進し、より効率的・効果的な運用やサービスの提供を実施することが求められます。

≪用語について≫

【長寿命化】
・適切な改修等により建物の性能を維持し、**施設の寿命を延長**すること。
【複合化】
・複数の**異なる**機能の施設を１つの施設（建物、同一敷地内）にまとめること。
【集約化】
・複数の**類似する**機能の施設を１つにまとめること。



複合化のイメージ

第２節　公共施設等のマネジメントに関する基本方針（全体方針）

（１）公共施設等マネジメントの目的

公共施設等を取り巻く環境を踏まえたうえで、様々な課題に的確に対応し、総合的な公共施設等の管理を通じて、必要な行政サービスを将来にわたって持続的に提供することを目的とします。

（２）公共施設等マネジメントの基本方針

前節の現状と課題に対する基本認識において整理した課題の解決に向けて、以下に揚げる基本方針に基づき、必要な取組みや対策を検討、実施していきます。

基本方針①：施設性能の向上・長寿命化

主要な取り組み項目

- 点検･診断による現状把握
- 耐震･大規模改修による機能維持
- 予防保全型維持管理の導入
- 施設の長寿命化

【施設性能の向上・長寿命化に向けた取り組み事項】

点検・診断による現状把握

- 公共施設については、法定点検等に加え、施設管理者による定期的な目視点検等を実施し、劣化状況を確実に把握していきます。
- インフラについては、国の指針等に沿った適切な点検診断等を確実に実施していきます。
- 把握した点検診断結果を集約し、更新等の優先順位や重要度の判断に活用します。

耐震・大規模改修による機能維持

- 今後も長期にわたって維持していく施設については、安全性の確保や機能維持の観点から、耐震改修や大規模改修を実施します。
- 耐震・大規模改修は、財政状況に配慮しつつ、点検・診断結果による優先度、重要度を検討のうえで実施します。
- 熊本地震等の状況も踏まえ、災害拠点や避難所指定されている施設については、最優先で耐震性の向上に努めていきます。

予防保全型維持管理の導入

- 今後も継続していく建築物やインフラについては、不具合が発生した段階で修繕を行う「事後保全型維持管理」から不具合が顕在化する前に計画的な修繕等を行う「予防保全型維持管理」への転換を推進します。

施設の長寿命化

- 予防保全型維持管理の取り組みを行うことで､建築物やインフラの耐用年数を延ばし、長寿命化を図ります。
- 長寿命化による更新期間の延長や更新時期の調整によって、ライフサイクルコストを削減、平準化し、将来更新費の不足額の改善を目指します。
- 長寿命化の実施にあたっては、長寿命化計画等に基づき計画的・効率的に事業を実施していくとともに､長寿命化計画が未策定の類型については計画の策定を検討します。

基本方針②：保有量の適正化

主要な取り組み項目

- 整備の重点化
- 施設の最適化
- 柔軟なサービスの提供

【保有量の適正化に向けた取り組み事項】

整備の重点化

- 限られた財源の中で、効果的に整備を行うため、整備の必要な公共施設を絞り込み、集中的に投資することで、より効率的・効果的な整備を実施します。

施設の最適化

- 施設の複合化・多機能化を推進することで、様々な施設機能の相乗効果を生み出すとともに、コストの低減を図ります。
- 公共施設の利用状況や配置バランス等を考慮し、集約や移転等の再配置を検討します。
- インフラについては、将来の需要を想定し、適切な規模による更新やダウンサイジング（事業規模の最適化）の必要性を検討します。

柔軟なサービスの提供

- 公共施設等によらない行政サービスの提供を充実させ、町民のニーズに対応していきます。
- 当初の設置目的と合致しなくなった施設については、転用による有効活用を図ります。

基本方針③：トータルコストの適正化

主要な取り組み項目

- 将来更新費の削減
- 維持管理費の削減
- 財源の確保、保有資産の収益化

【トータルコストの適正化に向けた取り組み事項】

将来更新費の削減

- 公共施設等の長寿命化等により、将来更新費の削減を図ります。

維持管理費の削減

- 活用の見込みがない施設は、解体や売却することで、維持管理費の発生を抑制します。
- 施設の維持管理費の削減に努めるとともに、必要に応じて使用料等の受益者負担や事業収入の見直しを図ります。

財源の確保、保有資産の収益化

- ＰＰＰ/ＰＦＩ等による施設整備財源の確保を検討します。
- 未利用となった施設や用地については、売却や貸付による収益化を検討します。

基本方針④：施設運営の適正化

主要な取り組み項目

- 管理･運営主体の適正化
- 広域的な連携･共同利用

【施設運営の適正化に向けた取り組み事項】

管理・運営主体の適正化

- 町で運営すべき施設、民間でも代替可能な施設、地域住民が運営主体の施設等、実態に応じた管理・運営主体の検討を図ります。
- 指定管理者制度等の活用により、自治体の負担を軽減すると共に、サービスの充実を図ります。

広域的な連携・共同利用

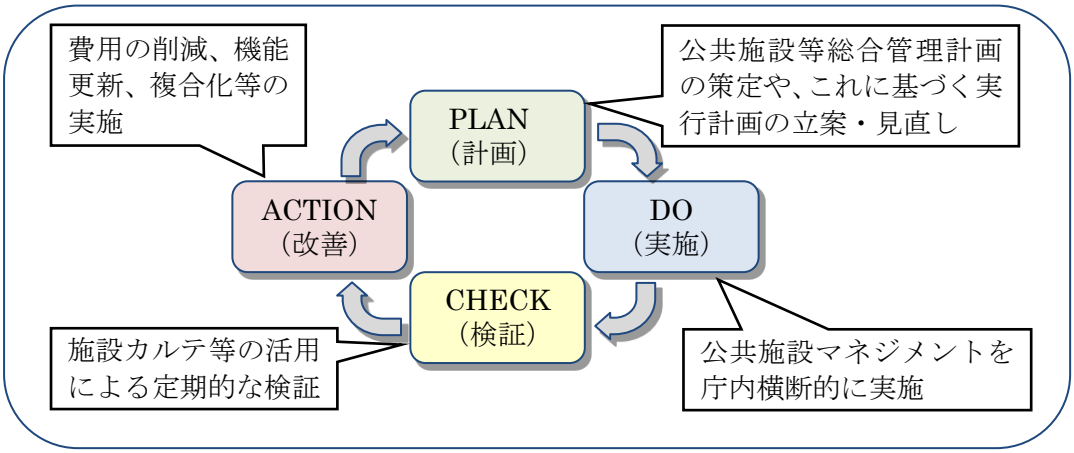
- 行政区域をまたがる広域的な利用が見込まれる資産等については、広域連携による施設の共同利用等の検討を行います。

（３）計画のフォローアップについて（計画策定後の取組体制）

今後は、公共施設（建築物）、インフラの類型ごとに再編計画や長寿命化修繕計画、アセットマネジメント方針等を検討していきます。

本計画及び個別計画については、庁内の会議体等において進捗管理を行っていきます。本計画及び個別計画の立案（Plan）、実行計画の立案（Do）、庁内会議や議会等での検証（Check）、事業の実施（Action）という PDCA サイクルの考え方に基づき、今後の進捗状況や実施事項を適宜把握、公表していきます。

なお、計画期間内であっても、社会経済情勢や本町を取巻く環境の変化等が生じた場合には、必要に応じて本計画を見直していきます。



第４章　施設類型ごとの基本方針

第１節　評価・分析の方法

（１）対象施設

ここでは、公共施設の用途別の現状と課題、今後の基本的な方向性を記載しています。広川町が保有する公共施設（建築物）を対象に、建物性能や施設の維持管理経費（コスト）、利用状況等の情報を「見える化」しました。

表　用途別の公共施設（建築物）

用途分類		施設名	施設数 延床面積
学校教育系施設	学校	広川中学校、上広川小学校、中広川小学校、下広川小学校	4 施設 31,500 ㎡
行政系施設	庁舎等	広川町役場庁舎	7 施設 5,232 ㎡
	消防施設	第 1～5 分団詰所	
	その他	ダム倉庫	
保健・福祉施設	高齢福祉施設	保健・福祉センター	1 施設 2,798 ㎡
社会教育系施設	図書館	町民交流センターいこっと※	4 施設 2,621 ㎡
	博物館等	広川町古墳公園資料館	
	その他	久泉集会所、一応教育集会所	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	武徳館、竜光寺公園広川球場、諸藤公園運動広場、広川町運動公園、藤田運動公園、東部運動広場	7 施設 1,578 ㎡
	レクリエーション施設・観光施設	逆瀬ゴットン館	
産業系施設	産業系施設	産業展示会館	1 施設 1,188 ㎡
町民文化系施設	公民館	中央公民館	1 施設 894 ㎡
子育て支援施設	幼児・児童施設	上広川学童保育所、中広川学童保育所、下広川学童保育所	3 施設 533 ㎡
公営住宅	公営住宅	久泉住宅 1、久泉住宅 2、一応住宅	3 施設 528 ㎡
公園	公園	久泉親水公園、善蔵塚古墳公園、ダム公園、湯納楚山公園、石人山古墳、グリートパーク	6 施設 116 ㎡
その他	その他	シルバー人材センター事務所、旧専用水道機械器具倉庫、旧下広川学童保育所	3 施設 212 ㎡

※：町民交流センターいこっとは、図書館、子育て支援センター、研修施設を備えた複合施設です。本計画では、社会教育系施設（図書館）として分類、評価しました。

（２）建物性能の評価・分析方法

建物の性能を評価する際に、以下の項目を設定しました。

- **安全性（耐震性）**
- **老朽化（築年数）の状況**
- **大規模改修の実施状況**
- **バリアフリー対応状況**
- **維持管理の効率性**

各項目に対して、建物性能比較に基づく点数化を行い、レーダーチャートによる比較を行うことで、想定される課題ごとに各施設を分類しました。

なお、複数の建物で構成されている施設の建築年度については、主要な建物（学校校舎、公民館の本体等）を採用しました。

表　用途別の対象施設と今後の方向性

区分		①安全性	②老朽化状況	③大規模改修状況	④バリアフリー対応状況	⑤維持管理効率性
ランク定義	3	新耐震基準 耐震改修済	築15年未満	不要（築30年以内） 大規模改修済	4項目設置済	同一機能内 平均の70%未満
	2	耐震計画有	築30年未満	改修計画有	3項目設置済	同一機能内 平均の70%以上130%未満
	1	上記以外	築30年以上	上記以外	2項目以下の設置	同一機能内 平均の130%以上

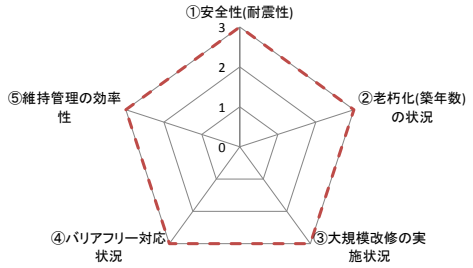
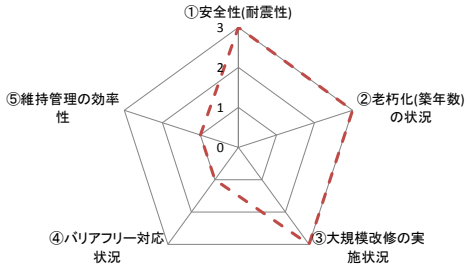
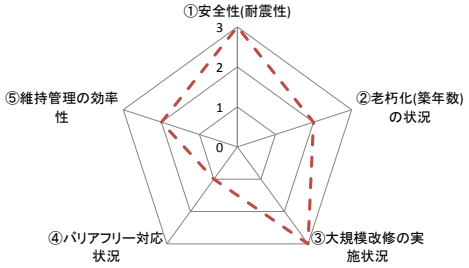
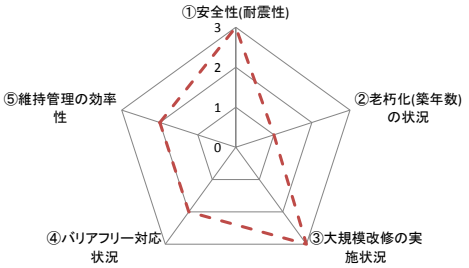
【上記 5 項目の分類について】

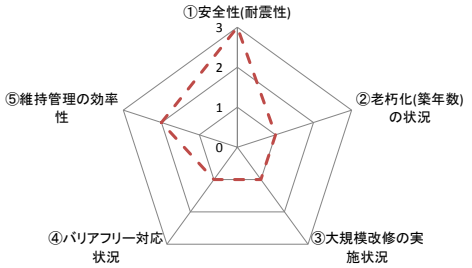
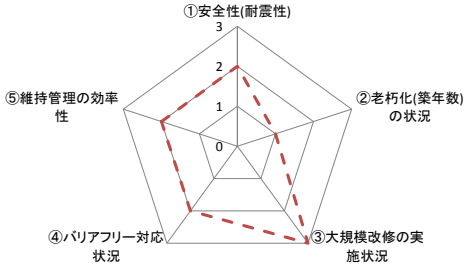
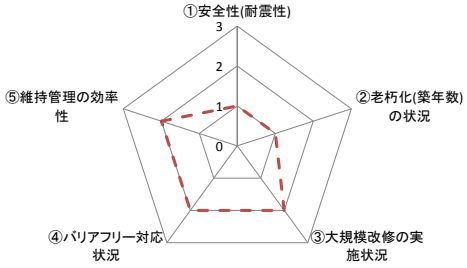
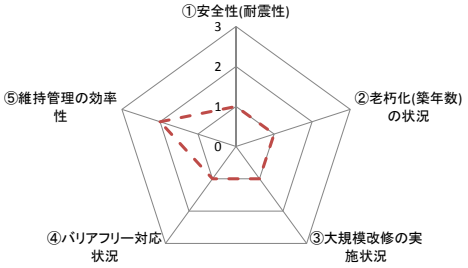
- 安全性：施設の建築年度や耐震診断結果等から、上記の基準で 3 段階に分類。
- 老朽化状況：施設の築年数から、築 15 年未満、修繕等の目安となる築 15 年以上、大規模改修等の目安となる築 30 年以上の基準で 3 段階に分類。
- 大規模改修状況:施設の建築年度や大規模改修の実施状況から、上記の基準で 3 段階に分類。
  ※　建物の躯体、外壁、屋上に関わる改修を対象とします。
- バリアフリー対応状況：エレベーター、自動ドア、玄関スロープ、障害者用トイレ、歩行者用手すり、点字ブロックの 6 項目の設置状況から上記の基準で 3 段階に分類。
- 維持管理の効率性：工事請負費を除く施設の維持管理に係る経費（人件費、光熱水費、修繕費、賃借料、委託費等）から、延床面積 1 ㎡当たりの費用を算出し、用途内平均値の 70%未満の施設を「3（効率的)」、70%以上 130%未満の施設を「2（平均的)」、130%以上の施設を「1（非効率)」として評価。

【建物性能の類型化について】

- 以上の①～⑤までの各項目に対して、1 点～3 点までの点数化を行い、各項目の特徴に応じて分類（類型化)。
- 各施設を 8 つのグループに類型化し、類型ごとにレーダーチャートで表現することで、施設ごとの建物性能面の課題を可視化しました。

表　建物性能の８類型について

<table>
<tr><td rowspan="3">類型①</td><td colspan="2">大きな課題のない施設</td></tr>
<tr><td>評価内容
建物性能が良好で大きな課題がみられない施設</td><td rowspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>振分基準
「安全性」、「老朽化状況」が 3 で、それ以外の項目 3 つのうち 2 以上が 1 つで、残りは 3 の場合</td></tr>
<tr><td rowspan="3">類型②</td><td colspan="2">機能面で改善の余地がある施設</td></tr>
<tr><td>評価内容
安全性、老朽化は問題ないが、バリアフリーやコスト等ソフト面で改善の余地がある施設</td><td rowspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>振分基準
「老朽化状況」が 3、「安全性」が 2 以上で、それ以外の項目に 2、1 が含まれる場合</td></tr>
<tr><td rowspan="3">類型③</td><td colspan="2">修繕等の検討が必要となる施設</td></tr>
<tr><td>評価内容
安全性は問題なく、改修不要又は実施済で、築 30 年未満の施設</td><td rowspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>振分基準
「安全性」が 3、「老朽化状況」が 2 の場合</td></tr>
<tr><td rowspan="3">類型④</td><td colspan="2">老朽化が進行している施設</td></tr>
<tr><td>評価内容
安全性は問題なく、大規模改修は実施済だが、修繕等の検討が必要な施設</td><td rowspan="2"> 
</td></tr>
<tr><td>振分基準
「安全性」が 3、「老朽化状況」が 1 で、「大規模改修」が 2 以上の場合</td></tr>
</table>

類型⑤	**大規模改修等の検討が必要な施設**	
	評価内容	
	安全性は問題ないが、築 30 年を経過し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	振分基準	
	「安全性」が 3、「老朽化状況」が 1 で、「大規模改修」が 1 の場合	
類型⑥	**耐震改修予定・老朽化対策が必要な施設**	
	評価内容	
	耐震改修を予定しているが、老朽化が進行し大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	振分基準	
	「安全性」が 2、「老朽化状況」が 1 の場合	
類型⑦	**耐震性の確保が必要な施設**	
	評価内容	
	新耐震基準以前に建築され、安全性の確保が必要な施設	
	振分基準	
	「安全性」が 1、「大規模改修」が 2 以上の場合	
類型⑧	**耐震性の確保・老朽化対策が必要な施設**	
	評価内容	
	安全性の確保に加えて、老朽化が進行し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	振分基準	
	「安全性」、「老朽化状況」、「大規模改修」が 1 の場合	

第２節　用途別の現状と課題、今後の方向性

（１）学校教育系施設

①施設概要

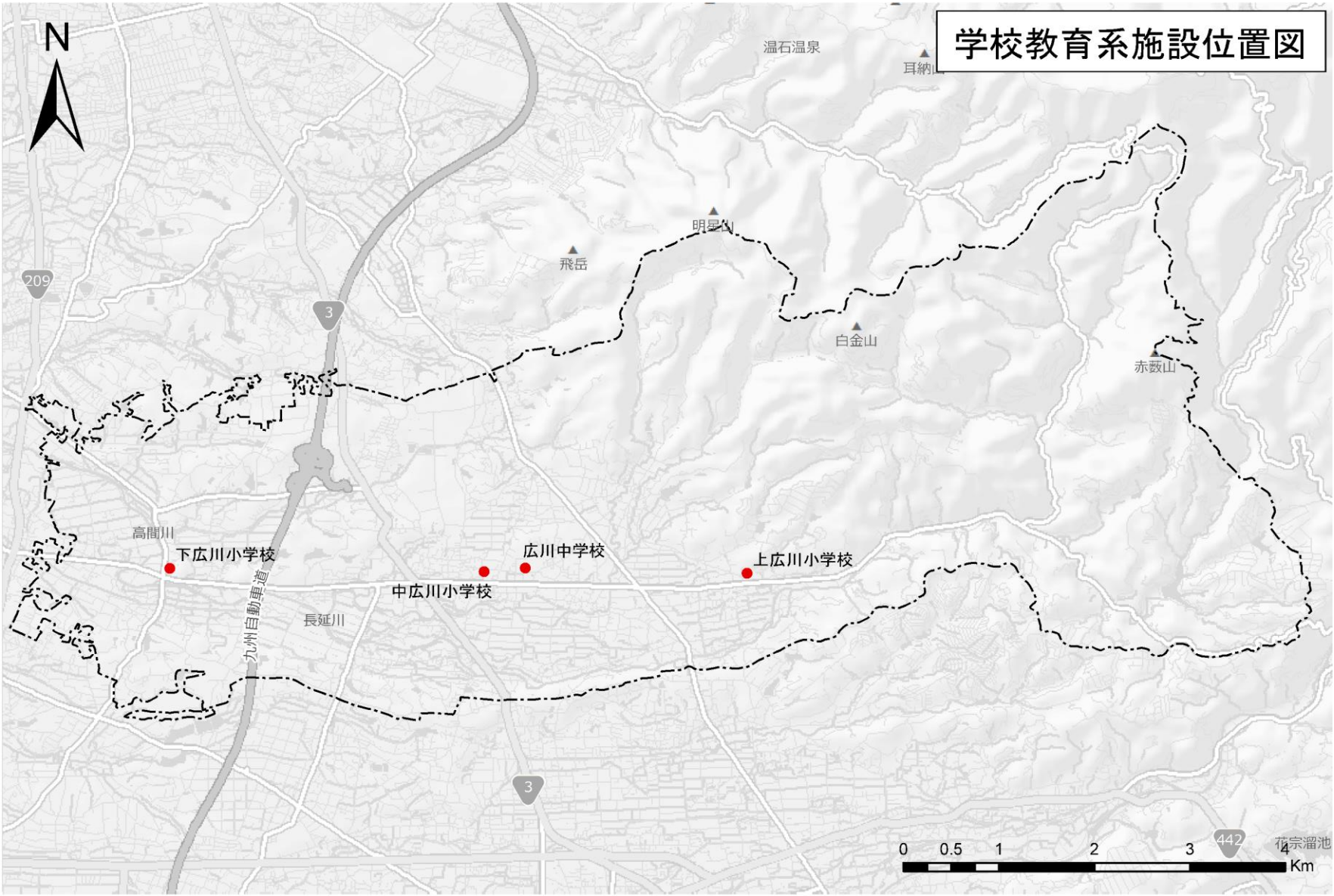
- 学校教育系施設は、学校の 4 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、31,500 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 66.7%を占めています。

表　学校教育系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（㎡）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
学校	広川中学校	10	10,869		○	8	1990	27	3	有り	不要
	上広川小学校	12	5,128		○	0	1970	47	0	有り	無し
	中広川小学校	11	11,073		○	6	2001	16	4	有り	不要
	下広川小学校	11	4,430		○	0	1965	52	0	改修中	
平均		11	7,875	－	－	－	1982	36	－	－	－
合計		44	31,500	0	4	－	－	－	－	－	－

広川中学校

上広川小学校

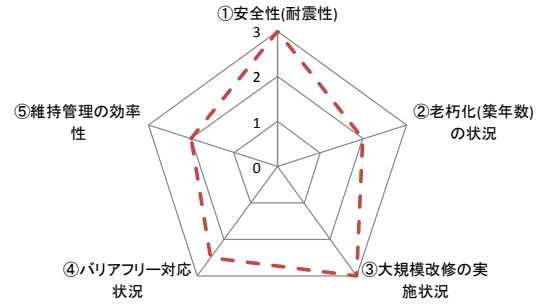

学校教育系施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤薮山
209
3
高間川
下広川小学校
広川中学校
中広川小学校
上広川小学校
長延川
九州自動車道
3
442
荷宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

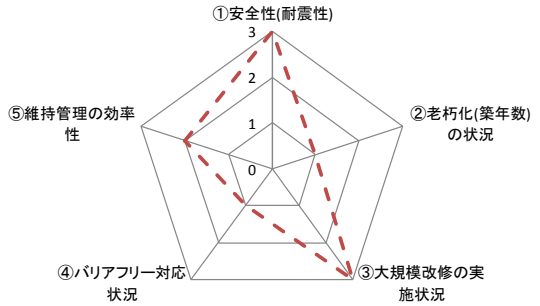
②施設基本情報

広川中学校は築 27 年、中広川小学校は築 16 年の施設であり、修繕等の検討が必要となっています（類型③）。

下広川小学校は、築 52 年を経過しており、平成 29（2017）年度に改築が完了する予定です。今後、体育館等の改築を検討する必要があります（類型④）。

上広川小学校の北校舎は、耐震性は確認されていますが、築 47 年と老朽化が進行しており、大規模改修や建替えを検討する時期になっています（類型⑤）。

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
広川中学校 中広川小学校	

類型④	老朽化が進行している施設
安全性は問題なく、大規模改修は実施済み※だが、修繕等の検討が必要な施設	
	
下広川小学校	

※下広川小学校の校舎については、改築は進んでいますが、その他の建物については改築を検討する必要があります。

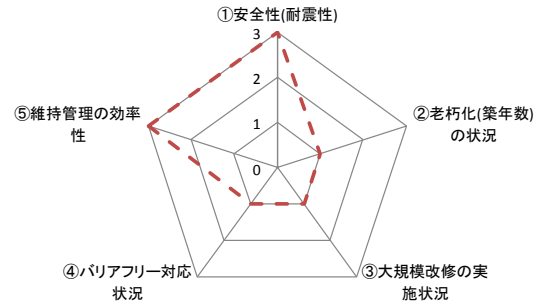
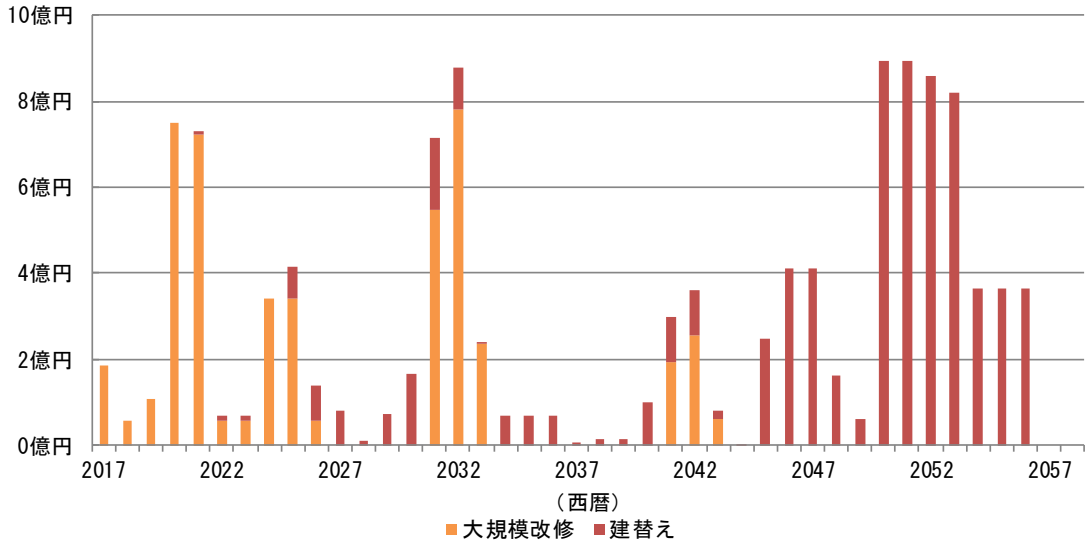
類型⑤	大規模改修等の検討が必要な施設
安全性は問題ないが、築30年を経過し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
上広川小学校	

図　建物性能比較（学校教育系施設）

既存施設についての更新費をみると、40年間で約120億円、年平均で約3億円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（学校教育系施設）

児童・生徒数は、広川中学校で約500人、上広川小学校、下広川小学校で約200人、中広川小学校で約740人となっています。

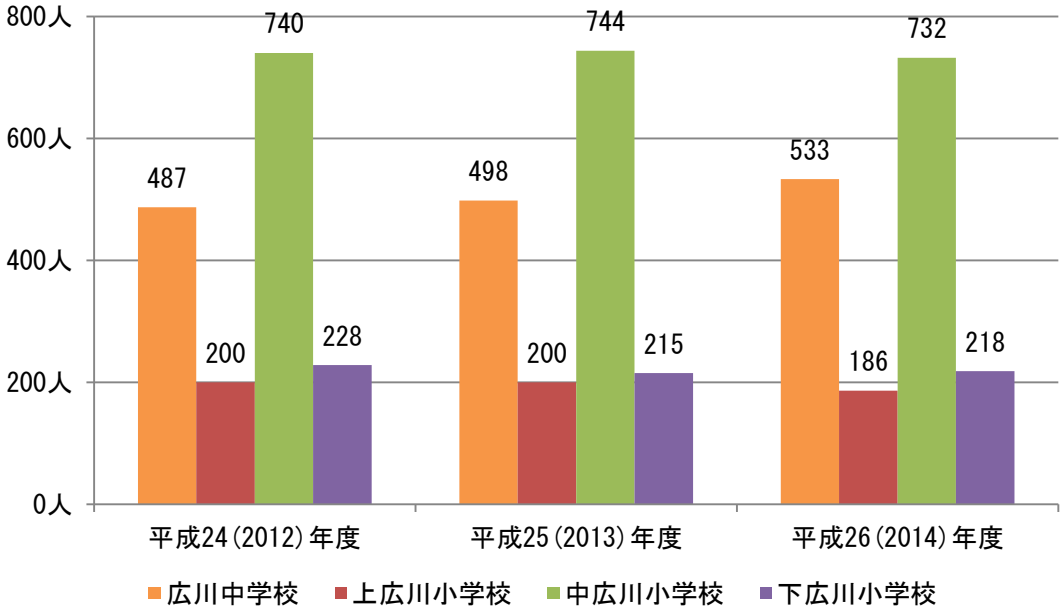


図　児童・生徒数（学校教育系施設）

児童・生徒当たりコストは、平均で 25,224 円/ 人となっており、中広川小学校で、比較的低い費用となっています。

面積当たりコストは、平均で 1,230 円/㎡であり、施設によって、大きな違いはみられません。

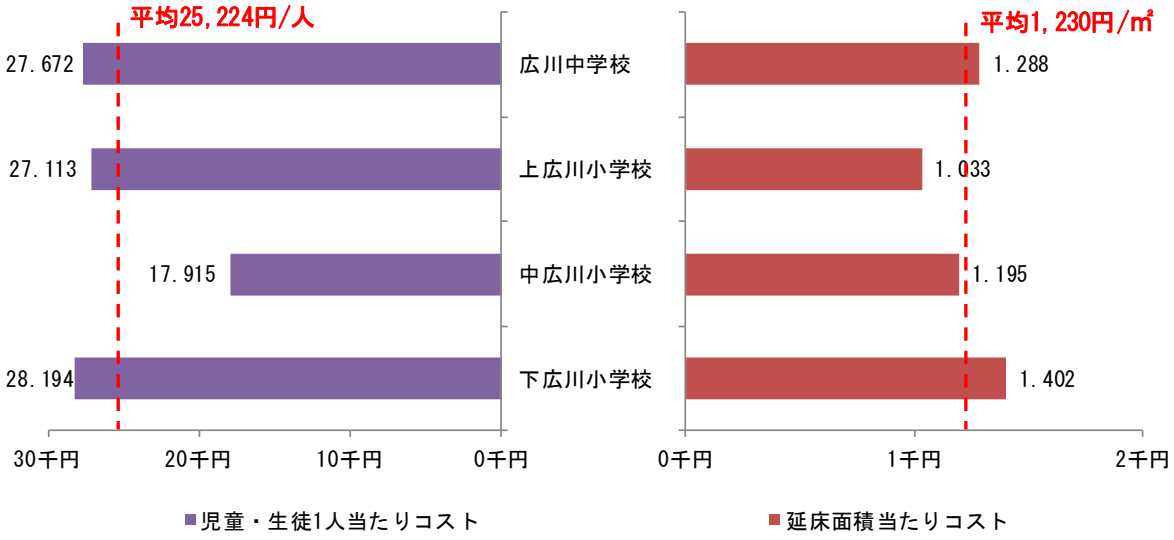


図　児童・生徒および面積当たりコスト比較（学校教育系施設）

③現状と課題

学　校 （広川中学校、上広川小学校、中広川小学校、下広川小学校）	● 学校は、機能的な教育施設環境と共に、安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備える必要があります。 ● 施設の大規模改修等については、「広川町公立学校等施設整備計画」に基づき実施しています。 ● 下広川小学校校舎は、平成 29 年度に校舎の改築が完了予定です。 ● 下広川小学校体育館は、耐震性が確保されていません。 ● 広川中学校のプールの老朽化が進行しており、補修や建替えを検討する必要があります。

④実施方針

学　校 （広川中学校、上広川小学校、中広川小学校、下広川小学校）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設のライフサイクルコストの軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 耐震性の確保されていない下広川小学校体育館の改築を実施します。 ● 避難所指定の建物については、災害時でも機能が麻痺することのないように、防災化を推進します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 学校の統廃合は予定しませんが、一般開放を含め、有効活用を検討します。
⑥施設の利活用に関する方針	● 避難所としての必要な機能を維持します。 ● 空き時間や空きスペースの活用を促進します。

（２）行政系施設

①施設概要

- 行政系施設は、庁舎等１施設、消防施設（消防団詰所）５施設、その他１施設を合わせて７施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、5,232 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 11.1%を占めています。

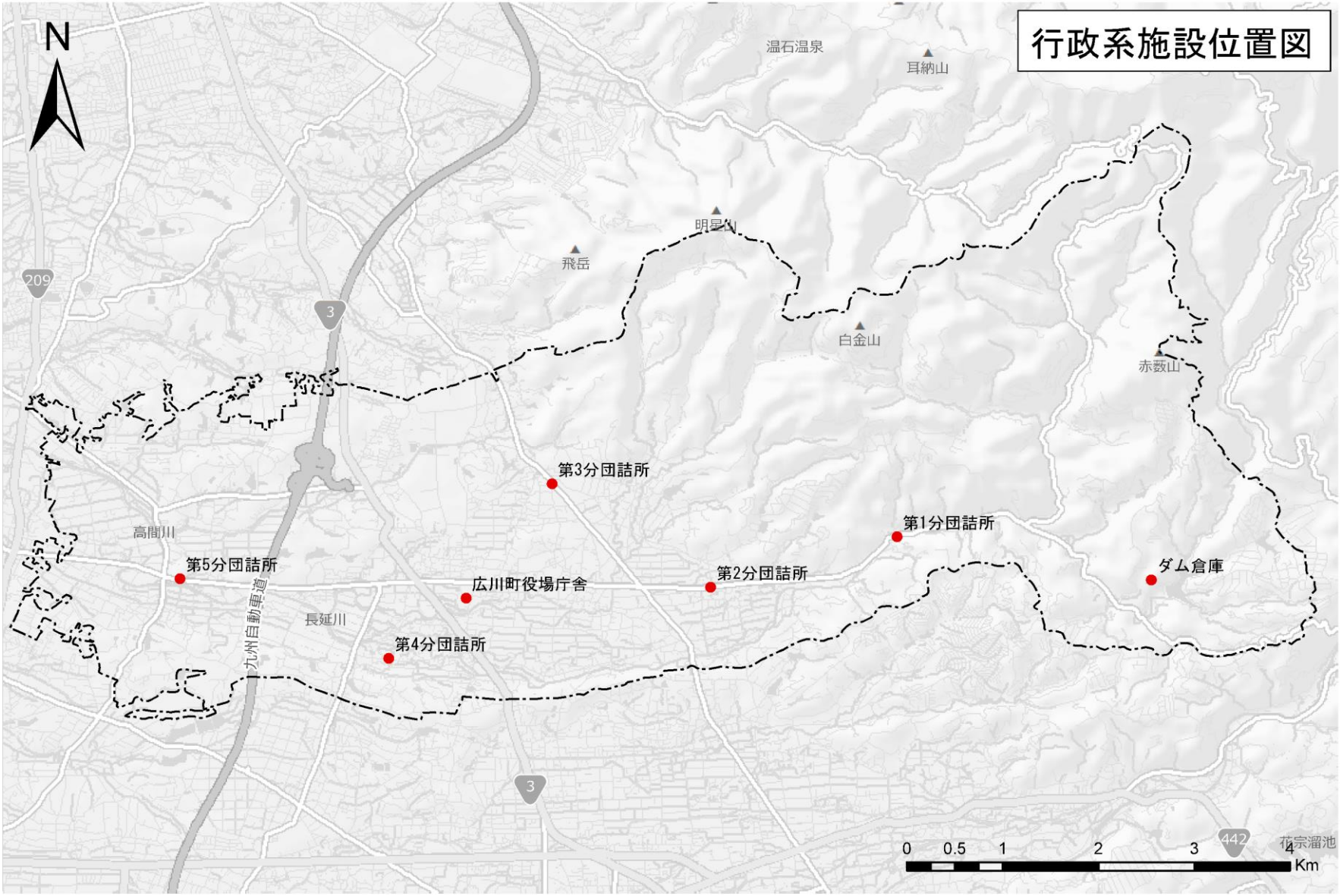
表　行政系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
庁舎等	広川町役場庁舎	13	4,921			3	1970	47	3	無し	済み
消防施設	広川町消防団　第1分団詰所	1	61			0	1979	38	0	無し	無し
	広川町消防団　第2分団詰所	1	60			0	1980	37	0	無し	無し
	広川町消防団　第3分団詰所	1	58			0	1980	37	0	無し	無し
	広川町消防団　第4分団詰所	1	52			0	1978	39	0	無し	計画有り
	広川町消防団　第5分団詰所	1	56			0	1979	38	0	無し	無し
その他	ダム倉庫	1	24			0	1996	21	0	有り	不要
平均		3	747	－	－	－	1980	37	－	－	－
合計		19	5,232	0	0	－	－	－	－	－	－

広川町役場庁舎

第１分団詰所

第４分団詰所

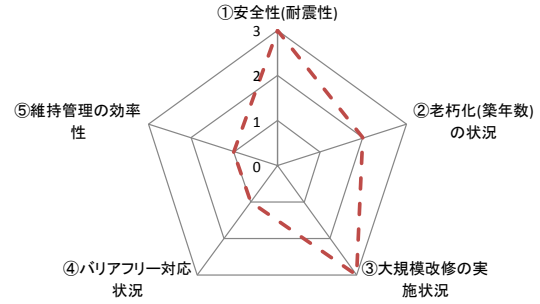

行政系施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤薮山
209
3
第3分団詰所
第1分団詰所
第2分団詰所
第5分団詰所
広川町役場庁舎
ダム倉庫
高間川
長延川
第4分団詰所
九州自動車道
3
442
花宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

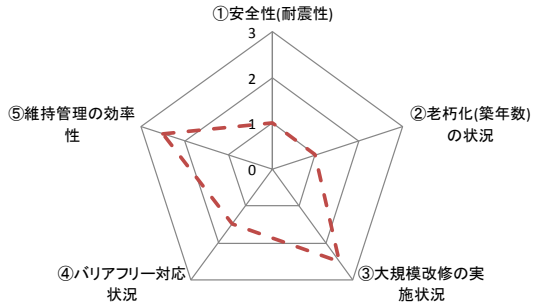
②施設基本情報

ダム倉庫は、築 20 年以上を経過し、修繕等の検討が必要になっています（類型③）。

広川町役場庁舎は、老朽化が進行しており、維持管理に係る経費が増大しています（類型⑦）。平成 22 (2010) 年には耐震診断を実施し、一部改修を施したものの、未だ不十分な面があります。このような現状のため、町では庁舎について全面建替えに向けて検討をしています。

消防団詰所は、5 施設とも築 30 年以上を経過しており、老朽化が進行しているため、機能面からも建替え等の検討が必要です（類型⑦，⑧）。また、土砂災害警戒区域や浸水想定区域に位置する施設もあり、移転を検討する必要もあります。

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
ダム倉庫	

類型⑦	耐震性の確保が必要な施設
新耐震基準以前に建築され、安全性の確保が必要な施設	
	
広川町役場庁舎 広川町消防団　第4分団詰所	

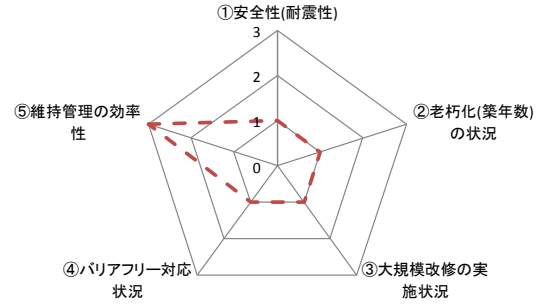
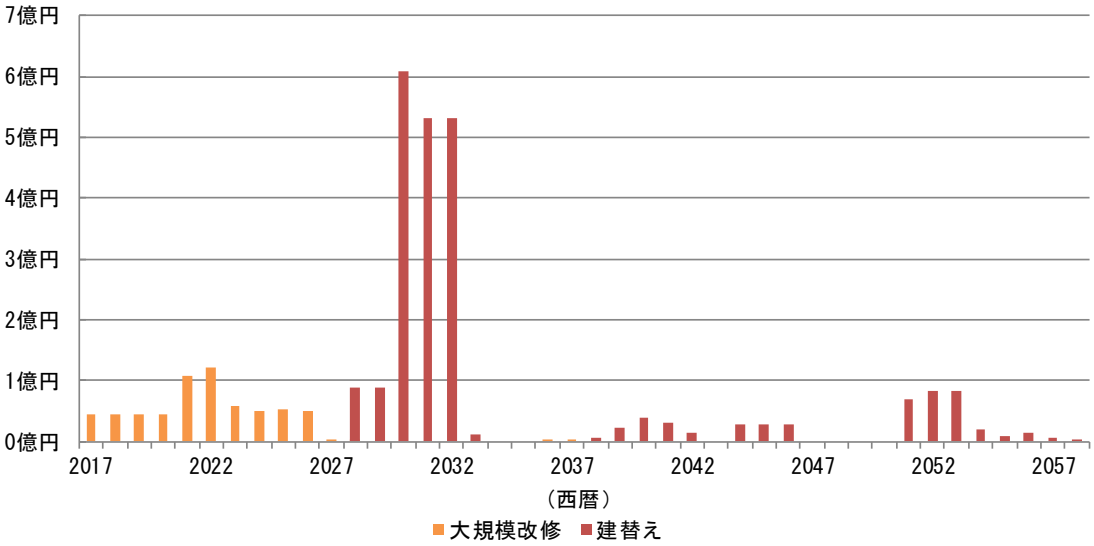
類型⑧	耐震性の確保・老朽化対策が必要な施設
安全性の確保に加えて、老朽化が進行し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
第1分団詰所 第2分団詰所 第3分団詰所 第5分団詰所	

図　建物性能比較（行政系施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 30 億円、年平均で約 7 千万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（行政系施設）

面積当たりコストは、平均で 3,732 円/m² であり、広川町役場庁舎で 4,462 円/㎡、消防団詰所で約 300 円/㎡、ダム倉庫で 20,000 円/㎡程度となっています。

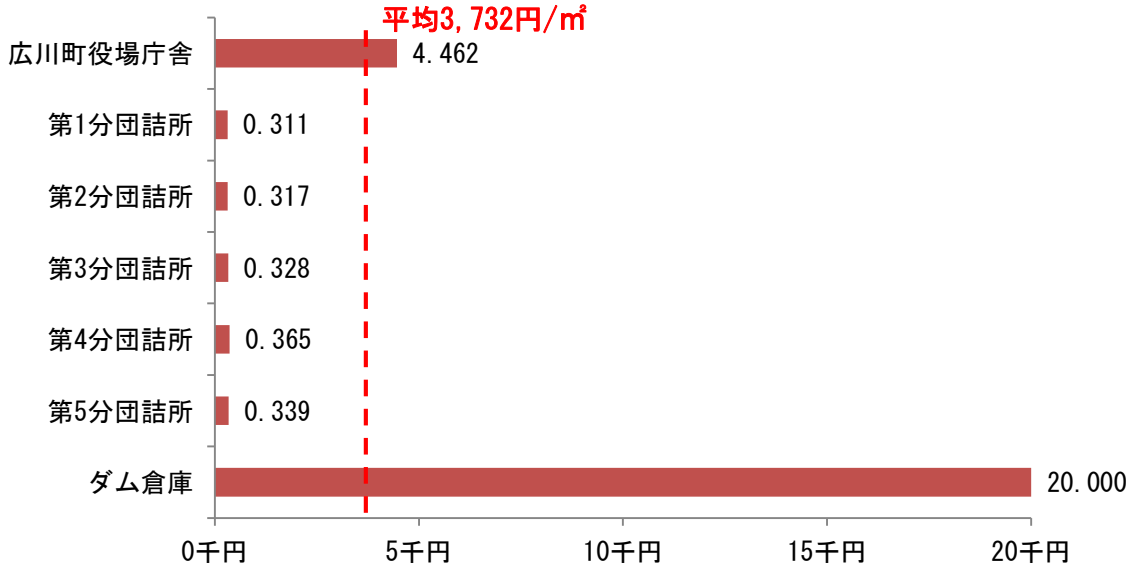


図　面積当たりコスト比較（行政系施設）

③現状と課題

庁舎等 （広川町役場庁舎）	● 築後 50 年を迎えようとしており、老朽化の進行と共に補修等に係る経費が増大しています。 ● 増築を繰り返しており、課の配置等において、利便性が損なわれています。 ● 平成 22 年に耐震診断を実施し、一部改修を施したものの、未だ不十分な面があります。
消防施設 （第１～５分団詰所）	● 第１～5 分団詰所全てにおいて老朽化が進行しており（築 37～39 年）、機能が損なわれています。 ● 土砂災害警戒区域や浸水想定区域に位置する施設もあり、災害時に機能しない恐れがあります。

④実施方針

庁舎等 （広川町役場庁舎）	
①点検・診断等の実施方針	● 新庁舎への建替えと同時に、中長期的な点検・診断計画についても整備します。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 庁舎等検討委員会、庁舎等建設検討会議を実施し、全面建替えに向けて検討中です。
③安全・耐震確保の実施方針	● 災害時でも行政機能が麻痺することのないように、災害に強い庁舎の整備を行います。
④長寿命化の実施方針	● 建替えに際しては、長寿命・高耐久の部材・機器を採用します。
⑤統合や廃止の推進方針	● 建替えに伴い、複合化・集約化を検討し、省スペースで無駄のない庁舎の整備を行います。
⑥施設の利活用に関する方針	● 利用しやすい庁舎の整備を行います。 ● PPP／PFI 等の民間活用によるサービスの向上を検討します。
消防施設 （第１～5 分団詰所）	
①点検・診断等の実施方針	● 計画的な巡視点検を行います。 ● 日常管理・点検の内容や方法について、利用者（消防団員）に周知します。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 長寿命・高耐久の部材・機器を採用することで修繕費用を削減します。
③安全・耐震確保の実施方針	● 土砂災害警戒区域や浸水想定区域に位置する施設は、移転を検討します。
④長寿命化の実施方針	● 長寿命・高耐久の部材・機器を採用します。 ● 維持・補修が容易かつ低コストな施設を整備します。
⑤統合や廃止の推進方針	● 統合や廃止は予定しませんが、防災力向上の観点から分団間の広域的な連携を推進します。
⑥施設の利活用に関する方針	● 地域の防災拠点として、地域住民に開かれた施設を目指します。

その他 （ダム倉庫）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常的な点検により、不具合の早期発見に努めます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 日常的な管理の中で、予防的な補修を実施します。
③安全・耐震確保の実施方針	● 日常的な管理の中で、施設の安全を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防的な補修を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 現在の用途である倉庫として利用します。

（３）保健・福祉施設

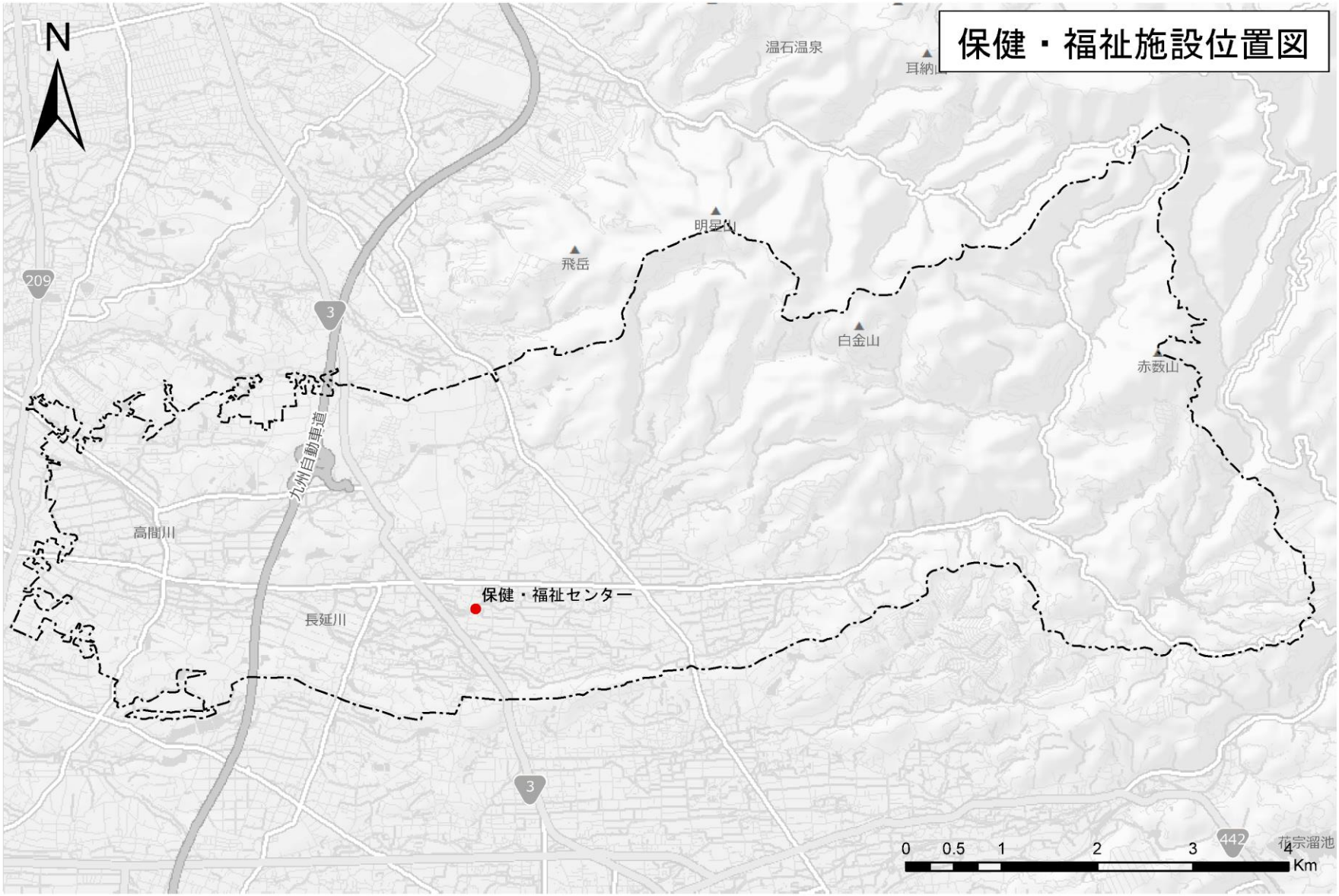
①施設概要

- 保健・福祉施設は、高齢福祉施設として保健・福祉センターの１施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、2,798 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 5.9%を占めています。

表　保健・福祉施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（㎡）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
高齢福祉施設	保健・福祉センター	5	2,798	○	○	9	1997	20	5	有り	不要
平均		5	2,798	－	－	－	1997	20	－	－	－
合計		5	2,798	1	1	－	－	－	－	－	－

保健・福祉センター


保健・福祉施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤藪山
209
3
九州自動車道
高間川
保健・福祉センター
長延川
3
442
花宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

②施設基本情報

保健・福祉センターは、築 20 年を経過しており、設備等の修繕が必要な施設となっています（類型③）。

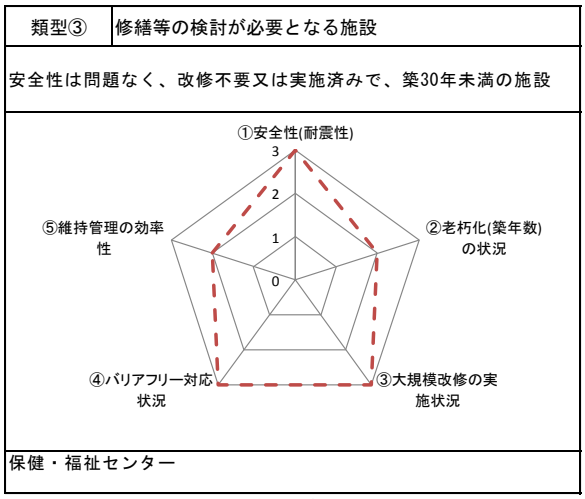
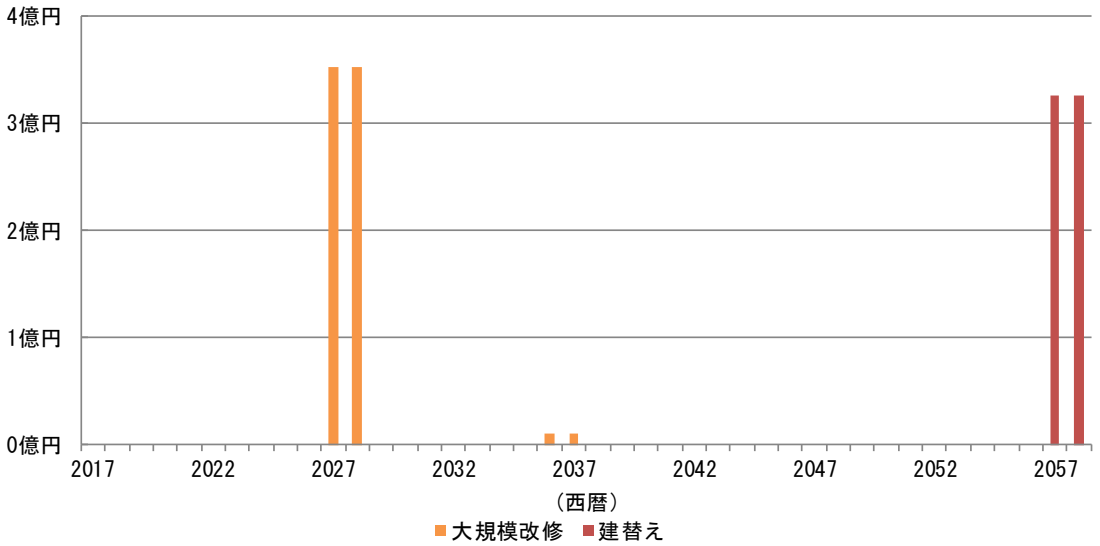


図　建物性能比較（保健・福祉施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 14 億円、年平均で約 3 千万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（保健・福祉施設）

利用者数は、過去 3 年で平均 17,500 名程度となっています。

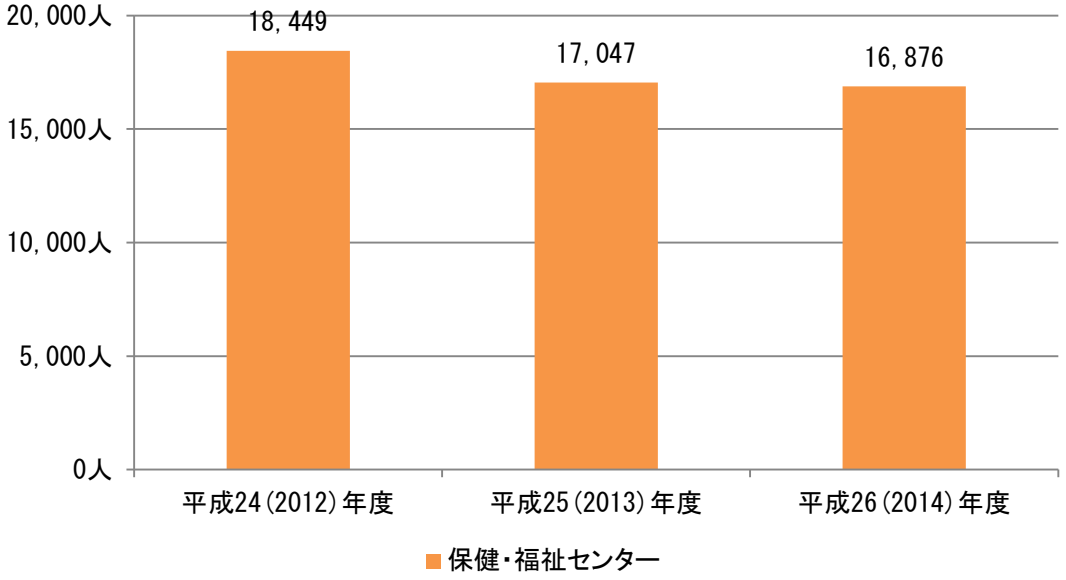


図　利用者数（保健・福祉施設）

利用者当たりコストは、1,250 円/人、面積当たりコストは 7,801 円/m² となっています。

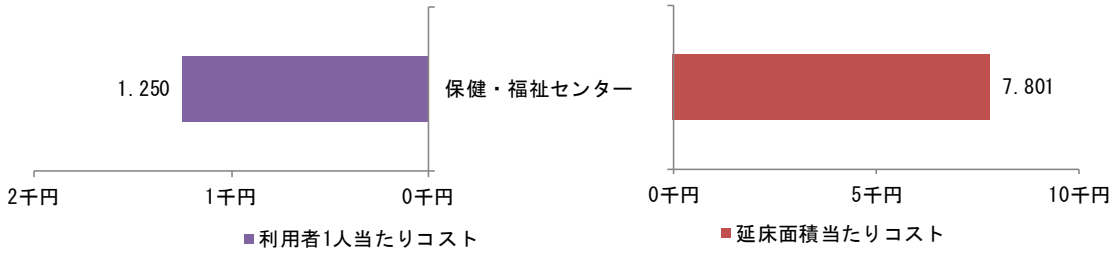


図　利用者および面積当たりコスト比較（保健・福祉施設）

③現状と課題

高齢福祉施設 （保健・福祉センター）	● 築 20 年を経過しており、外壁や屋根の老朽化に加え、内部の設備についても取替えが必要なものがあります。 ● 将来的な高齢化の進行により、保健・福祉分野の需要が増加する可能性があります。

④実施方針

高齢福祉施設 （保健・福祉センター）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 災害時でも機能が麻痺することのないように、防災化を推進します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 将来的に新たな保健・福祉施設の必要が生じる場合は、多様化するニーズへの対応やトータルコスト削減の観点からも、他施設からの転用や複合化・多機能化について検討します。
⑥施設の利活用に関する方針	● 避難所としての必要な機能を維持します。 ● 多様化するニーズに応えるべく施設機能の更なる充実に努めます。

（４）社会教育系施設

①施設概要

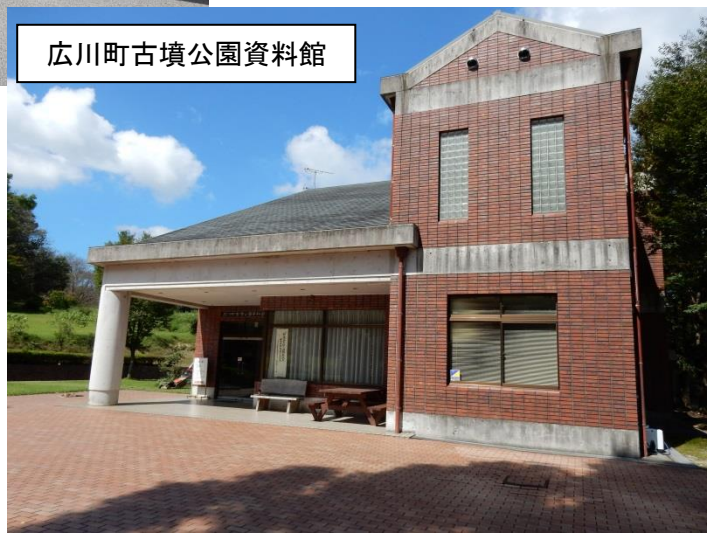
- 社会教育系施設は、図書館 1 施設、博物館等 1 施設、その他 2 施設を合わせて 4 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、2,621 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 5.6%を占めています。

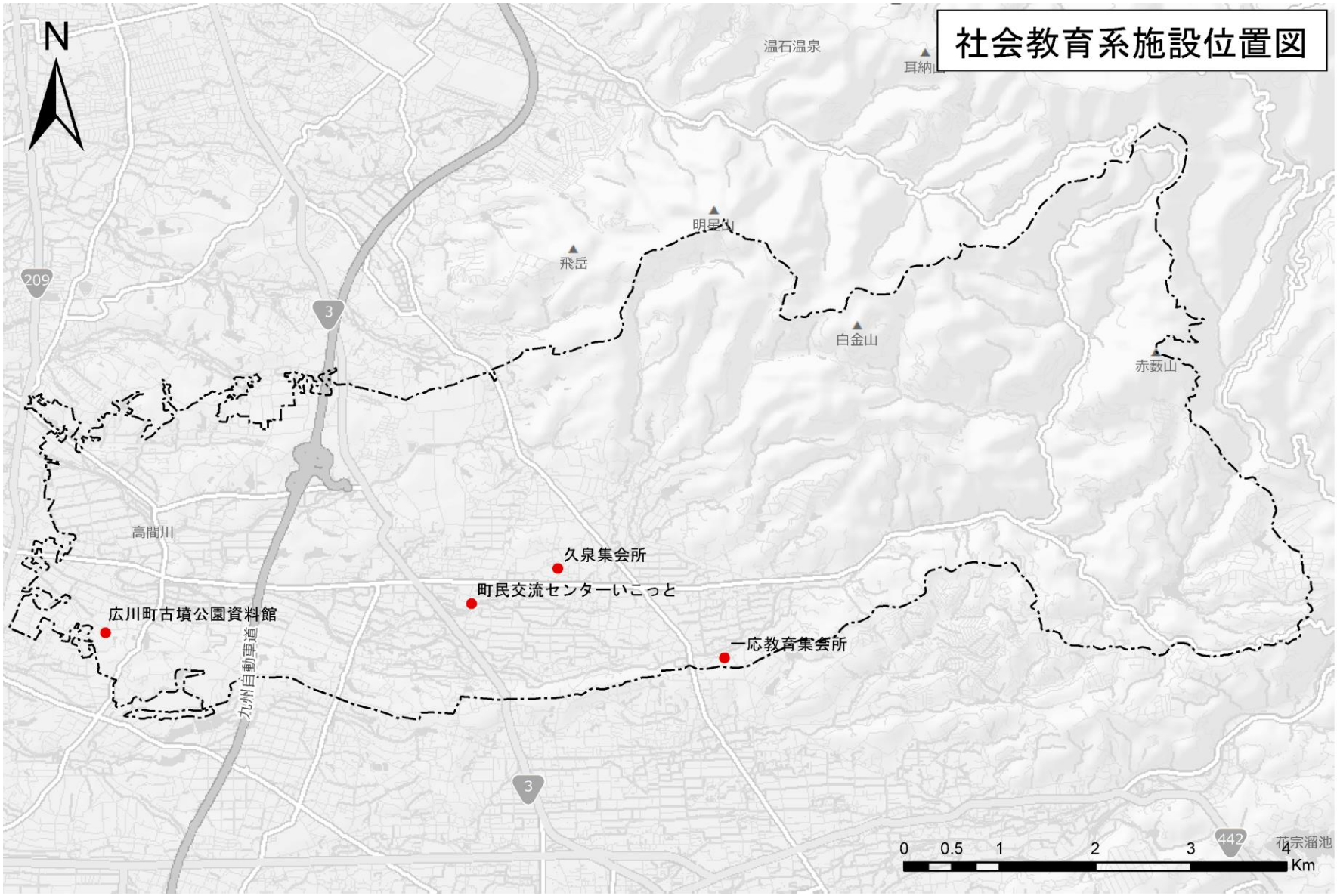
表　社会教育系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
図書館	町民交流センターいこっと	3	1,721		○	4	2014	3	1	有り	不要
博物館等	広川町古墳公園資料館	5	611		○	7	1995	22	4	有り	不要
その他	久泉集会所	1	115			0	1975	42	0	無し	無し
	一応教育集会所	2	174			1	1982	35	1	有り	無し
平均		3	655	－	－	－	1992	26	－	－	－
合計		11	2,621	0	2	－	－	－	－	－	－

町民交流センターいこっと

広川町古墳公園資料館



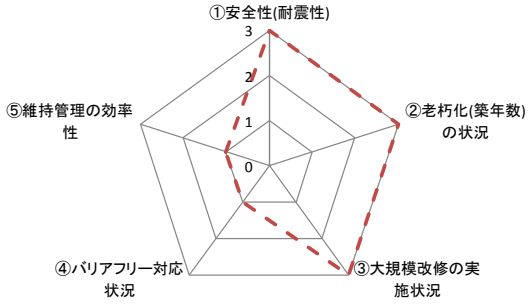

社会教育系施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤薮山
209
3
高間川
久泉集会所
町民交流センターいこっと
広川町古墳公園資料館
一応教育集会所
九州自動車道
3
442
花宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

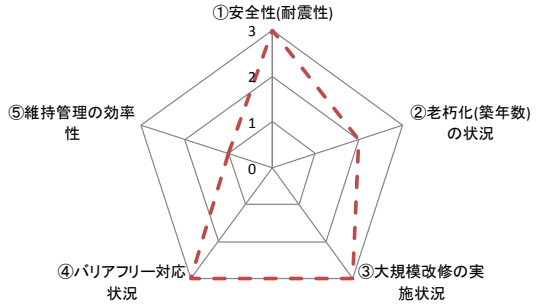
②施設基本情報

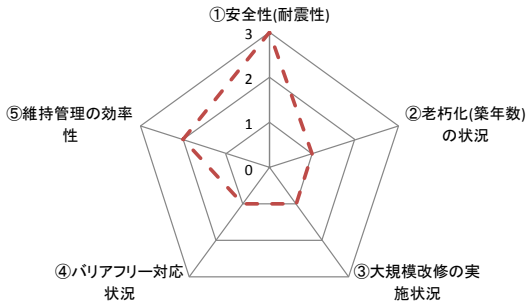
町民交流センターいこっとは、機能面で改善の余地があるものの、大きな問題はありません（類型②）。

広川町古墳公園資料館は、築 20 年以上を経過し、修繕等の検討が必要になってきています（類型③）。

一応教育集会所は築 30 年以上、久泉集会所は築 40 年以上を経過しており、老朽化が進行しているため、大規模改修や建替え等の検討が必要です（類型⑤，⑧）。

類型②	機能面で改善の余地がある施設
安全性、老朽化は問題ないが、バリアフリーやコスト等ソフト面で改善の余地がある施設	
	
町民交流センターいこっと	

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
広川町古墳公園資料館	

類型⑤	大規模改修等の検討が必要な施設
安全性は問題ないが、築30年を経過し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
一応教育集会所	

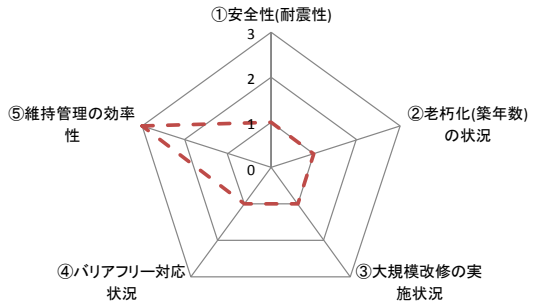
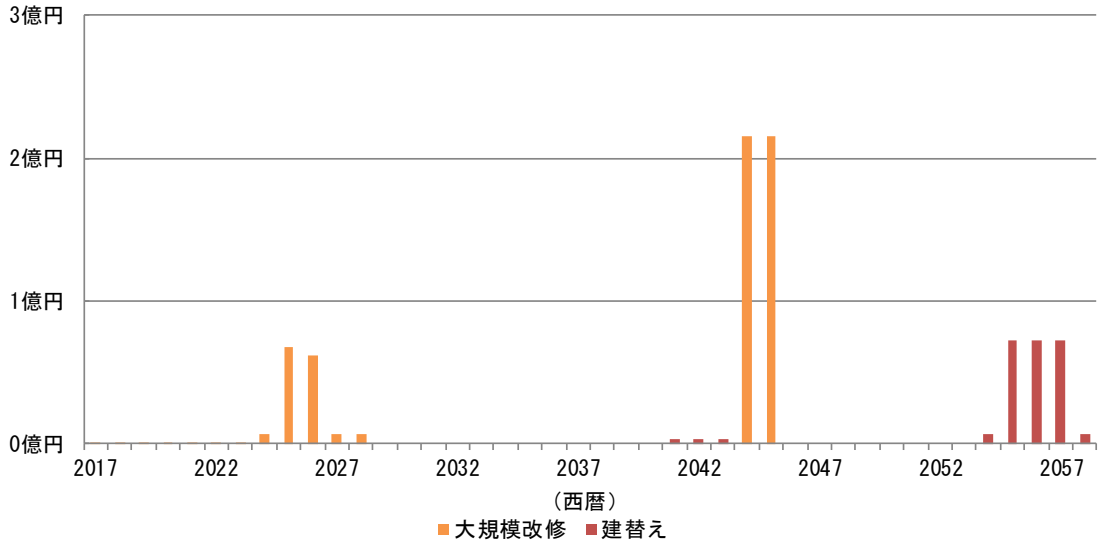
類型⑧	耐震性の確保・老朽化対策が必要な施設
安全性の確保に加えて、老朽化が進行し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
久泉集会所	

図　建物性能比較（社会教育系施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 8 億円、年平均で約 2 千万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（社会教育系施設）

面積当たりコストは、平均で 8,579 円/m² であり、町民交流センターいこっとで 12,255 円/㎡、広川町古墳公園資料館で 13,997 円/㎡、久泉集会所で 1,391 円/㎡、一応教育集会所で 6,672 円/㎡となっています。

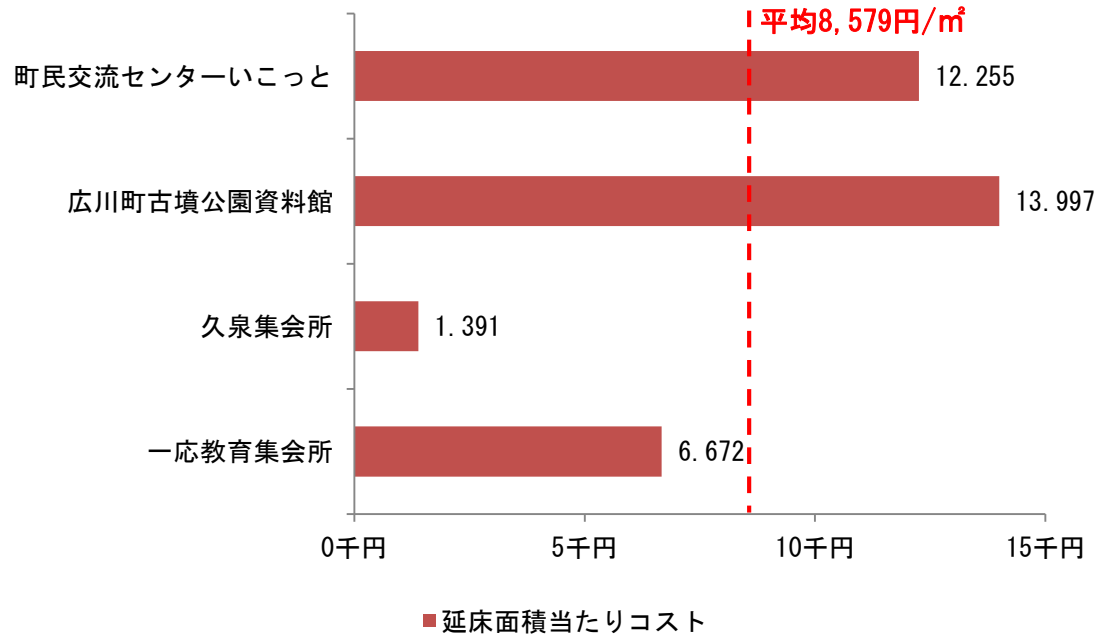


図　面積当たりコスト比較（社会教育系施設）

③現状と課題

図書館 （町民交流センターいこっと）	● 築 3 年であり、建物性能等に大きな問題はありません。 ● 図書館、子育て支援センター、研修施設の機能を有する複合施設であり、複合施設の強みを活かした管理・運営が求められます。
博物館等 （広川町古墳公園資料館）	● 築 22 年を経過しており、設備等の修繕や常設展示などのリニューアルが必要となっています。
その他 （久泉集会所、一応教育集会所）	● 久泉集会場は、築 42 年と老朽化が進行しており、耐震性も確認されていません。 ● 一応教育集会所は、築 35 年であり、大規模改修を検討する時期に差し掛かっています。

④実施方針

図書館 （町民交流センターいこっと）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 複合化・多機能化によって、管理・運営のための人員やスペースを削減することで、維持管理費の低減を図ります。 ● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
③安全・耐震確保の実施方針	● 災害時でも機能が麻痺することのないように、防災化を推進します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 避難所としての必要な機能を維持します。 ● 多様化するニーズに応え、利用者の交流を促進する地域の中心的な役割を担います。
博物館等 （広川町古墳公園資料館）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 「広川町古墳公園資料館リニューアル構想」に基づき計画的に展示品のリニューアル、照明・音響・空調・電気設備等の整備を実施します。 ● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により安全・耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。

⑥施設の利活用に関する方針	● 「広川町古墳公園資料館リニューアル構想」に基づき展示内容を刷新し、利用者の増加を促します。
その他 （久泉集会所、一応教育集会所）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 耐震補強、内部改装、設備更新を検討します。 ● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
③安全・耐震確保の実施方針	● 耐震補強を検討します。 ● 定期的な点検や修繕により安全・耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 地域住民の生活向上を図るとともに、人権・同和問題解決のための拠点施設とします。 ● 久泉集会所は、多くの人が集まり活性化するための利活用を検討します。

（５）スポーツ・レクリエーション系施設

①施設概要

- スポーツ・レクリエーション系施設は、スポーツ施設 6 施設、観光施設 1 施設を合わせて 7 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、1,578 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 3.3%を占めています。

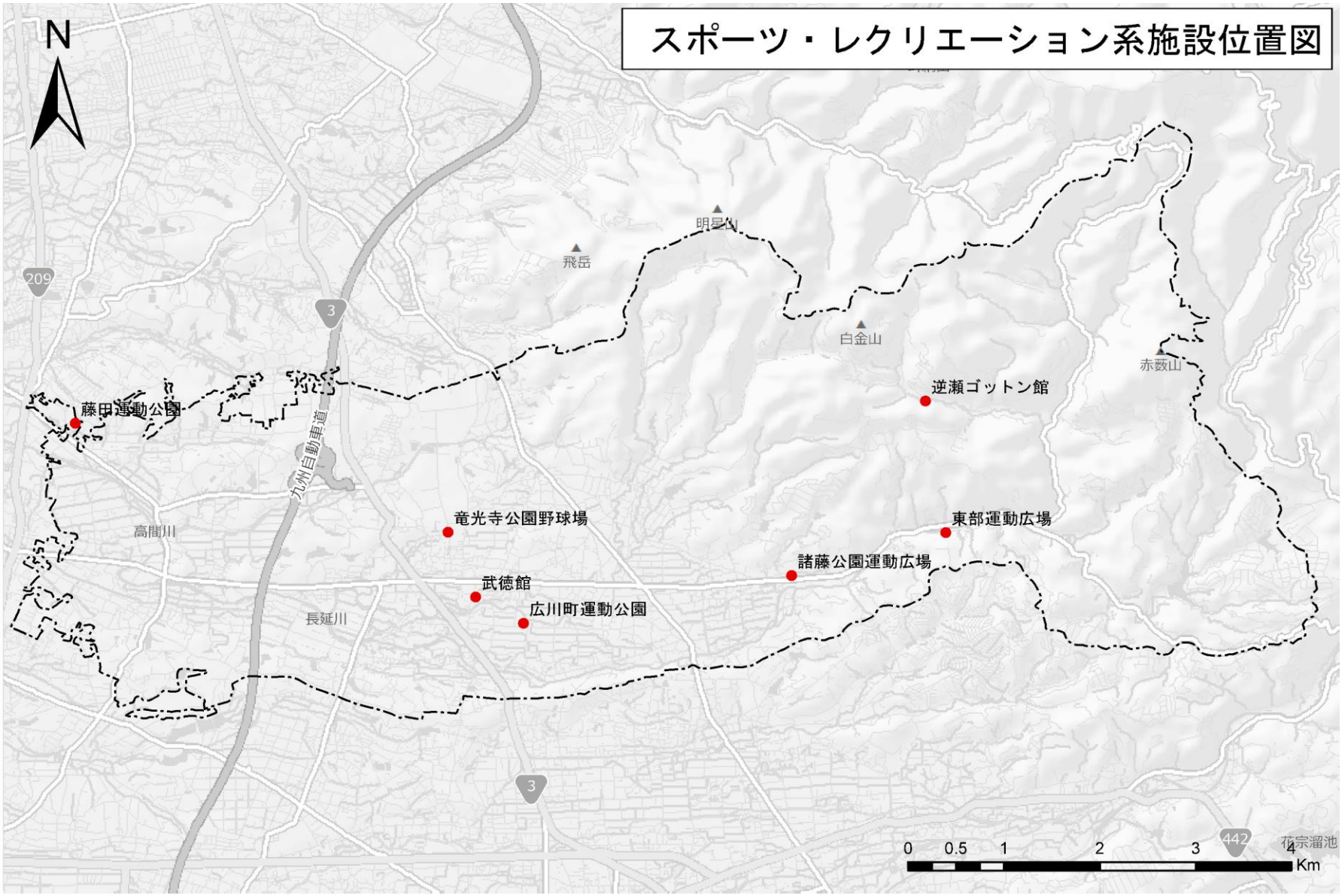
表　スポーツ・レクリエーション系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
スポーツ施設	武徳館	2	1,035		○	2	1972	45	2	有り	無し
	竜光寺公園広川球場	10	308	○		0	1985	32	0	有り	無し
	諸藤公園運動広場	1	3	○		1	1988	29	1	有り	不要
	広川町運動公園	1	48	○		2	2001	16	2	有り	不要
	藤田運動公園	2	45			0	2004	13	0	有り	不要
	東部運動広場	1	49	○		0	1989	28	0	有り	不要
観光施設	逆瀬ゴットン館	2	90	○		3	1995	22	3	有り	不要
平均		3	225	－	－	－	1991	26	－	－	－
合計		19	1,578	5	1	－	－	－	－	－	－

武徳館

藤田運動公園

逆瀬ゴットン館

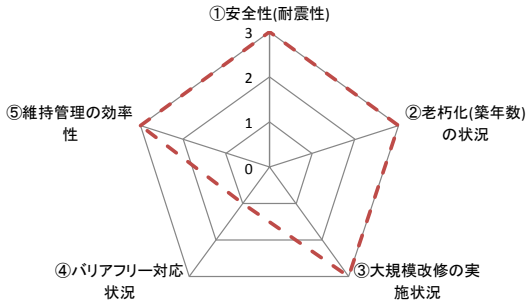

スポーツ・レクリエーション系施設位置図
N
藤田運動公園
竜光寺公園野球場
武徳館
広川町運動公園
逆瀬ゴットン館
東部運動広場
諸藤公園運動広場
飛岳
白金山
赤薮山
高聞川
長延川
九州自動車道
209
3
442
0 0.5 1 2 3 4
Km

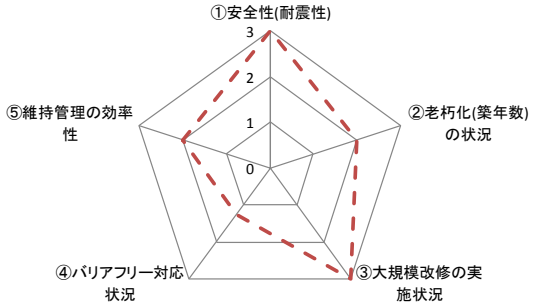
②施設基本情報

藤田運動公園は、機能面で改善の余地があるものの、大きな問題はありません（類型②）。

諸藤公園運動広場、広川町運動公園、東部運動広場、逆瀬ゴットン館は、築 16~29 年を経過し、修繕等の検討が必要になってきています（類型③）。

竜光寺公園広川球場、武徳館は、築 30 年以上を経過しており、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設となっています（類型⑤）。

類型②	機能面で改善の余地がある施設
安全性、老朽化は問題ないが、バリアフリーやコスト等ソフト面で改善の余地がある施設	
	
藤田運動公園	

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
諸藤公園運動広場 広川町運動公園 東部運動広場 逆瀬ゴットン館	

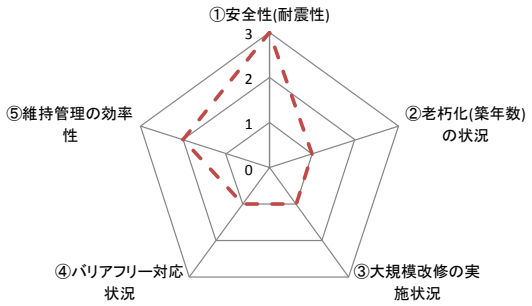
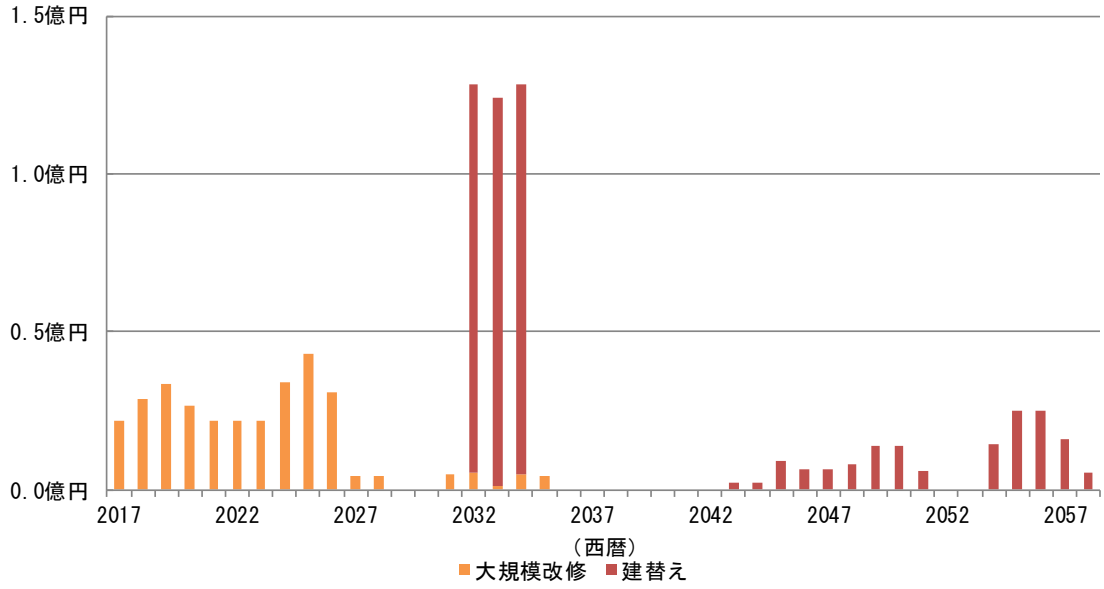
類型⑤	大規模改修等の検討が必要な施設
安全性は問題ないが、築30年を経過し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
武徳館 竜光寺公園広川球場	

図　スポーツ・レクリエーション系施設の建物性能比較

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 8.4 億円、年平均で約 2 千万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（スポーツ・レクリエーション系施設）

面積当たりコストは、平均で 26,554 円/m² となっています。
武徳館は、1,078 円/㎡と比較的安く、諸藤公園運動広場は、72,333 円/㎡と比較的高い費用となっています。

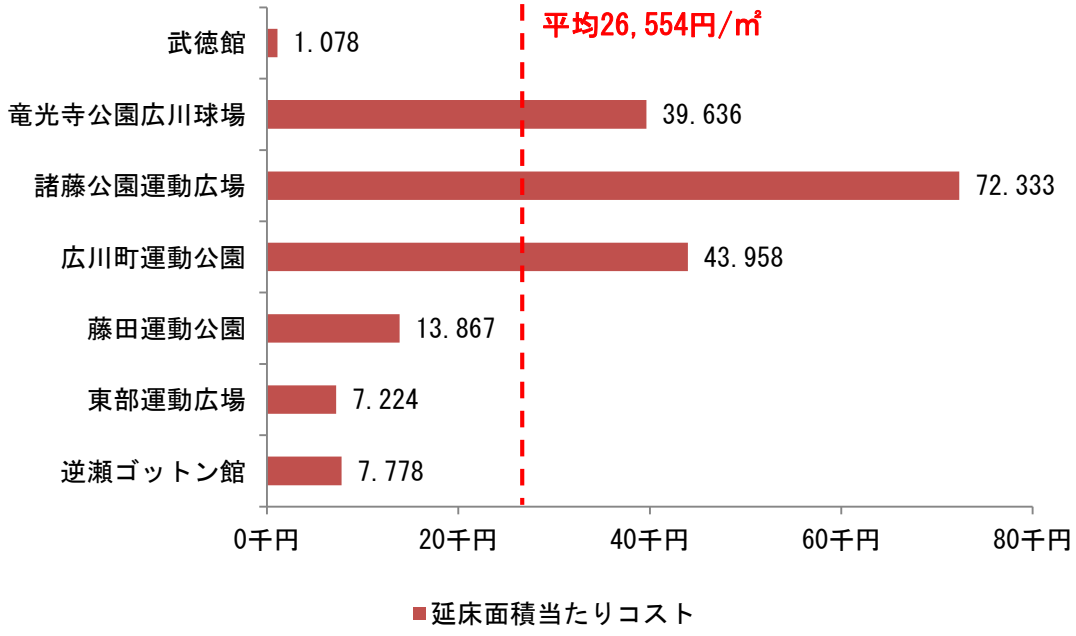


図　面積当たりコスト比較（スポーツ・レクリエーション系施設）

④現状と課題

スポーツ施設 （武徳館、竜光寺公園広川球場、諸藤公園運動広場、広川町運動公園、藤田運動公園、東部運動広場）	● 武徳館、竜光寺公園広川球場は、大規模改修や建替えを検討する時期になっています。 ● 運動広場・公園等の対象建物は、トイレ等の小規模な建物です。
レクリエーション施設･観光施設 （逆瀬ゴットン館）	● 築 22 年を経過しており、老朽化が進行しつつあります。

⑤実施方針

スポーツ施設 （武徳館、竜光寺公園広川球場、諸藤公園運動広場、広川町運動公園、藤田運動公園、東部運動広場）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 武徳館は、町内の体育館施設の有効活用を踏まえて更新を検討します。 ● その他の施設については、予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により安全・耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 住民ニーズ等を踏まえ、総合的に検討します。
⑥施設の利活用に関する方針	● 施設利用の多様化のため、複合化を含めて検討します。
レクリエーション施設・観光施設 （逆瀬ゴットン館）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により安全・耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型の維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 利用者ニーズに対応し、利活用を促進します。

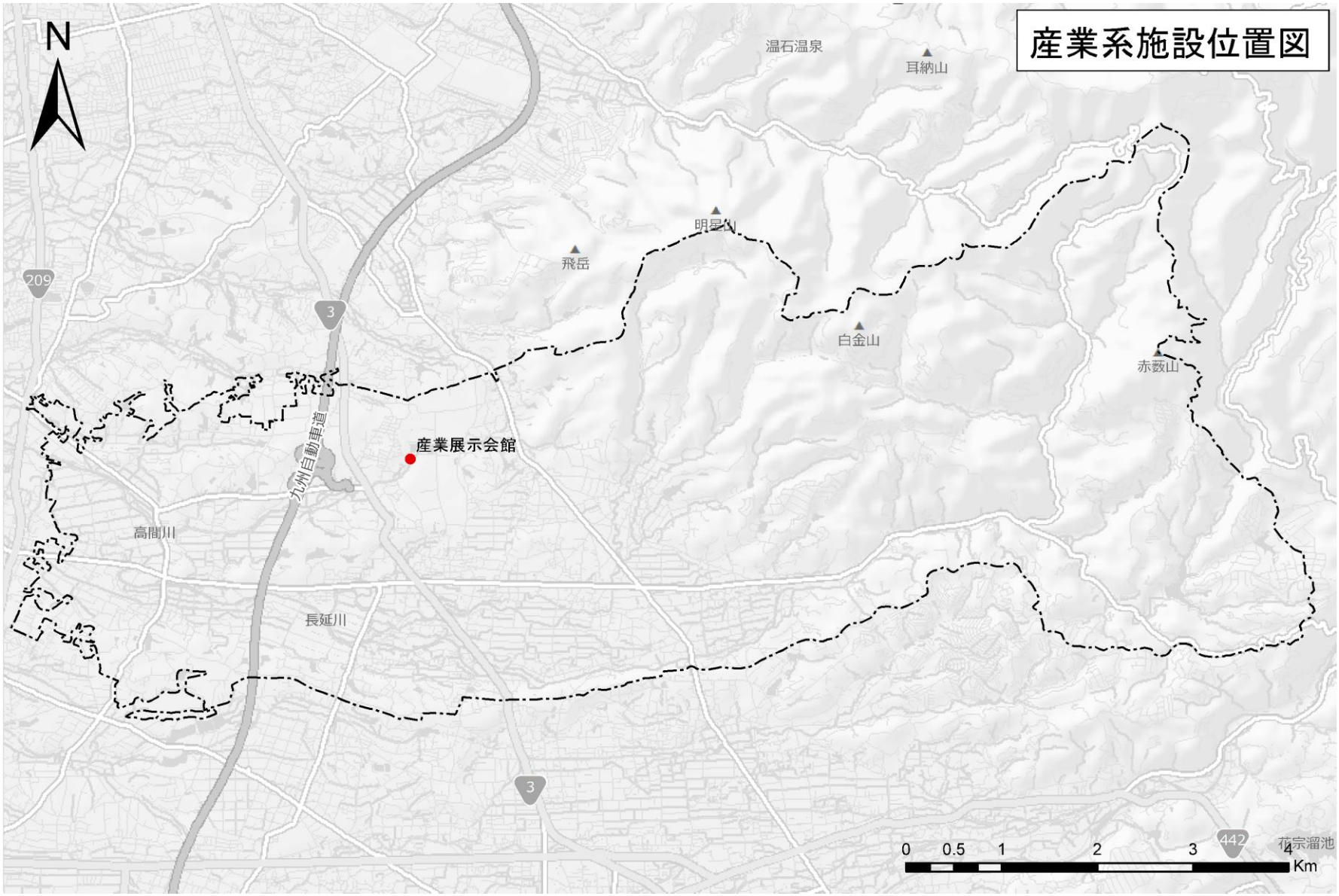
（６）産業系施設

①施設概要

- 産業系施設は、産業展示会館の１施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、1,188 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 2.5%を占めています。

表　産業系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
産業系施設	産業展示会館	2	1,188	○	○	5	1990	27	5	有り	不要
	平均	2	1,188	－	－	－	1990	27	－	－	－
	合計	2	1,188	1	1	－	－	－	－	－	－


産業系施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤藪山
209
3
九州自動車道
産業展示会館
高間川
長延川
442
荷宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

②施設基本情報

産業展示会館は、築 27 年を経過しており、設備等の修繕が必要な施設となっています(類型③)。

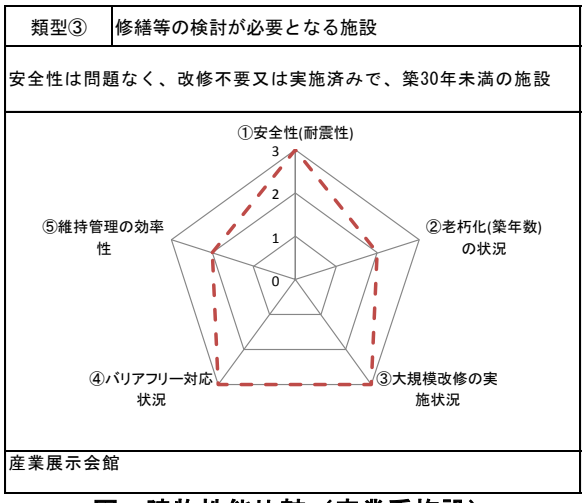
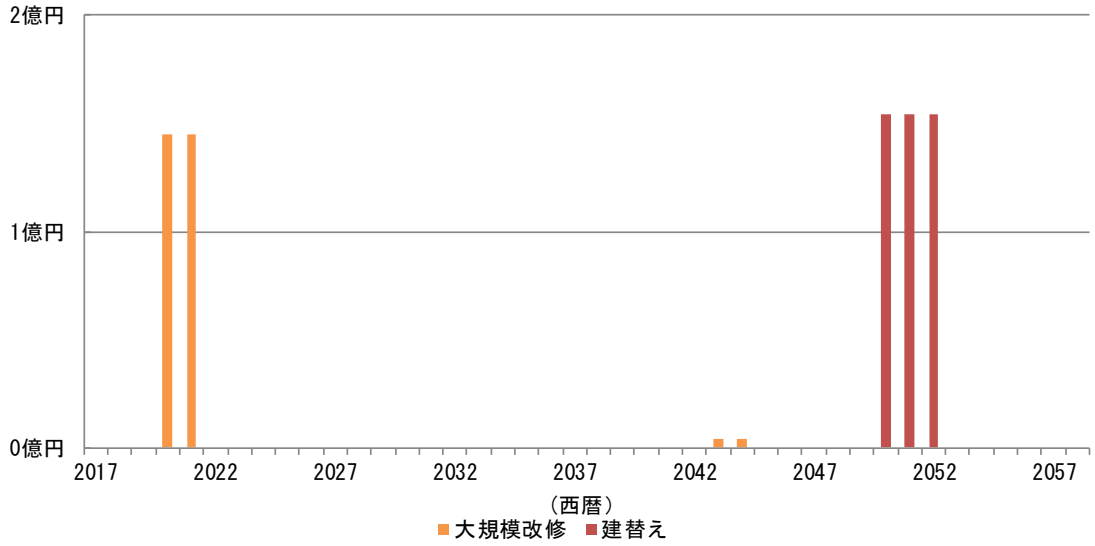


図　建物性能比較（産業系施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 7.6 億円となっています。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年)に均等割当て

図　更新費予測（産業系施設）

利用者数は、過去 3 年で平均 21,500 名程度となっています。

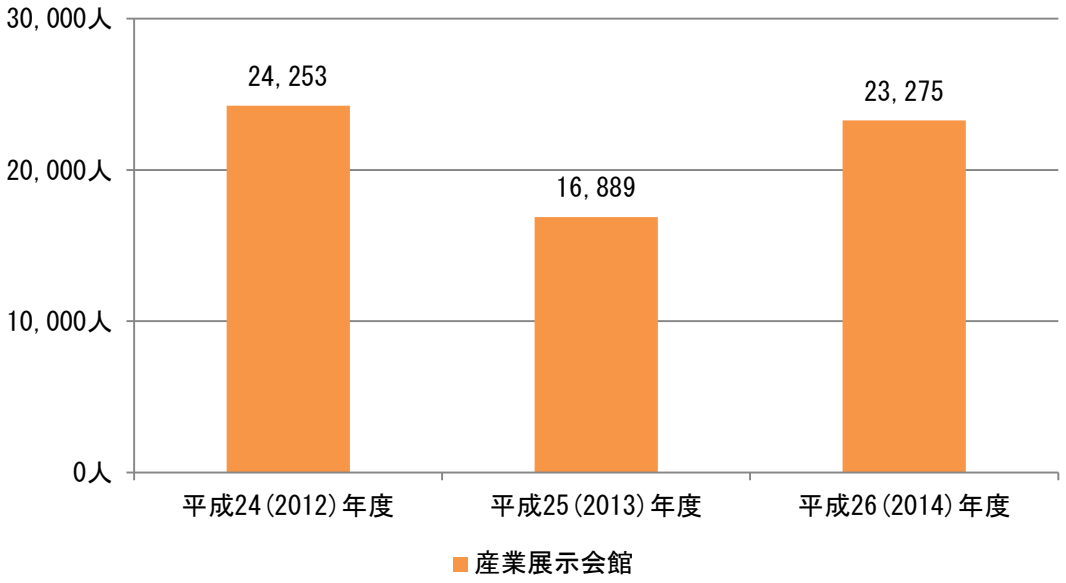


図　利用者数（産業系施設）

利用者当たりコストは、314 円/人、面積当たりコストは 5,681 円/m² となっています。

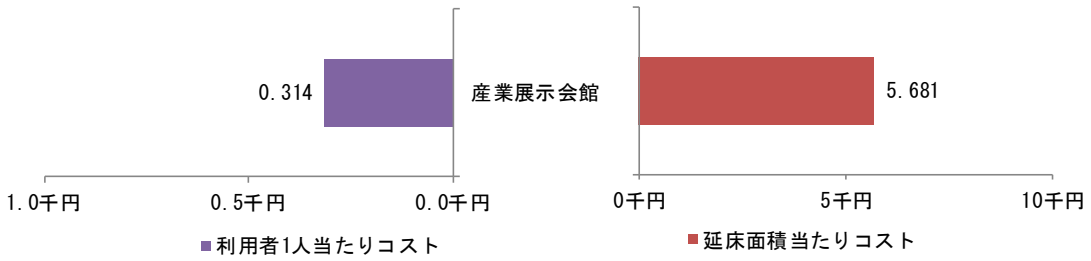


図　利用者および面積当たりコスト比較（産業系施設）

③現状と課題

産業系施設 （産業展示会館）	● 築 27 年を経過しており、老朽化が進行しつつあります。

④実施方針

産業系施設 （産業展示会館）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 町内商工業及び観光業の振興のため、施設利用の活性化についての方策を検討します。

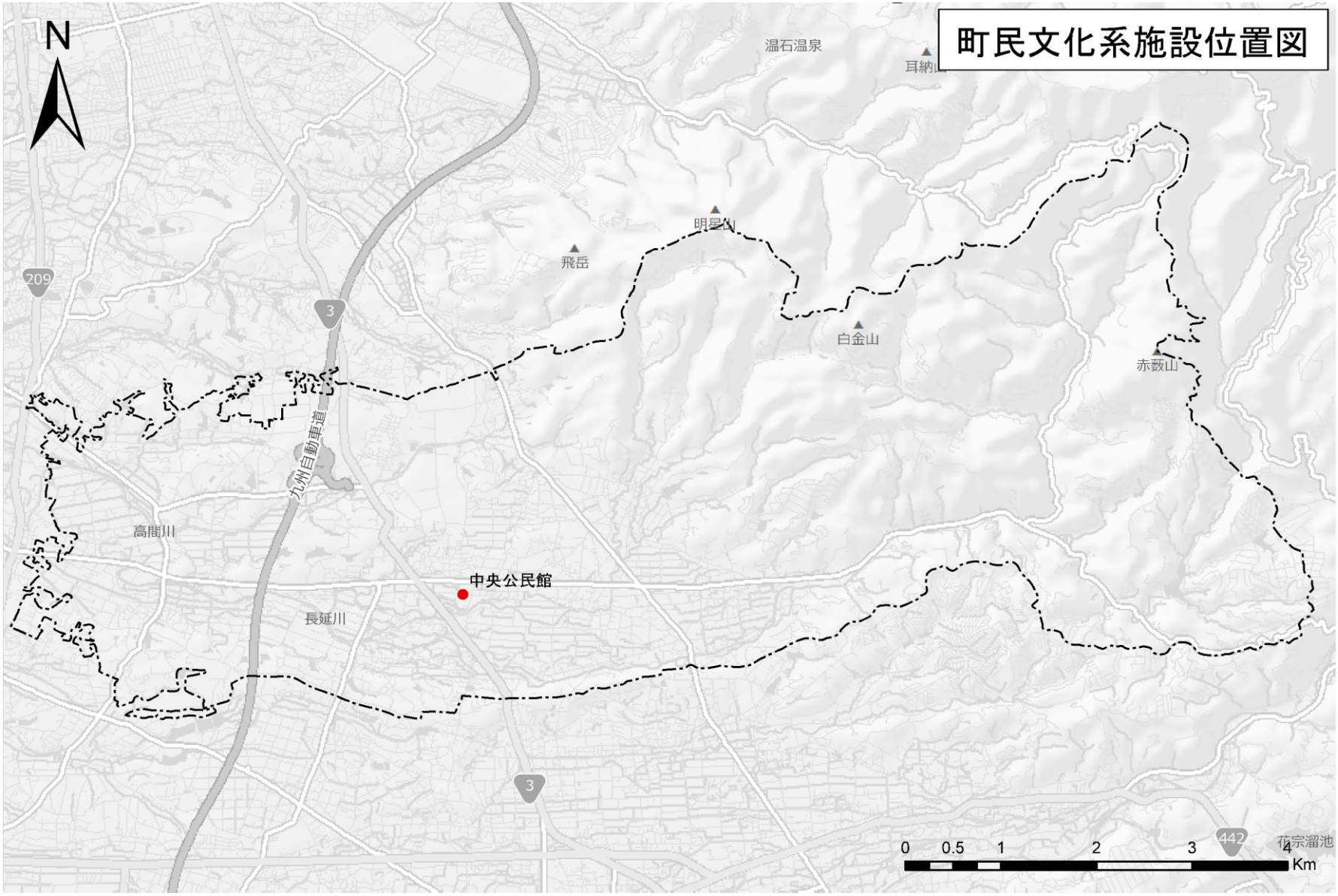
（７）町民文化系施設

①施設概要

- 町民文化系施設は、公民館１施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、894 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 1.9%を占めています。

表　町民文化系施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（㎡）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
公民館	中央公民館	3	894		○	0	1968	49	1	無し	無し
	平均	3	894	－	－	－	1968	49	－	－	－
	合計	3	894	0	1	－	－	－	－	－	－


町民文化系施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明見山
飛岳
白金山
赤藪山
209
3
九州自動車道
高間川
中央公民館
長延川
3
442
荷宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

②施設基本情報

中央公民館は築 50 年になろうとしており、老朽化が進行しているため、大規模改修や建替え等の検討が必要です（類型⑧）。

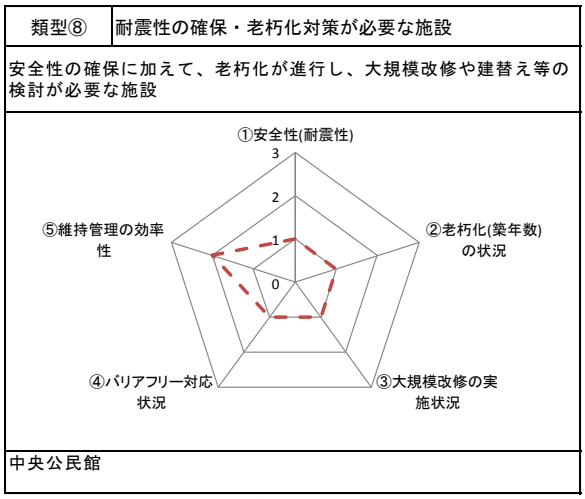
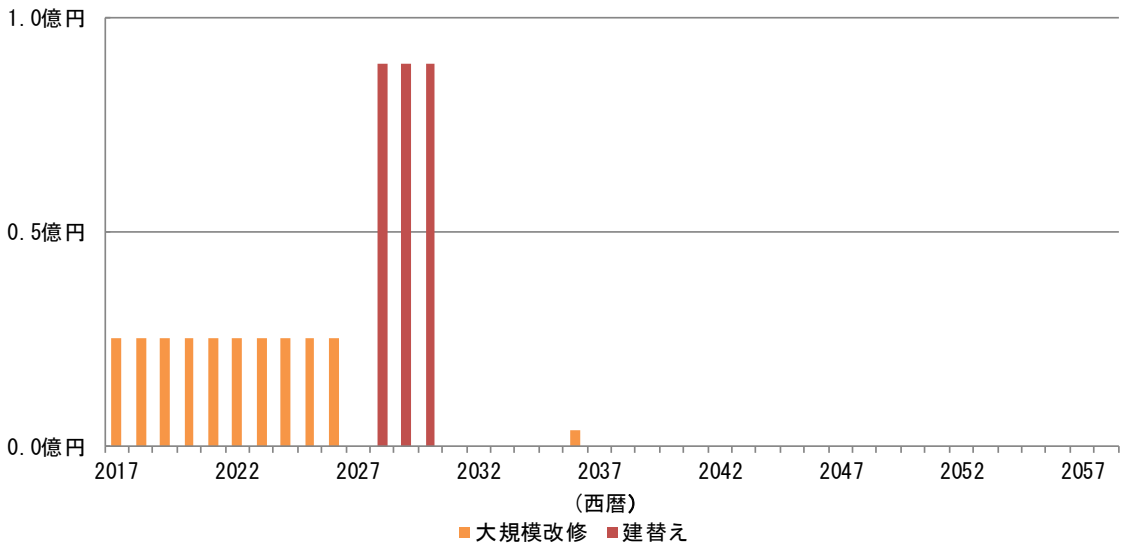


図　建物性能比較（町民文化系施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 5.2 億円となっています。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年)に均等割当て

図　更新費予測（町民文化系施設）

面積当たりコストは、6,814 円/㎡なっています。

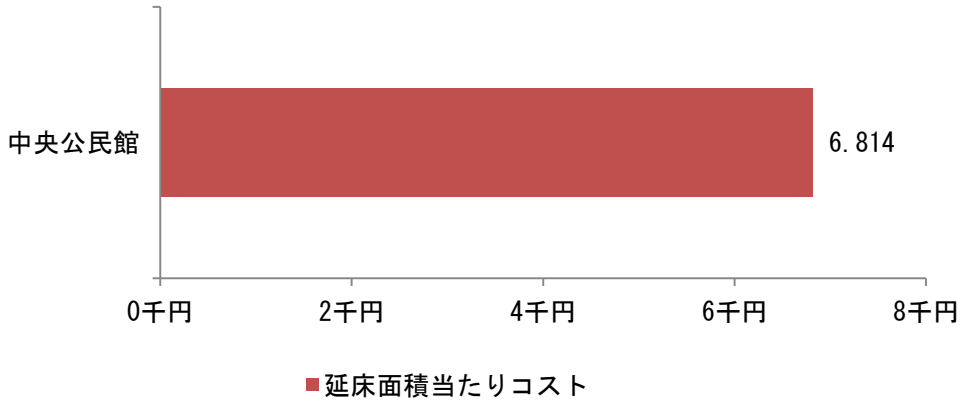


図　面積当たりコスト比較（町民文化系施設）

③現状と課題

公民館 （中央公民館）	● 築後 50 年を迎えようとしており、老朽化の進行と共に補修等に係る経費が増大しています。

④実施方針

公民館 （中央公民館）	
①点検・診断等の実施方針	● 役場庁舎とあわせて新庁舎への建替えを検討中です。新庁舎への建替えと同時に、中長期的な点検・診断計画についても整備します。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 庁舎等検討委員会、庁舎等建設検討会議を実施し、全面建替えに向けて検討中です。
③安全・耐震確保の実施方針	● 災害時でも行政機能が麻痺することのないように、災害に強い庁舎の整備を行います。
④長寿命化の実施方針	● 建替えに際しては、長寿命・高耐久の部材・機器を採用します。
⑤統合や廃止の推進方針	● 建替えに伴い、複合化・集約化を検討し、省スペースで無駄のない庁舎の整備を行います。
⑥施設の利活用に関する方針	● 建替えに伴い、中央公民館の位置付けを検討し、利用しやすい整備を行います。 ● PPP／PFI 等の民間活用によるサービスの向上を検討します。

（８）子育て支援施設

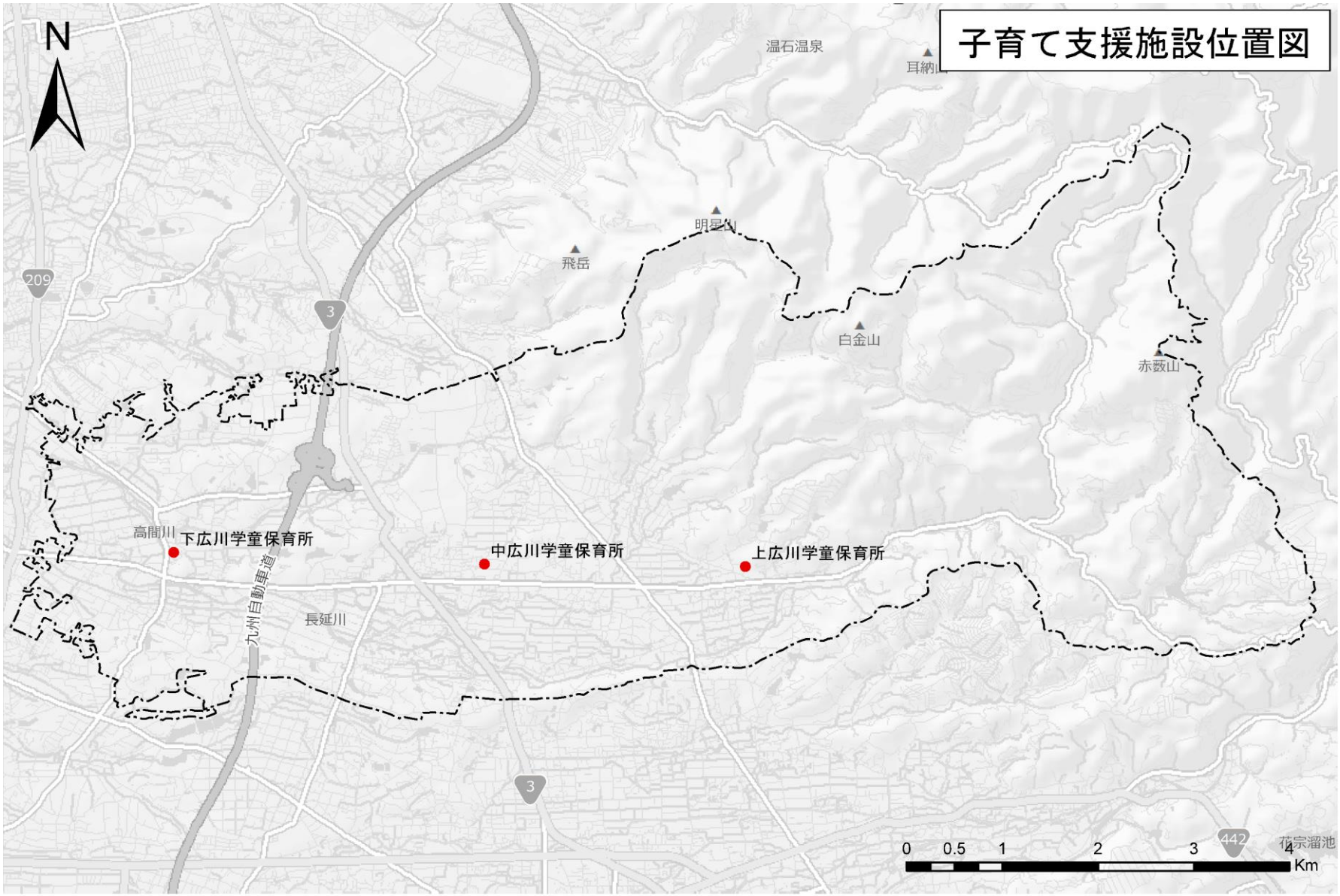
①施設概要

- 子育て支援施設は、幼児・児童施設の 3 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、533 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 1.1%を占めています。

表　子育て支援施設の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（㎡）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
幼児・児童施設	上広川学童保育所	1	79			0	2000	17	0	有り	不要
	中広川学童保育所	2	296			3	2001	16	1	有り	不要
	下広川学童保育所	1	158			3	2013	4	3	有り	不要
平均		1	178	－	－	－	2005	12	－	－	－
合計		4	533	0	0	－	－	－	－	－	－

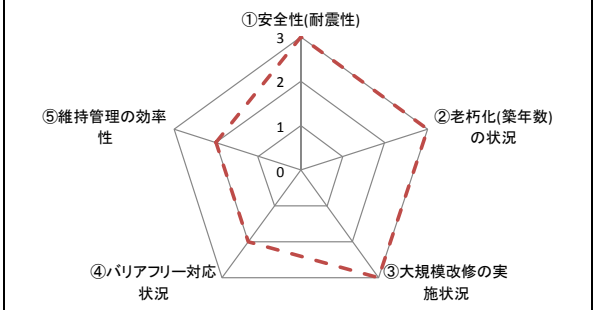
下広川学童保育所


子育て支援施設位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤薮山
209
3
高間川
下広川学童保育所
中広川学童保育所
上広川学童保育所
九州自動車道
長延川
3
442
花宗溜池
0 0.5 1 2 3 4
Km

②施設基本情報

下広川学童保育所は、平成 26（2014）年に移転、新築された新しい施設であり、バリアフリーに若干改善の余地があるものの特に大きな問題はないと思われます（類型②）。

上広川学童保育所、中広川学童保育所は、築 15 年程度であり、修繕等の検討が必要な時期に来ています（類型③）。

類型②	機能面で改善の余地がある施設
安全性、老朽化は問題ないが、バリアフリーやコスト等ソフト面で改善の余地がある施設	
	
下広川学童保育所	

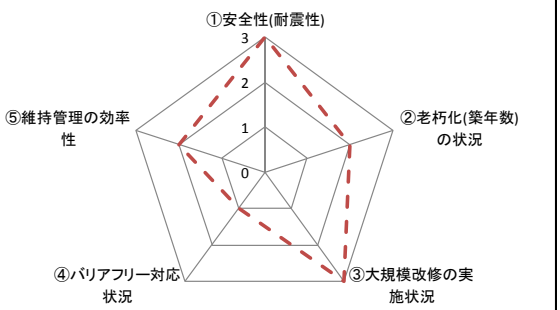
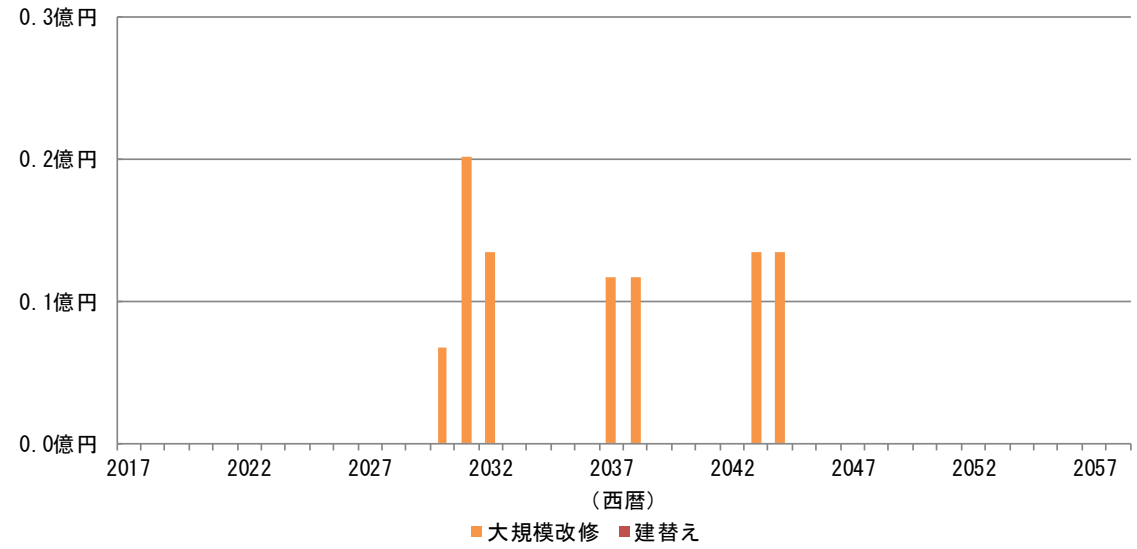
類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
上広川学童保育所 中広川学童保育所	

図　建物性能比較（子育て支援施設）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 9 千万円、年平均で約 2 百万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（子育て支援施設）

利用者数は、過去 3 年で増加傾向にあり、平成 26（2014）年度には、約 170 名の児童が利用しています。

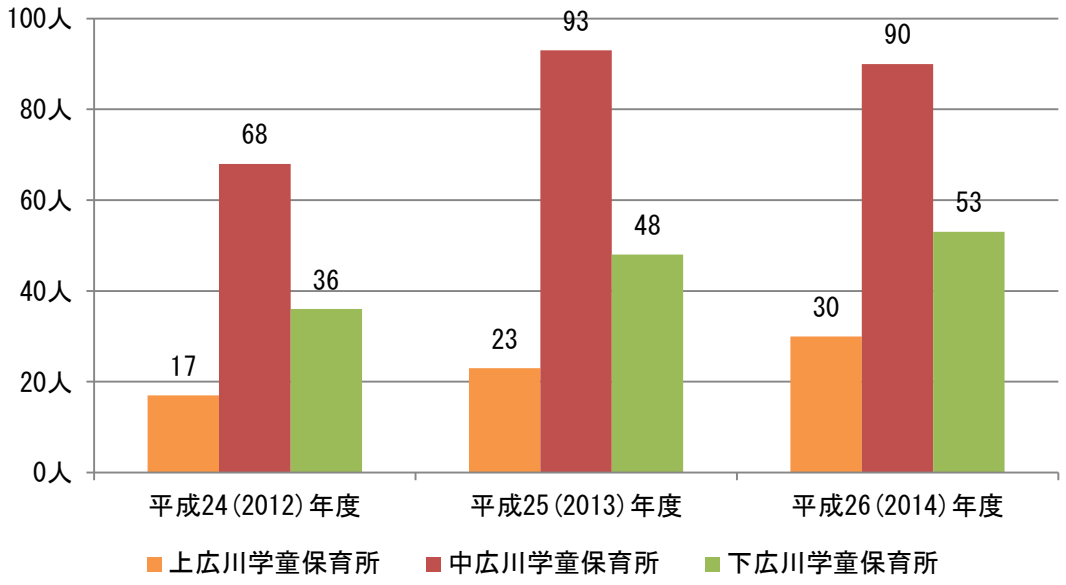


図　児童・生徒数（子育て支援施設）

利用者当たりコストは、平均で 92,157 円/ 人であり、利用者の多い中広川学童保育所で低い傾向がみられています。

面積当たりコストは、平均で 26,634 円/㎡であり、施設によって、大きな違いはみられません。

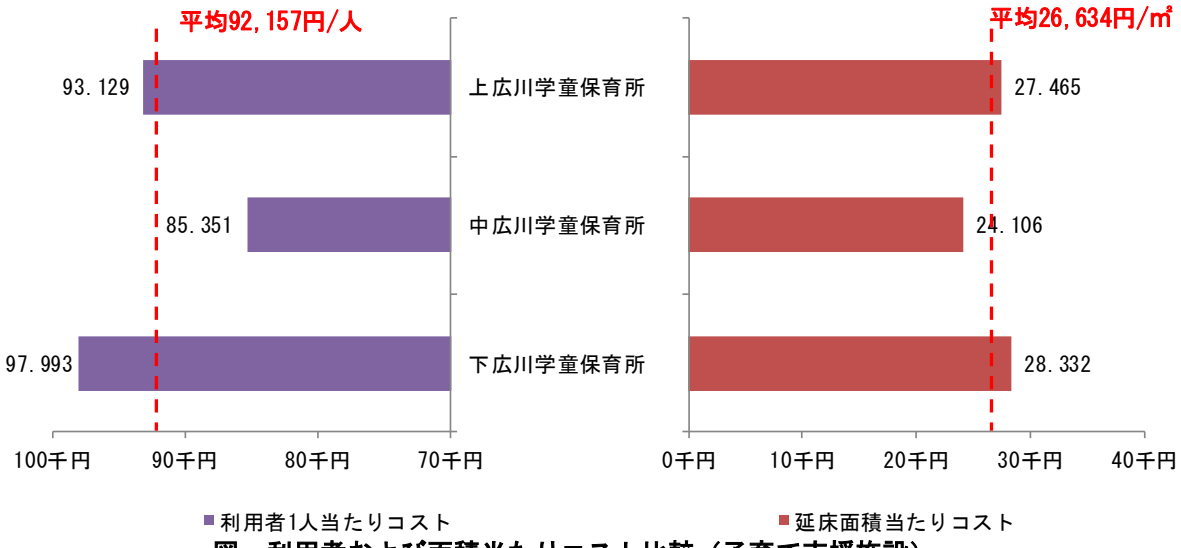


図　利用者および面積当たりコスト比較（子育て支援施設）

③現状と課題

幼児・児童施設 （上広川学童保育所、中広川学童保育所、下広川学童保育所）	● 上広川学童保育所、中広川学童保育所は、築 15 年程度です。 ● 下広川学童保育所は、平成 26（2014）年に移転・新築された新しい施設です。

④実施方針

幼児・児童施設 （上広川学童保育所、中広川学童保育所、下広川学童保育所）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止の予定はありません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 子育て支援ニーズに対応するため、適切な規模の施設整備を検討していきます。

（９）公営住宅

①施設概要

- 公営住宅は 3 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、528 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 1.1%を占めています。

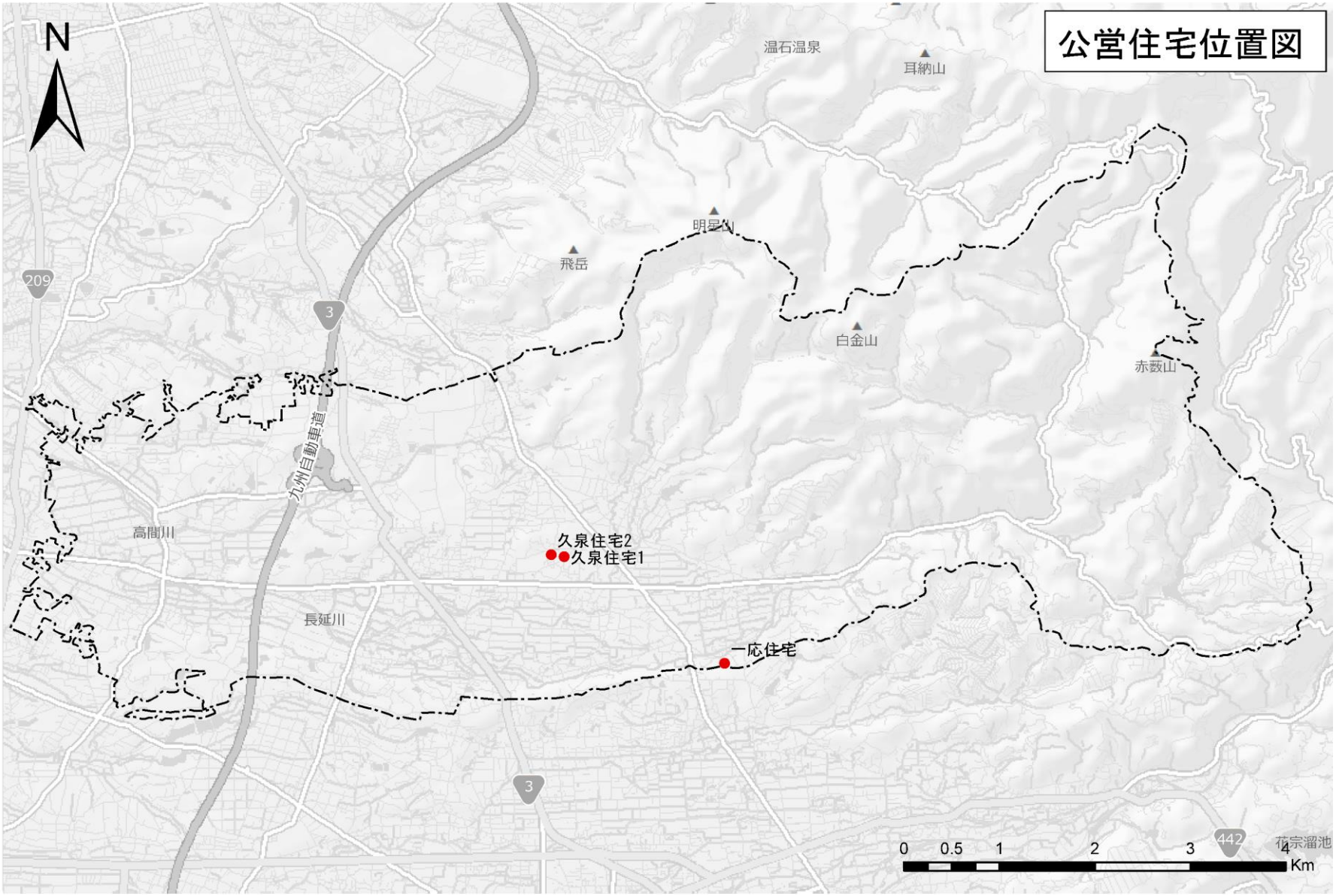
表　公営住宅の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
公営住宅	久泉住宅1	4	258			0	1981	36	0	有り	不要
	久泉住宅2	2	132			0	1983	34	0	有り	不要
	一応住宅	2	138			0	1991	26	0	有り	不要
平均		3	176	－	－	－	1985	32	－	－	－
合計		8	528	0	0	－	－	－	－	－	－

久泉住宅１

久泉住宅２

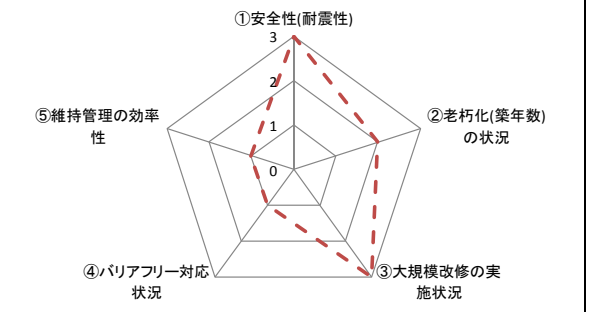
一応住宅


公営住宅位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤翁山
209
3
九州自動車道
高間川
長延川
久泉住宅2
久泉住宅1
一応住宅
442
荏宗溜池
0
0.5
1
2
3
4
Km

②施設基本情報

一応住宅は、築 26 年以上を経過しており、修繕等の検討が必要となってきています（類型③）。

久泉住宅 1、久泉住宅 2 は、築 30 年以上を経過していますが、大規模改修を実施済みです（類型④）。

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
一応住宅	

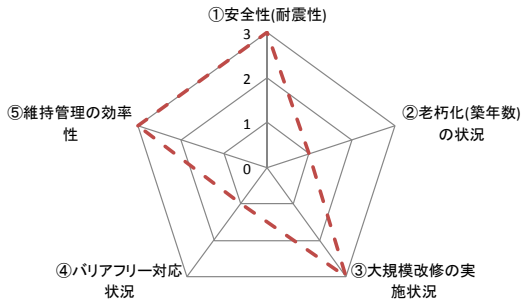
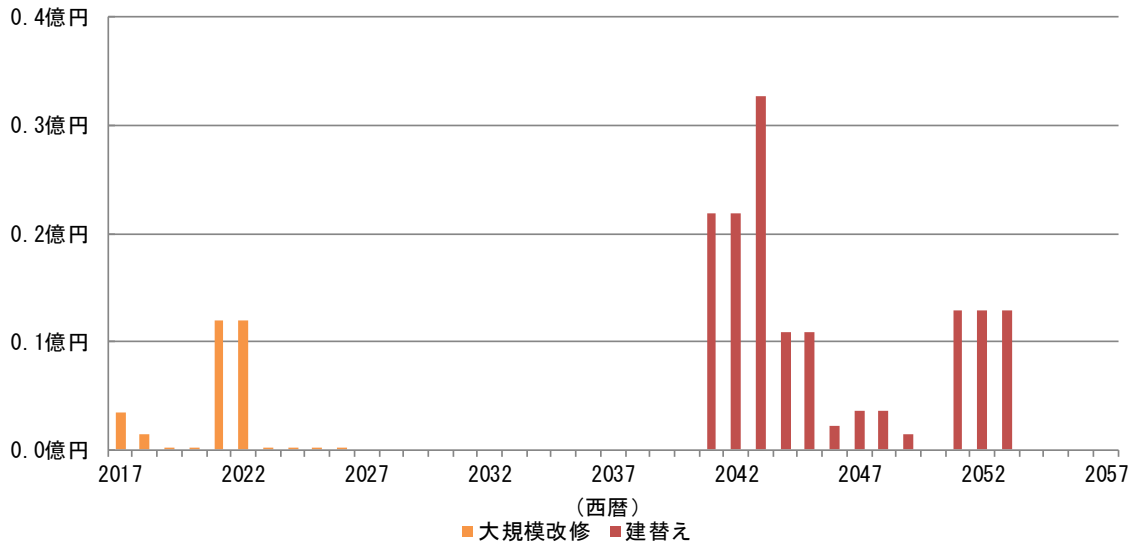
類型④	老朽化が進行している施設
安全性は問題なく、大規模改修は実施済みだが、修繕等の検討が必要な施設	
	
久泉住宅1 久泉住宅2	

図　建物性能比較（公営住宅）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 1.8 億円、年平均で約 4 百万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（公営住宅）

過去 3 年の入居戸数は、久泉住宅 1 で 4 戸、久泉住宅 2 および一応住宅で 2 戸であり、変動はありません。

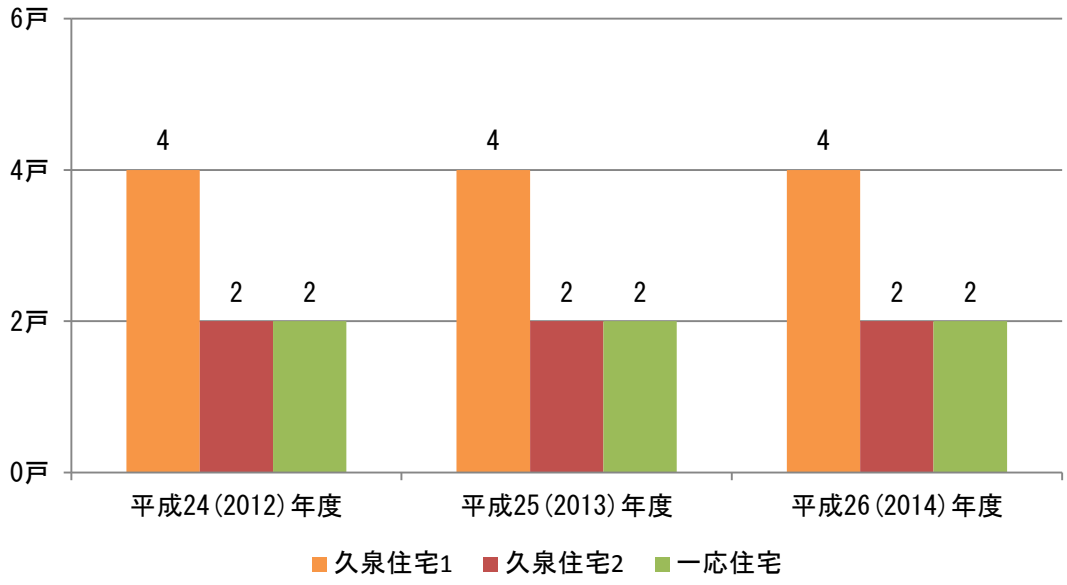


図　入居戸数（公営住宅）

戸数当たりコストは、平均で 111,333 円/ 戸、面積当たりコストは、平均で 1,642 円/㎡となっています。一応住宅は、平成 26（2014）年に 100 万円ほどの修理費を計上しているため、高い費用となっています。

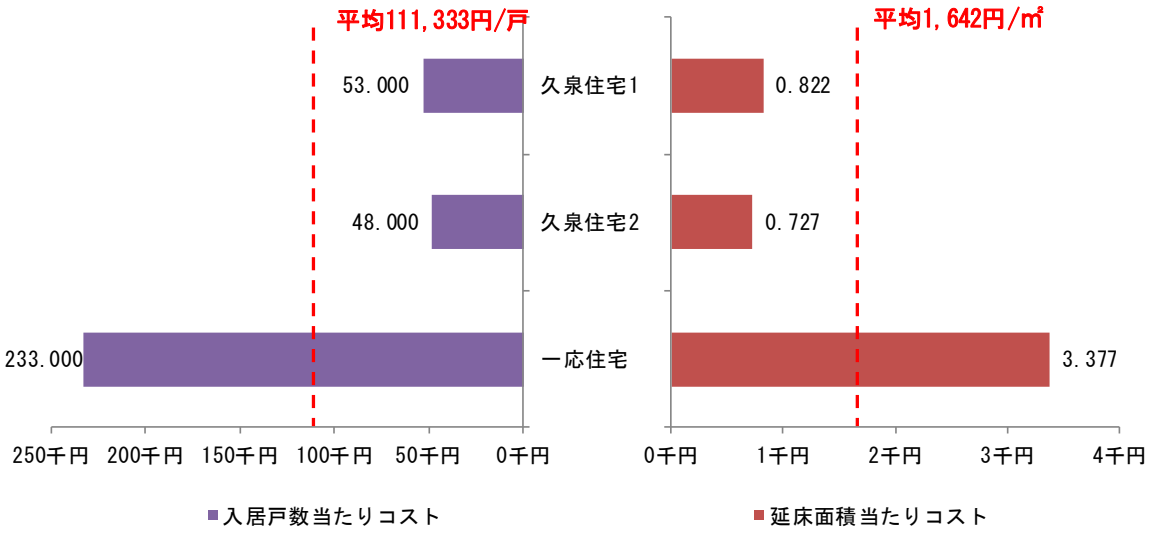


図　戸数および面積当たりコスト比較（公営住宅）

③現状と課題

公営住宅 （久泉住宅 1、久泉住宅 2、一応住宅）	● 一応住宅は築 26 年を経過し、老朽化が進行しつつあります。 ● 久泉住宅１、久泉住宅２については、築 30 年以上を経過していますが、平成 12（2000）年度に大規模改修を行っています。

④実施方針

公営住宅 （久泉住宅 1、久泉住宅 2、一応住宅）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 久泉住宅 1 は、耐震性が確認されていないため、耐震診断等の定期的な点検や修繕により耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 既存の公営住宅を活用していきます。

（10）公園

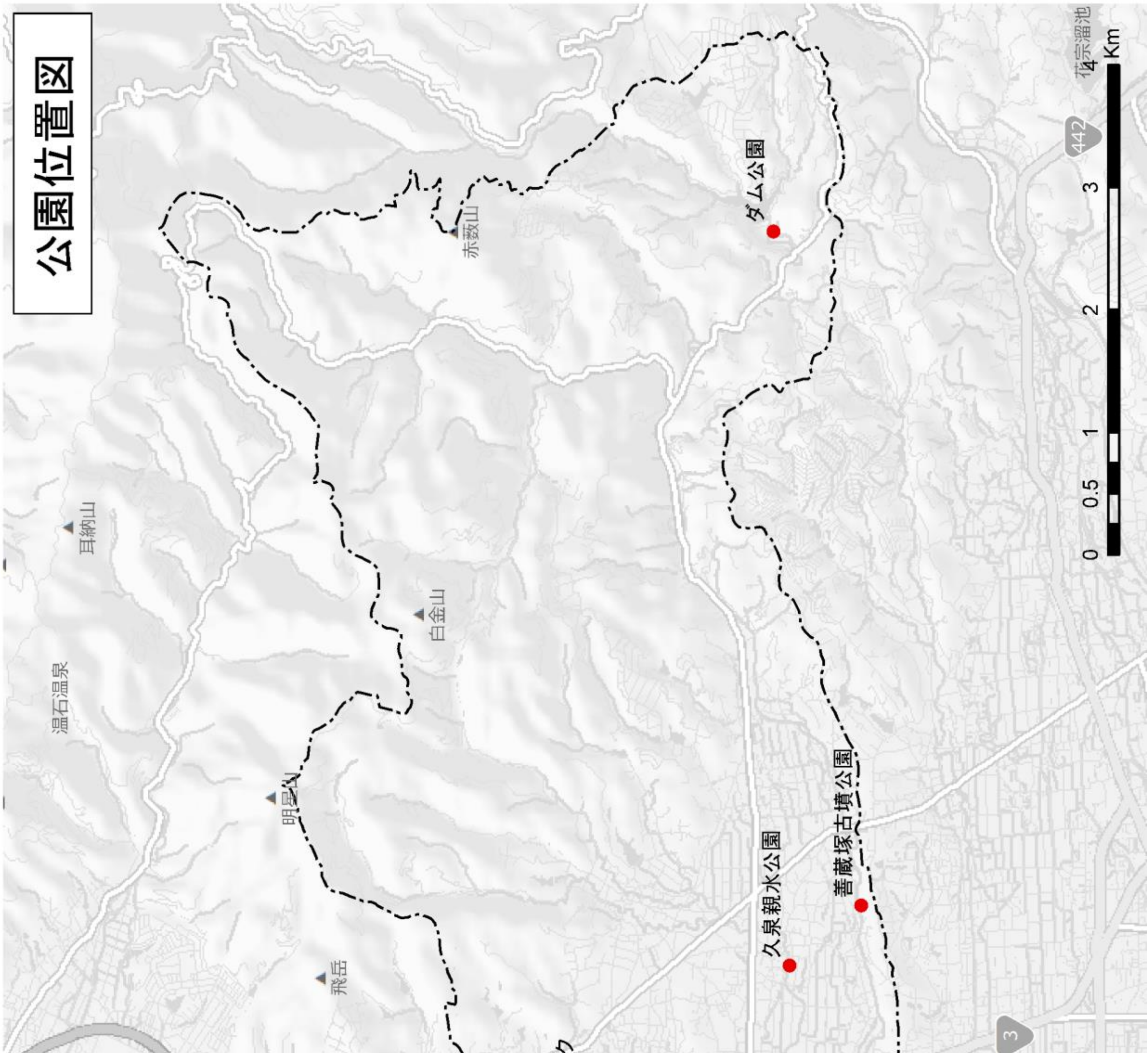
①施設概要

- 公園は 6 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、116 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 0.2%を占めています。

表　公園の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
公園	久泉親水公園	1	12			0	1999	18	0	有り	不要
	善蔵塚古墳公園	1	30	○		0	2005	12	0	有り	不要
	ダム公園	2	43			4	2006	11	2	有り	不要
	湯納楚山公園	1	11	○		1	2005	12	1	有り	不要
	石人山古墳	1	7			0	1986	31	0	有り	無し
	グリートパーク	1	13			0	1995	22	0	有り	不要
平均		1	19	－	－	－	1999	18	－	－	－
合計		7	116	2	0	－	－	－	－	－	－

湯納楚山公園



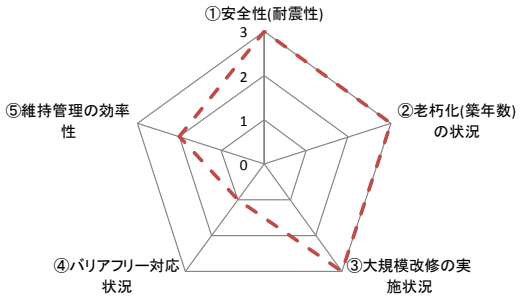
公園位置図
ダム公園
赤薮山
白金山
耳納山
温石温泉
明星山
飛岳
久泉親水公園
善蔵塚古墳公園
長延川
高間川
石人山古墳
3
209
442
N
0 0.5 1 2 3 4
Km

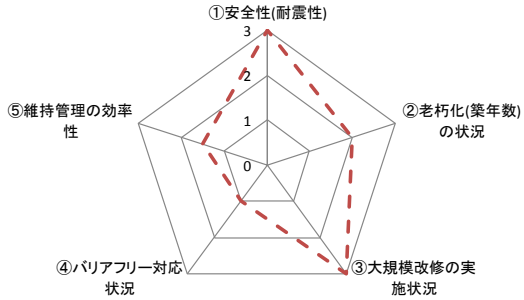
②施設基本情報

善蔵塚古墳公園、ダム公園、湯納楚山公園は、機能面で改善の余地があるものの、大きな問題はありません（類型②）。

久泉親水公園、グリートパークは、築 20 年程度であり、修繕等の検討が必要になってきています（類型③）。

石人山古墳は、築 30 年以上を経過しており、修繕等の検討が必要な施設となっています（類型⑤）。

類型②	機能面で改善の余地がある施設
安全性、老朽化は問題ないが、バリアフリーやコスト等ソフト面で改善の余地がある施設	
	
善蔵塚古墳公園 ダム公園 湯納楚山公園	

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	
	
久泉親水公園 グリートパーク	

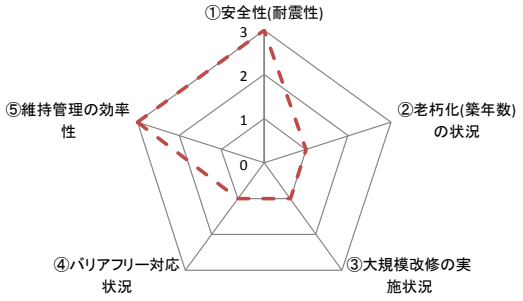
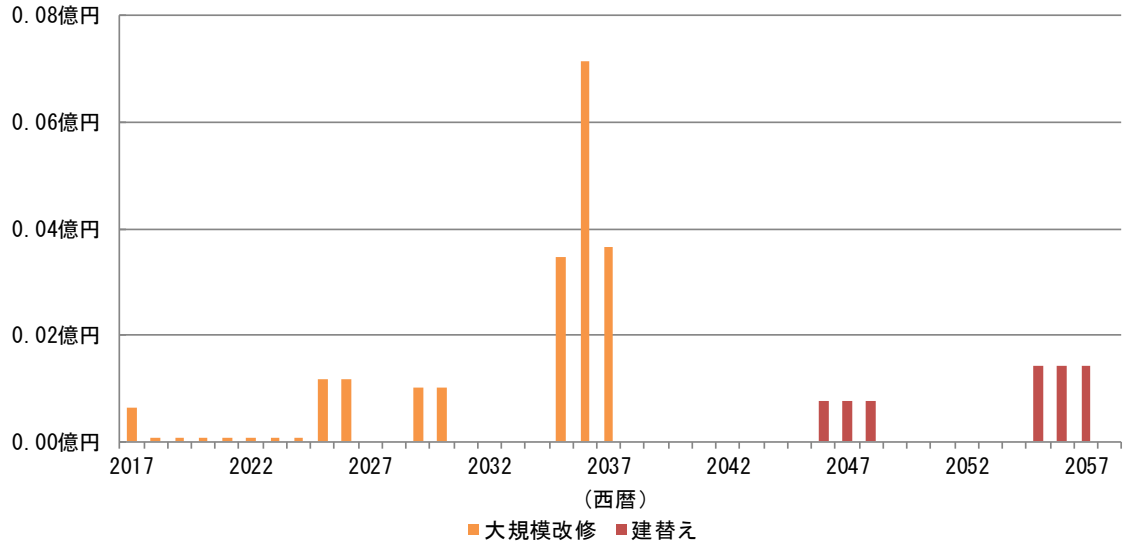
類型⑤	大規模改修等の検討が必要な施設
安全性は問題ないが、築30年を経過し、大規模改修や建替え等の検討が必要な施設	
	
石人山古墳	

図　建物性能比較（公園）

既存施設についての更新費をみると、40 年間で約 0.26 億円、年平均で約 60 万円と予測されます。



※築30年で大規模改修（未改修建物）、築60年で建替えとして算定
※現時点で更新時期が経過しているものは直近10年（2017～2026年）に均等割当て

図　更新費予測（公園）

③現状と課題

公　園 （久泉親水公園、善蔵塚古墳公園、ダム公園、湯納楚山公園、石人山古墳、グリートパーク）	● 広川町公園長寿命化計画に従った維持・管理を実施しています。 ● 供用開始から長い年月が経過した公園も多く、公園施設の老朽化が進行しています。

④実施方針

公　園 （久泉親水公園、善蔵塚古墳公園、ダム公園、湯納楚山公園、石人山古墳、グリートパーク）	
①点検・診断等の実施方針	● 広川町公園施設長寿命化計画に基づいた、日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 広川町公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な修理および新規更新を行います。
③安全・耐震確保の実施方針	● 日常の公園管理で、施設の安全を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 広川町公園施設長寿命化計画に基づいた予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現時点での統合、廃止は予定しません。
⑥施設の利活用に関する方針	● 施設の安全確保を第一とし、快適な施設整備を実施します。

（11）その他

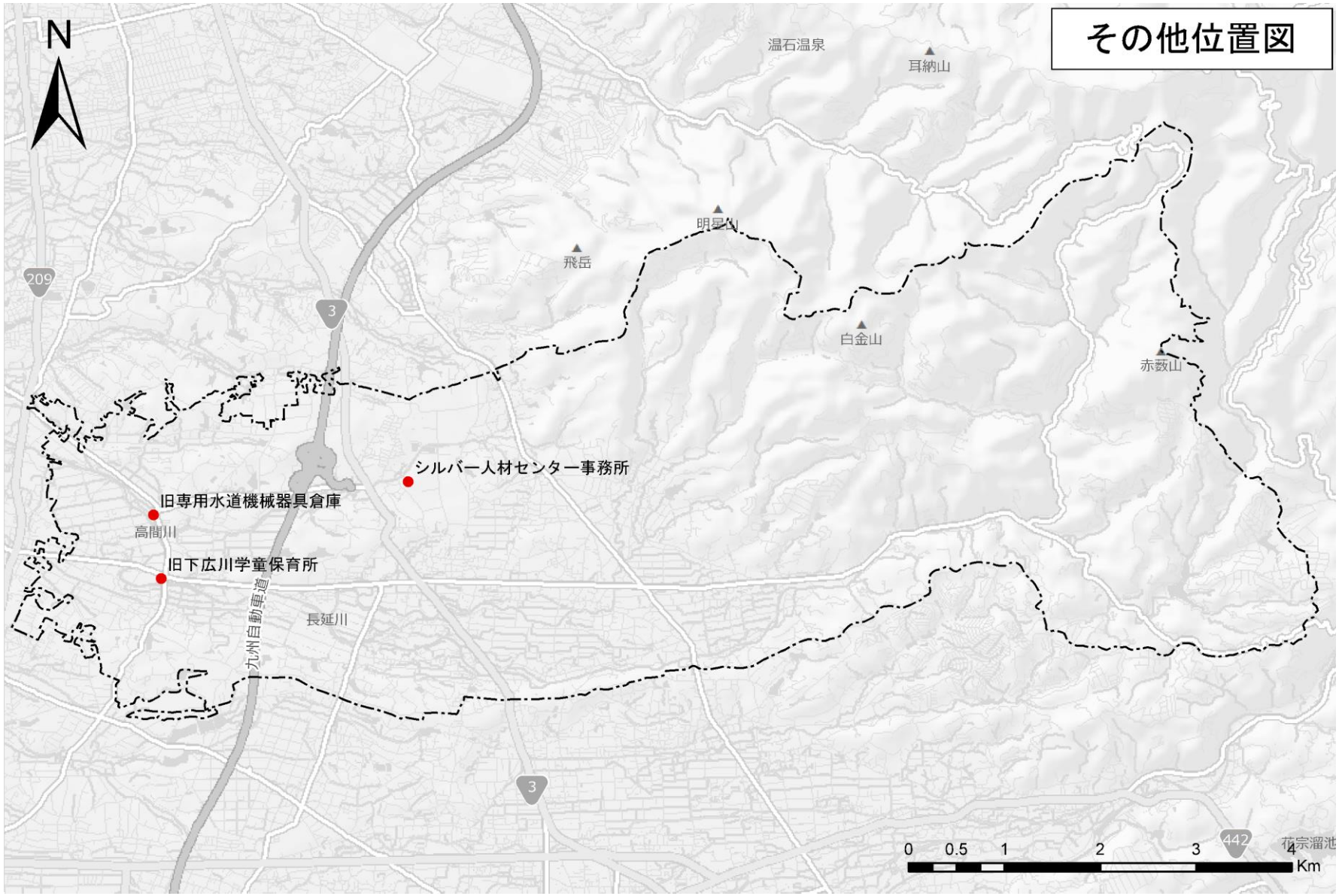
①施設概要

- その他の施設として 3 施設が配置されています。
- 施設全体の延床面積は、212 ㎡であり、町が保有する公共施設（建築物）延床面積全体の 0.4%を占めています。

表　その他の一覧

用途	施設名称	施設情報					代表建物情報				
		建物棟数	延床面積（m^2）	指定管理	避難所指定	バリアフリー（箇所）	建築年度	経過年数	バリアフリー（箇所）	耐震	大規模改修
その他	シルバー人材センター事務所	3	103			1	1996	21	0	有り	不要
	旧専用水道機械器具倉庫	1	13			0	1989	28	0	有り	不要
	旧下広川学童保育所	1	96			0	2000	17	0	有り	不要
平均		2	71	－	－	－	1995	22	－	－	－
合計		5	212	0	0	－	－	－	－	－	－

シルバー人材センター事務所


その他位置図
N
温石温泉
耳納山
明星山
飛岳
白金山
赤藪山
209
3
シルバー人材センター事務所
旧専用水道機械器具倉庫
高間川
旧下広川学童保育所
長延川
九州自動車道
3
442
0 0.5 1 2 3 4
Km

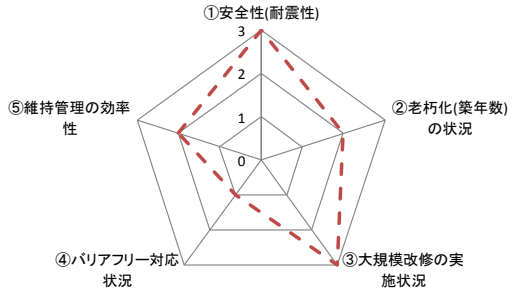
②施設基本情報

3 施設とも、築 20～30 年であり、老朽化が進行しつつあります（類型③）。

旧専用水道機械器具倉庫は、上水道の水源地として利用していましたが、現在は利用していません。

旧下広川学童保育所は未利用施設です。

類型③	修繕等の検討が必要となる施設
安全性は問題なく、改修不要又は実施済みで、築30年未満の施設	



シルバー人材センター事務所
旧専用水道機械器具倉庫
旧下広川学童保育所

図　建物性能比較（その他）

③現状と課題

その他（シルバー人材センター事務所、旧専用水道機械器具倉庫、旧下広川学童保育所）	● 築 20～30 年であり、老朽化が進行しつつあります。 ● 旧専用水道機械器具倉庫、旧下広川学童保育所は、未利用施設です。

④実施方針

その他（シルバー人材センター事務所、旧専用水道機械器具倉庫、旧下広川学童保育所）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図るとともに、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 定期的な点検や修繕により安全・耐震性を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。
⑤統合や廃止の推進方針	● 現在未利用の旧下広川学童保育所は除去します。
⑥施設の利活用に関する方針	● 現在未利用の旧下広川学童保育所は除去します。

第３節　インフラ資産の基本方針

（１）道路・橋梁

①施設概要

- 道路は、総延長 268,776m、面積 1,545,355 ㎡が整備されています。
- 橋梁は、160 橋あり、総延長 1,464m、面積 317,204 ㎡が整備されています。

②現状と課題

道路・橋梁	● 道路・橋梁は、もっとも基本的な交通基盤であることから、安全・快適に利用できる状況を常に確保する必要があります。 ● 広川町橋梁長寿命化修繕計画が策定されています。

③実施方針

道路・橋梁	
①点検・診断等の実施方針	● 道路・橋梁の状況に応じた点検を定期的に実施します。 ● 点検・診断データを記録・蓄積していくことにより健全度を把握していきます。 ● 日常的なパトロールにより状況を確認・記録し、維持管理データの一助とします。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 道路は、劣化状況に着目して早急に対応が必要な部分から更新・修繕を検討していきます。 ● 橋梁は、広川町橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を実施します。
③安全・耐震確保の実施方針	● ガードレールや防護柵等により通行者の安全を確保します。
④長寿命化の実施方針	● 広川町橋梁長寿命化修繕計画に基づいた予防保全型による維持管理を実施することで、施設の長寿命化を図ります。

（２）上水道施設、下水道施設

①施設概要

- 上水道施設（管渠）は、総延長 119,273mが整備されています。
- 下水道施設（管渠）は、塩ビ管 36,754m、鉄筋コンクリート 1,067m、圧送管 631mの総延長 38,452mが整備されています。

②現状と課題

上水道、下水道（管渠）	● 上水道（管渠）は、全体の約 94%が 1998 年以前に整備されており、将来的な更新時期の集中が想定されます。

③実施方針

上水道、下水道（管渠）	
①点検・診断等の実施方針	● 日常点検・定期点検により、不具合の早期発見に努めます。 ● 点検・診断記録を集積・蓄積し、維持管理計画に反映させます。
②維持管理・修繕・更新等の実施方針	● 上水道管渠は、今後、未普及箇所の中で費用対効果などから優先順位を決めて管網整備していきます。 ● 下水道管渠、マンホールポンプは今後約 20 年で計画区域を整備していきます。
③安全・耐震確保の実施方針	● 管渠の耐震化を推進します。
④長寿命化の実施方針	● 今後の長寿命化計画の策定を検討します。

参考資料

「広川町の公共施設（建物）に関するアンケート」

集計結果

2017年3月

広川町　総務課

【対象者の抽出方法】

　２０１６年１０月１１日時点において、広川町にお住まいの１８歳以上の方の中から無作為に２，０００人を抽出し、アンケート用紙を発送させていただきました。

【実施期間】

２０１６年１１月１日から２０１６年１１月１８日まで

【注意点】

　端数処理や四捨五入等の関係上、表中に記載の個別数字の合算値と合計欄の数字が一致しない場合があります。

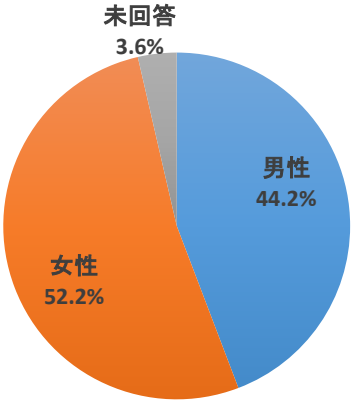
【アンケート回答数（２０１６年１２月２６日時点）】

５２７通

【回答者の属性】

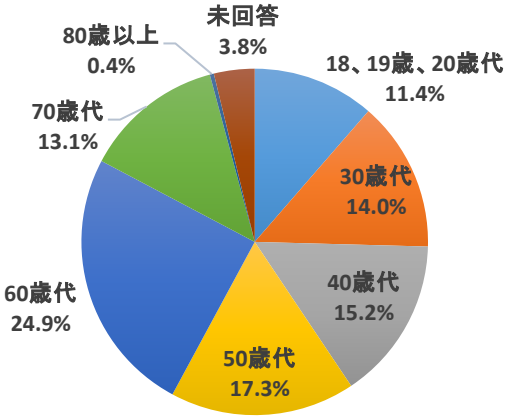
【性別】

	人数	割合
男性	233	44.2%
女性	275	52.2%
未回答	19	3.6%



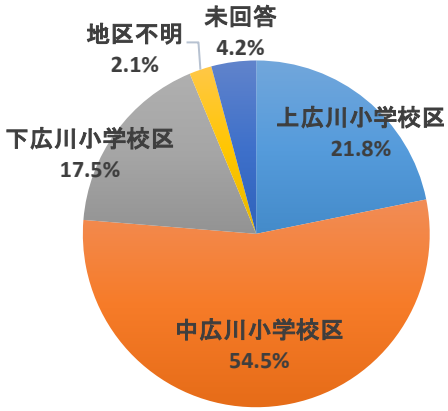
【年代層】

	人数	割合
18、19歳、20歳代	60	11.4%
30歳代	74	14.0%
40歳代	80	15.2%
50歳代	91	17.3%
60歳代	131	24.9%
70歳代	69	13.1%
80歳以上	2	0.4%
未回答	20	3.8%



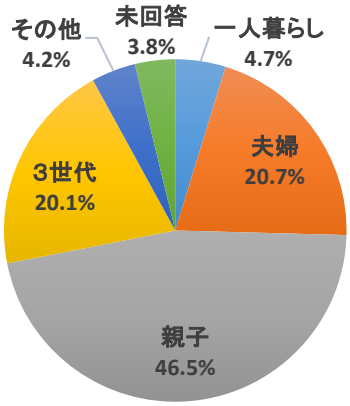
【居住地区】

	人数	割合
上広川小学校区	115	21.8%
中広川小学校区	287	54.5%
下広川小学校区	92	17.5%
地区不明	11	2.1%
未回答	22	4.2%



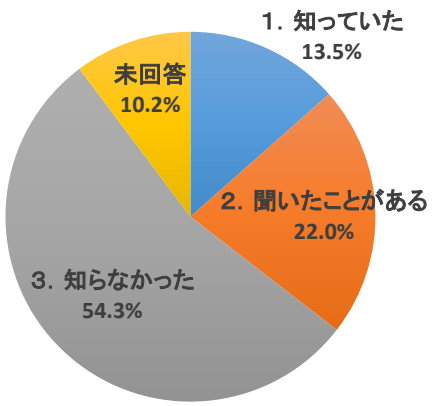
【世帯】

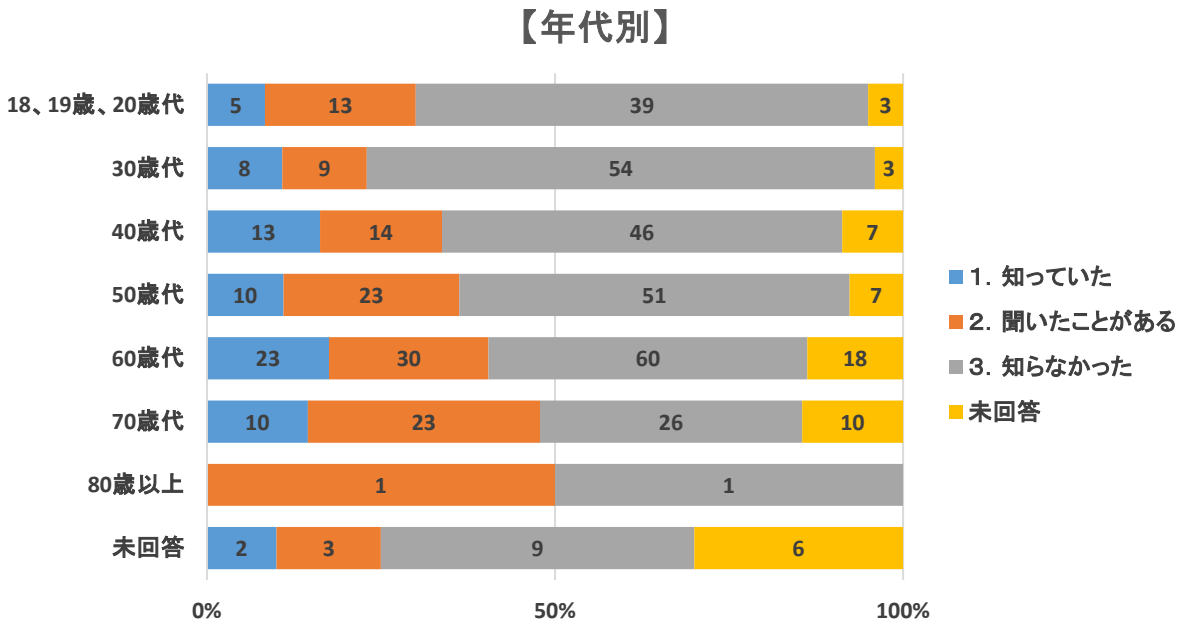
	人数	割合
一人暮らし	25	4.7%
夫婦	109	20.7%
親子	245	46.5%
3世代	106	20.1%
その他	22	4.2%
未回答	20	3.8%



【Q1】
近い将来、建替えが集中し、多額の費用が必要となることを知っていましたか。

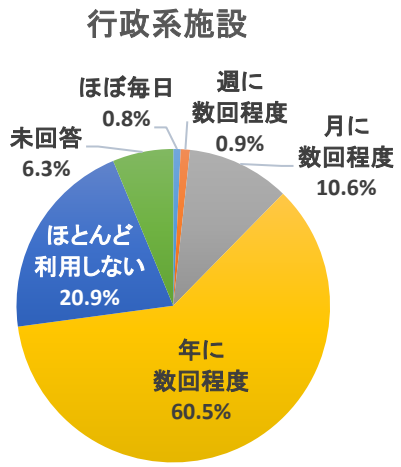
	人数	割合
1．知っていた	71	13.5%
2．聞いたことがある	116	22.0%
3．知らなかった	286	54.3%
未回答	54	10.2%

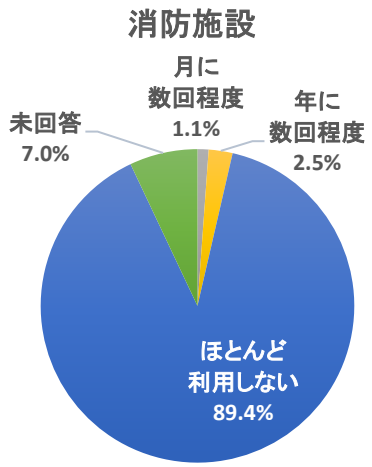


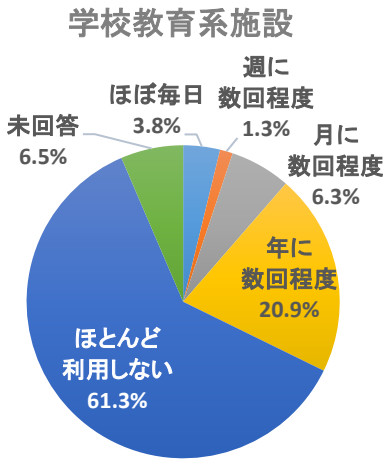


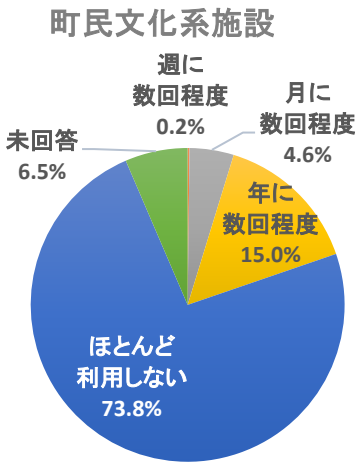
【Q2】
公共施設についてどれくらいの頻度で利用しますか。いずれか一つに○をつけてください。

	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない	未回答
行政系施設	4	5	56	319	110	33
	0.8%	0.9%	10.6%	60.5%	20.9%	6.3%
消防施設	0	0	6	13	471	37
	0.0%	0.0%	1.1%	2.5%	89.4%	7.0%
学校教育系施設	20	7	33	110	323	34
	3.8%	1.3%	6.3%	20.9%	61.3%	6.5%
町民文化系施設	0	1	24	79	389	34
	0.0%	0.2%	4.6%	15.0%	73.8%	6.5%
社会教育系施設	1	9	66	115	306	30
	0.2%	1.7%	12.5%	21.8%	58.1%	5.7%
子育て支援施設	13	3	17	26	432	36
	2.5%	0.6%	3.2%	4.9%	82.0%	6.8%
スポーツ・レクリエーション施設	2	18	25	118	330	34
	0.4%	3.4%	4.7%	22.4%	62.6%	6.5%
保健・福祉施設	1	4	11	111	366	34
	0.2%	0.8%	2.1%	21.1%	69.4%	6.5%
産業系施設	1	3	17	140	333	33
	0.2%	0.6%	3.2%	26.6%	63.2%	6.3%
公園	4	12	30	149	299	33
	0.8%	2.3%	5.7%	28.3%	56.7%	6.3%



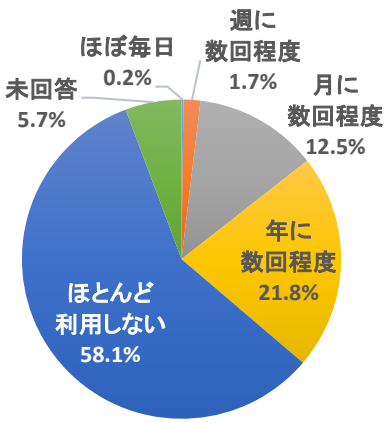




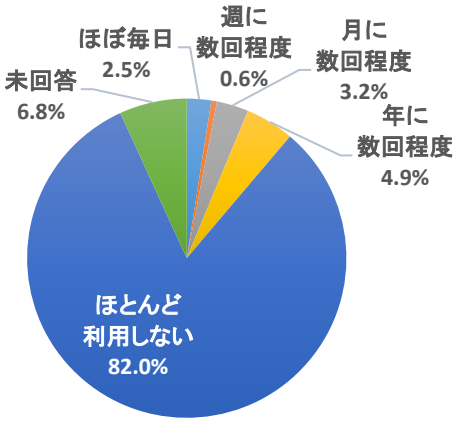


【Q2】
公共施設についてどれくらいの頻度で利用しますか。いずれか一つに○をつけてください。

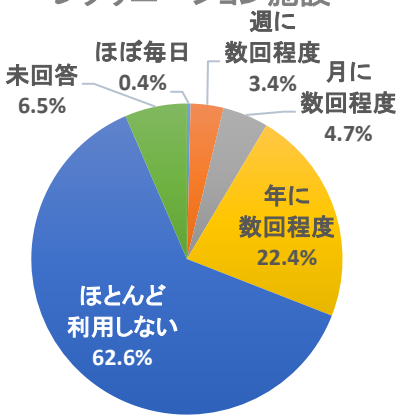
社会教育系施設



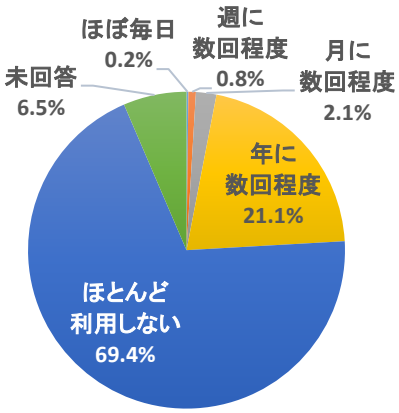
子育て支援施設



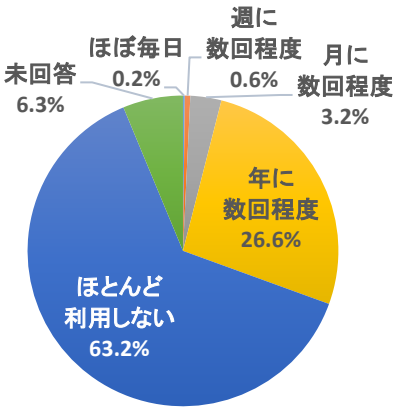
スポーツ・レクリエーション施設



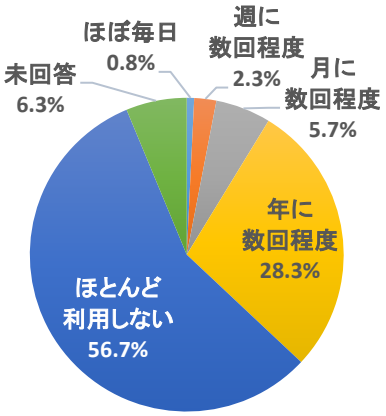
保健・福祉施設



産業系施設



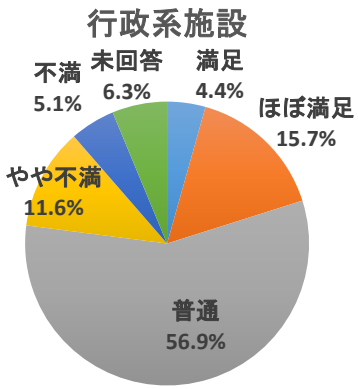
公園

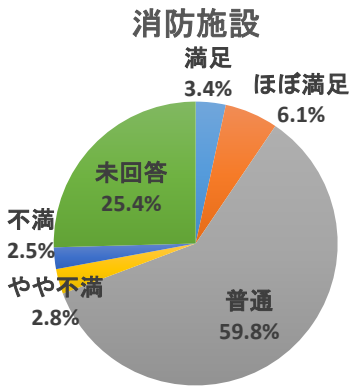


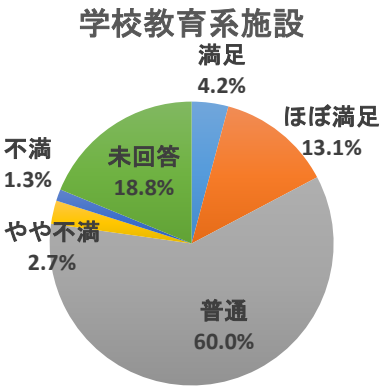
【Q3】_サービスについて
公共施設のサービス面および施設面についてはどのように評価しますか。
いずれか一つに〇をつけてください。

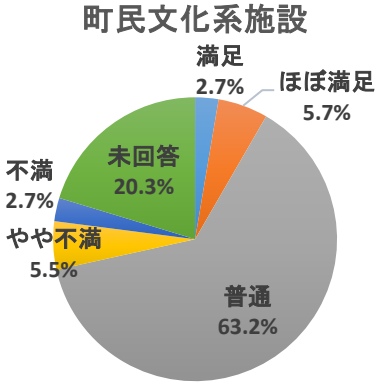
＜サービスについて（運営時間等）＞

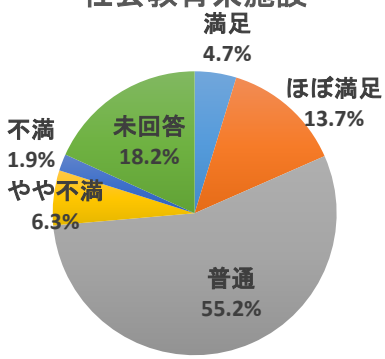
	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未回答
行政系施設	23	83	300	61	27	33
	4.4%	15.7%	56.9%	11.6%	5.1%	6.3%
消防施設	18	32	315	15	13	134
	3.4%	6.1%	59.8%	2.8%	2.5%	25.4%
学校教育系施設	22	69	316	14	7	99
	4.2%	13.1%	60.0%	2.7%	1.3%	18.8%
町民文化系施設	14	30	333	29	14	107
	2.7%	5.7%	63.2%	5.5%	2.7%	20.3%
社会教育系施設	25	72	291	33	10	96
	4.7%	13.7%	55.2%	6.3%	1.9%	18.2%
子育て支援施設	18	53	307	14	9	126
	3.4%	10.1%	58.3%	2.7%	1.7%	23.9%
スポーツ・レクリエーション施設	14	45	308	36	28	96
	2.7%	8.5%	58.4%	6.8%	5.3%	18.2%
保健・福祉施設	19	51	334	14	8	101
	3.6%	9.7%	63.4%	2.7%	1.5%	19.2%
産業系施設	15	48	330	33	11	90
	2.8%	9.1%	62.6%	6.3%	2.1%	17.1%
公園	16	46	311	40	26	88
	3.0%	8.7%	59.0%	7.6%	4.9%	16.7%

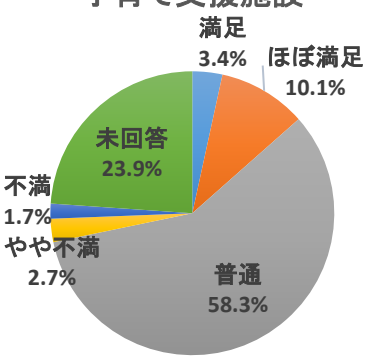






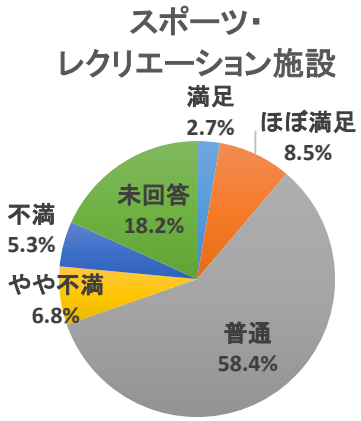


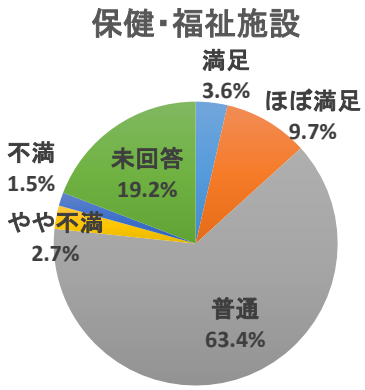


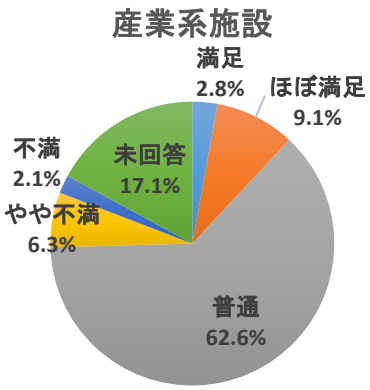


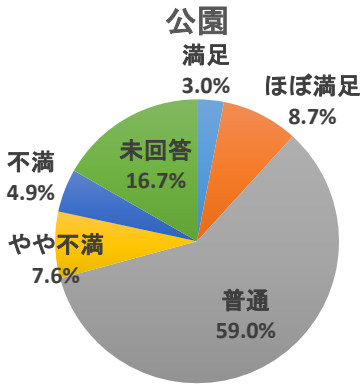
【Q3】_サービスについて
公共施設のサービス面および施設面についてはどのように評価しますか。
いずれか一つに〇をつけてください。

＜サービスについて（運営時間等）＞





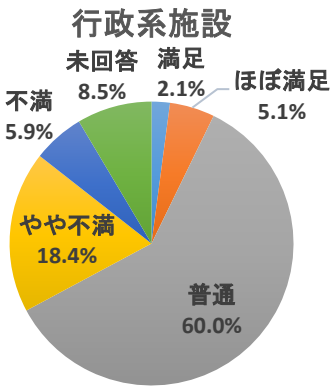


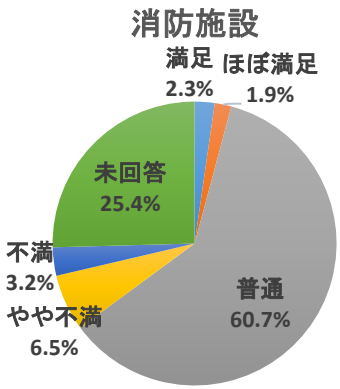


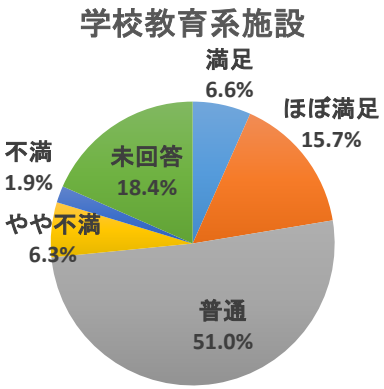
【Q3】_施設について
公共施設のサービス面および施設面についてはどのように評価しますか。
いずれか一つに〇をつけてください。

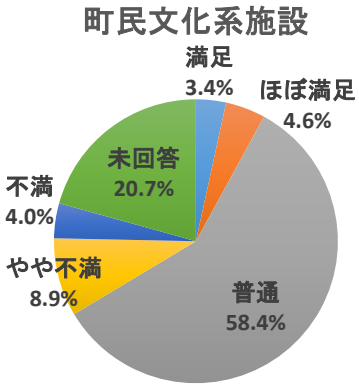
＜施設について（建物の設備等）＞

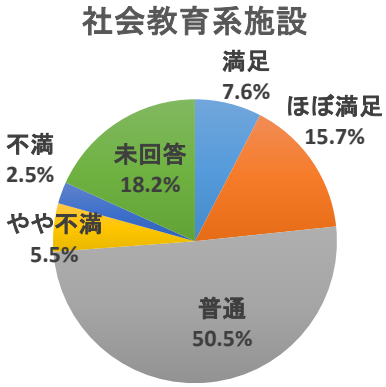
	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未回答
行政系施設	11	27	316	97	31	45
	2.1%	5.1%	60.0%	18.4%	5.9%	8.5%
消防施設	12	10	320	34	17	134
	2.3%	1.9%	60.7%	6.5%	3.2%	25.4%
学校教育系施設	35	83	269	33	10	97
	6.6%	15.7%	51.0%	6.3%	1.9%	18.4%
町民文化系施設	18	24	308	47	21	109
	3.4%	4.6%	58.4%	8.9%	4.0%	20.7%
社会教育系施設	40	83	266	29	13	96
	7.6%	15.7%	50.5%	5.5%	2.5%	18.2%
子育て支援施設	27	45	305	15	6	129
	5.1%	8.5%	57.9%	2.8%	1.1%	24.5%
スポーツ・レクリエーション施設	17	43	287	51	35	94
	3.2%	8.2%	54.5%	9.7%	6.6%	17.8%
保健・福祉施設	23	65	310	17	9	103
	4.4%	12.3%	58.8%	3.2%	1.7%	19.5%
産業系施設	18	58	311	33	16	91
	3.4%	11.0%	59.0%	6.3%	3.0%	17.3%
公園	16	41	294	56	33	87
	3.0%	7.8%	55.8%	10.6%	6.3%	16.5%

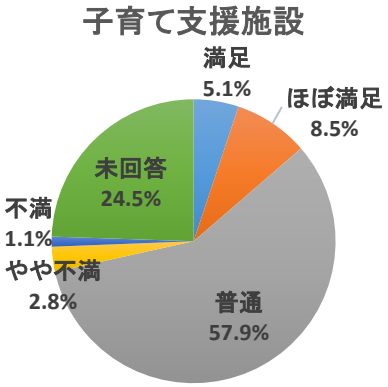






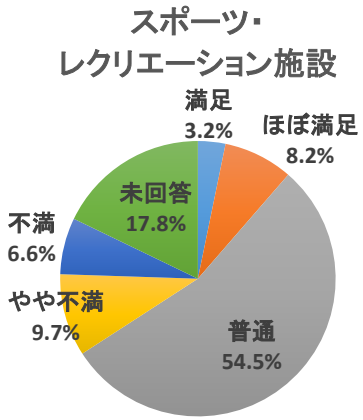


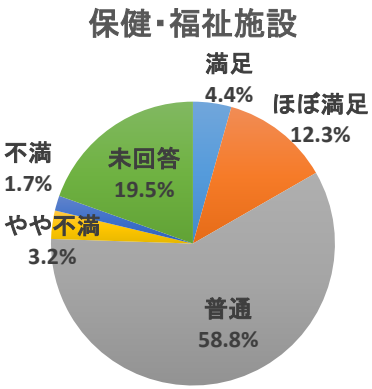


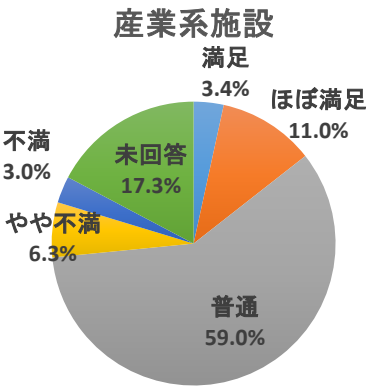


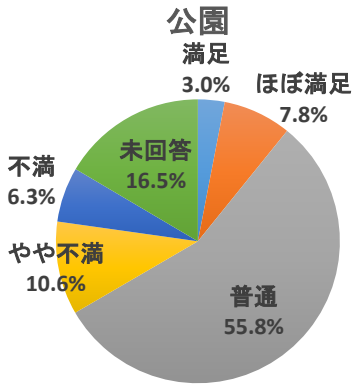
【Q3】_施設について
公共施設のサービス面および施設面についてはどのように評価しますか。
いずれか一つに〇をつけてください。

＜施設について（建物の設備等）＞



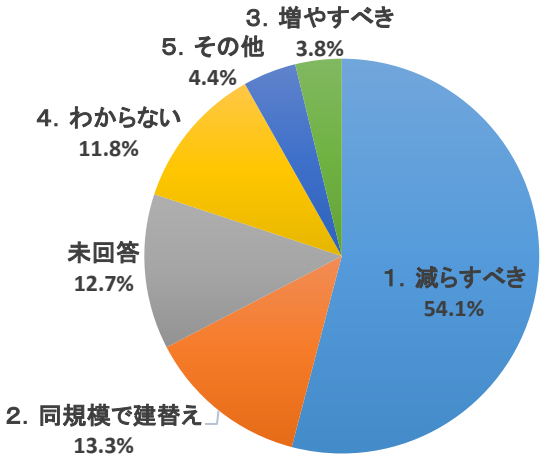




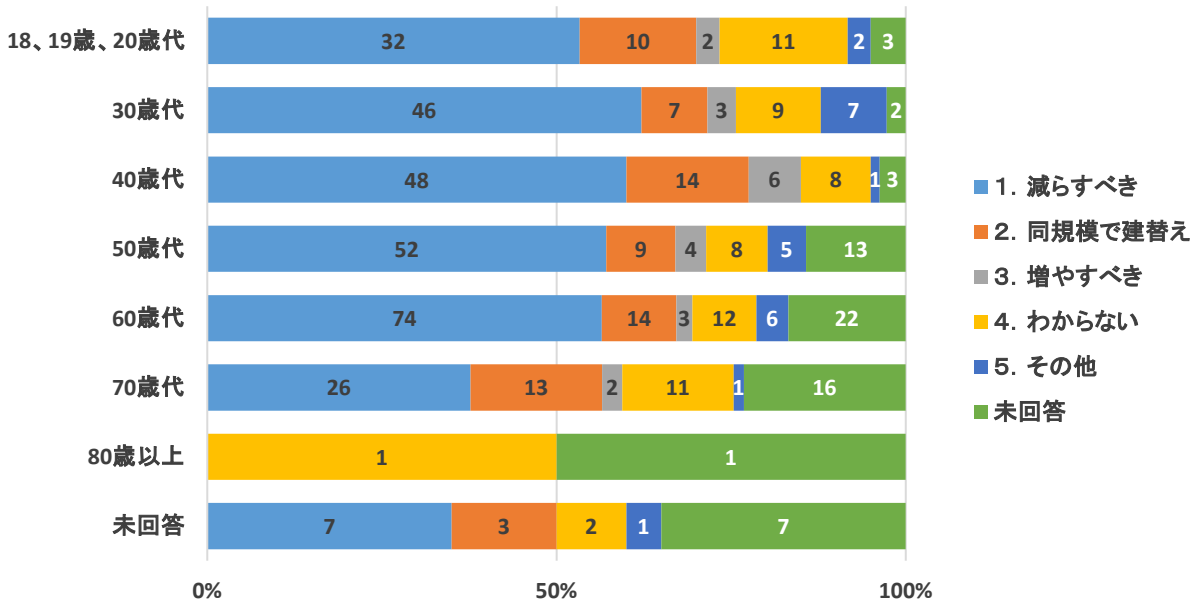


【Q4】
今後、公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきだと考えますか。
あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで〇をつけてください。

	人数	割合
1. 公共施設の役割や利用人数を評価して、町民ニーズや財政状況に見合った内容に減らすべき	285	54.1%
2. 既存の公共施設を現在のまま維持し、老朽化した施設は同規模で建替えるべき	70	13.3%
3. 公共施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てるべき	20	3.8%
4. わからない	62	11.8%
5. その他	23	4.4%
未回答	67	12.7%



【年代別】



【Q4】_5.その他_記入欄
今後、公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきだと考えますか。
あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで〇をつけてください。

【"5.その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
1	施設より内容だと思う。内容が充実すれば必要な物も場所も出てくると思う。	女性	60歳代
2	広川町役場は迷路である。武徳館と共に改修する必要あり。	男性	18、19歳、20歳代
3	社会構造の変化にあわせて変えるべき。	女性	50歳代
4	考えたことが無い。今後永住するつもりもない。	女性	30歳代
5	1に加えて増やすことも	男性	60歳代
6	公共施設を多くする事は大事だが、今の施設や広川町のテーマがわからない。エリアで公共施設をまとめてほしい。人が集中しないように。	男性	30歳代
7	老朽化した施設は補強して使用。	女性	60歳代
8	利用頻度が少ない建物については、何とか合同で利用出来るようにする。	男性	30歳代
9	あまり利用しないので分からないが、運動公園等をもっと子供・スポーツ団体が利用しやすい様に。散乱ゴミ等は利用者の代表1～2人参加で協力（年・月・何回等）。	男性	40歳代
10	公園には行きたいが、備品・環境（人気がない）を考えると利用しにくい。	女性	60歳代
11	出来るだけ施設は分散化せずに集約して駐車場などは集合できるように公共施設等（特に、スポーツ、公園、レクリエーション系）をまとめたらどうでしょうか？	女性	70歳代
12	産業展示は機能していません。既存ではなく「将来を展望する。若者の展望の館となる」ことを願っています。	男性	50歳代
13	広川町は無駄に多い。また、施設の対象者が分からない。	男性	40歳代
14	ニーズに合わせて使用可能なまとまった建物を！と考える。	女性	60歳代
15	単に予算面のみならず、将来的に町民にとって効率よく利用しやすい施設を統合的に集約する形で建てて欲しいです。	男性	50歳代
16	公共施設をもっと利用できるように積極的に進めていくべきではないでしょうか。	女性	60歳代
17	古墳公園資料館や産業展示館は利用者が多いようには見えない。将来残す必要があるか疑問です。別の施設との統合で十分と考えます。	男性	30歳代
18	地元説明会を行ってください。	男性	30歳代
19	地区、地域で施設をまとめる、集めるなどして業務を兼務し経費を減らしては…	男性	40歳代
20	施設の現状をよく理解判断し適切な対応をとっていただきたい。	男性	50歳代
21	民間資金を活用して整備。	女性	18、19歳、20歳代

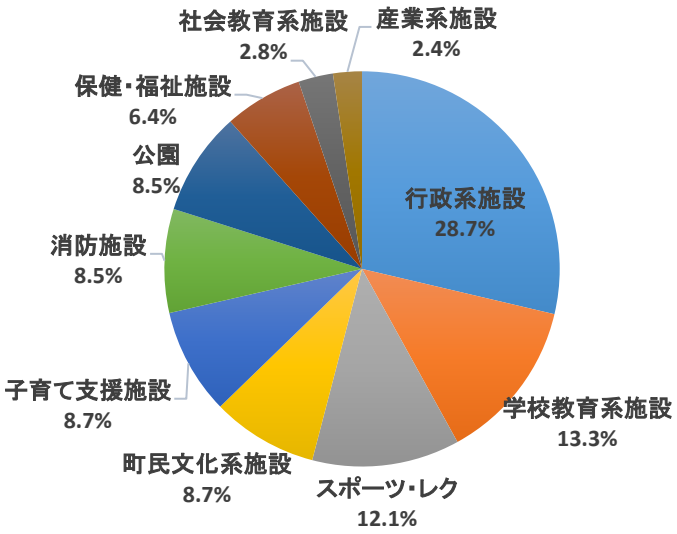
【Q4】_5.その他_記入欄
今後、公共施設の整備や管理運営についてどのように進めていくべきだと考えますか。
あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで〇をつけてください。

【"5.その他"と回答された方のご意見】

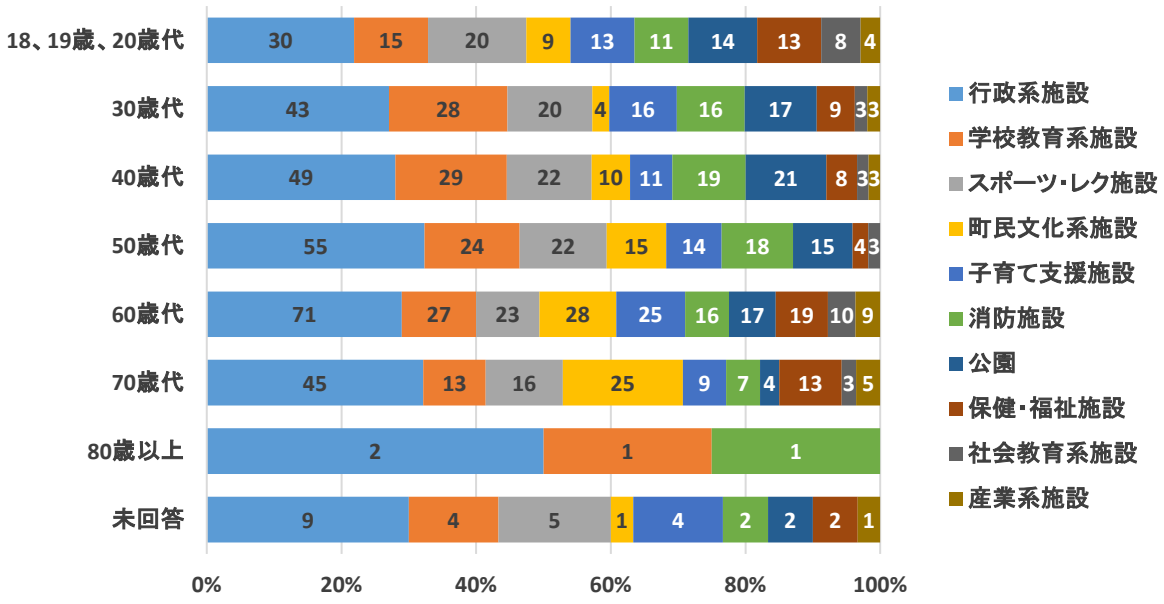
No.		性別	年代
22	広川町にお金が足りないなら施設は建てなくていい。	女性	70歳代
23	まだ住んで間もないのであまり分かりません。	女性	30歳代
24	筑後市や三潴のような親子で遊べる公園がなぜ出来ないのか不思議でならない。老朽化した部分も改築すべき。		
25	ハコ物を増やさない。	男性	30歳代
26	子供が遊ぶ公園を作って欲しい	女性	30歳代

【Q5】
優先的に改修を行う必要があると思う施設を最大3個まで選んで〇をつけてください。

	人数	割合
行政系施設	304	28.7%
消防施設	90	8.5%
学校教育系施設	141	13.3%
町民文化系施設	92	8.7%
社会教育系施設	30	2.8%
子育て支援施設	92	8.7%
スポーツ・ レクリエーション施設	128	12.1%
保健・福祉施設	68	6.4%
産業系施設	25	2.4%
公園	90	8.5%

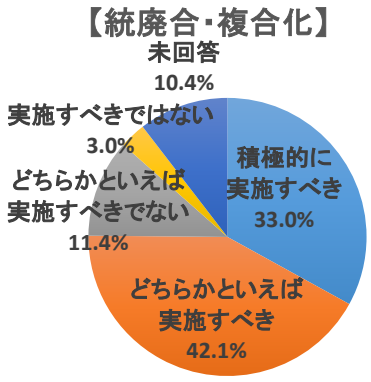


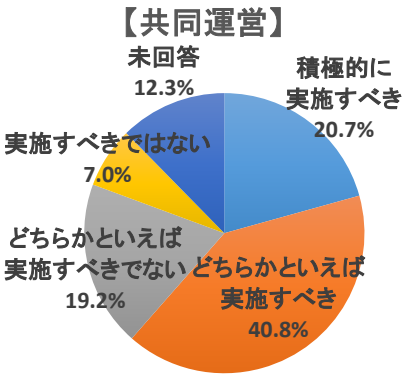
【年代別】

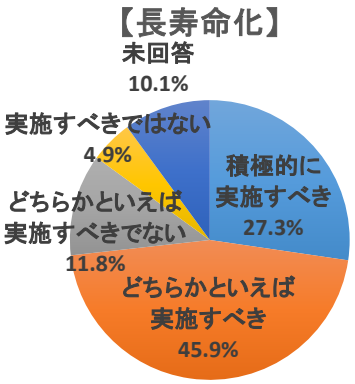


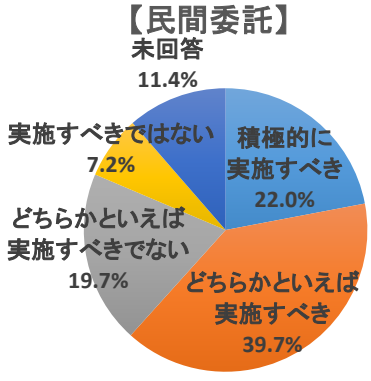
【Q6】
人口減少や少子高齢化が進行する中、どのような方策をとるべきだと考えますか。
あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んで〇をつけてください。

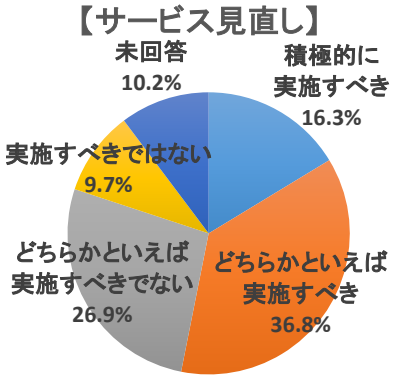
	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきではない	未回答
【統廃合・複合化】施設の統廃合や複合化により、施設数を減らす。	174	222	60	16	55
	33.0%	42.1%	11.4%	3.0%	10.4%
【共同運営】近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。	109	215	101	37	65
	20.7%	40.8%	19.2%	7.0%	12.3%
【長寿命化】施設を改修し、長期間利用できるようにする。	144	242	62	26	53
	27.3%	45.9%	11.8%	4.9%	10.1%
【民間委託】民間に施設の管理・運営を委託する。	116	209	104	38	60
	22.0%	39.7%	19.7%	7.2%	11.4%
【サービス見直し】開館時間の短縮や一部のサービスの廃止などにより、施設の維持管理費のコストを引き下げる。	86	194	142	51	54
	16.3%	36.8%	26.9%	9.7%	10.2%
【使用料見直し】施設の使用料を引き上げる。	51	110	209	102	55
	9.7%	20.9%	39.7%	19.4%	10.4%

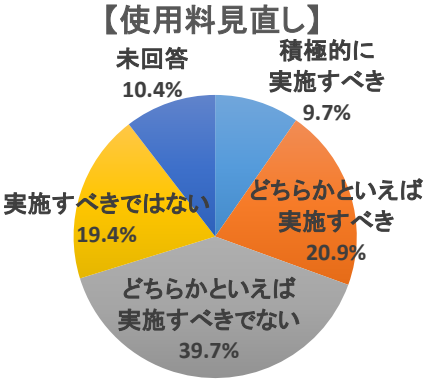






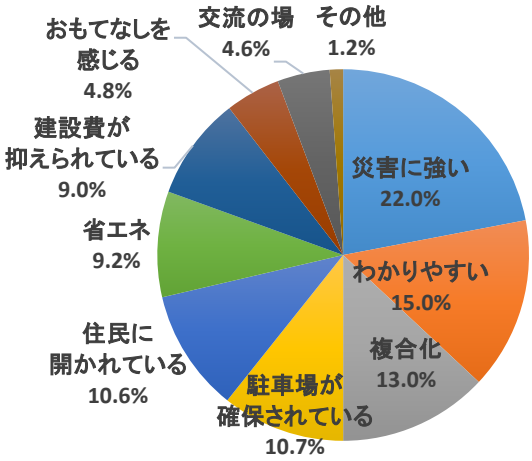




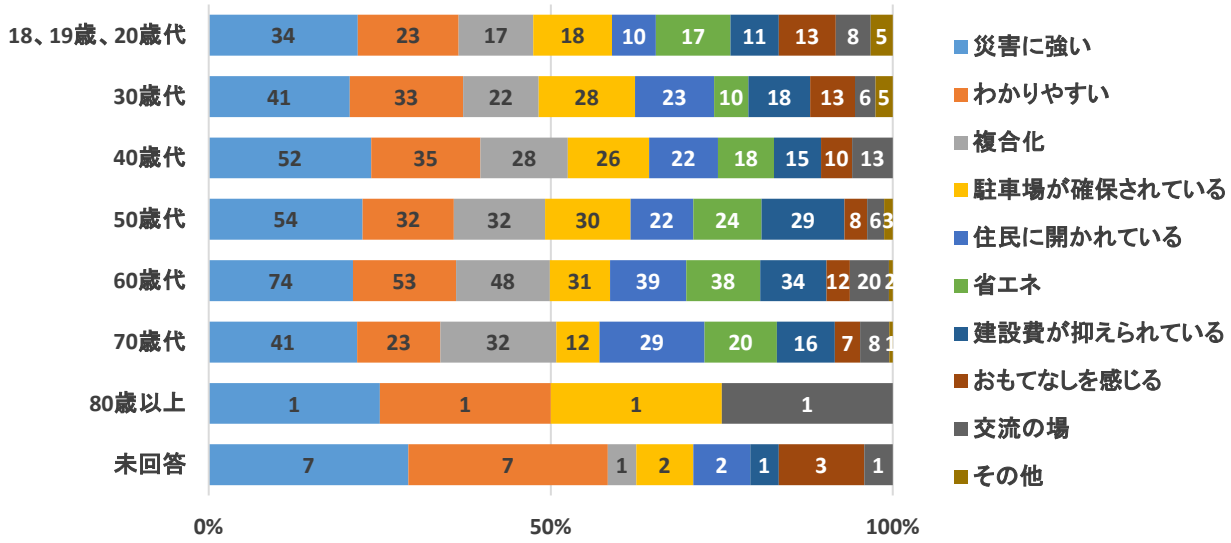


【Q7】
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

	人数	割合
防災拠点となるような災害に強い庁舎	304	22.0%
住民に開かれた庁舎	147	10.6%
おもてなしを感じる庁舎	66	4.8%
何がどこにあるかわかりやすい庁舎	207	15.0%
駐車場が十分に確保された庁舎	148	10.7%
建設費が抑えられた庁舎	124	9.0%
庁舎機能以外の施設が併設されているなど、複合化が進んだ庁舎	180	13.0%
省エネ等の環境に配慮された庁舎	127	9.2%
交流の場が設けられた庁舎	63	4.6%
その他 ※その他の要望があれば下記要望欄へ記入をお願い致します。	16	1.2%



【年代別】



【Q7】_自由記入欄
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

【"その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
1	迷路の2階・3階であり、エレベーター・エスカレーター設備が無いので身体障害者の方は非常に困っていると母から聞いたことがあります。	男性	18、19歳、20歳代
2	広川町役場は数年前の雨のときに長延川・広川が危険水位になりそうな時がありましたので、地高めをして、役場大改修をしてほしいです。	男性	18、19歳、20歳代
3	わかりやすい庁舎、駐車場の確保、省エネ等は当然の事であり期待していなくても実施すべき。	男性	60歳代
4	町の顔となる庁舎の建て替えをいそいでほしい。	男性	30歳代
5	「住民に開かれた」と「おもてなしを感じる」が抽象的すぎて意味がわからない。イメージではなく具体的な例を挙げるべき。働く側が業務をやりやすいように設計されるといいと思います。	男性	30歳代
6	バリアフリーであること。	男性	50歳代
7	現行でも不足は感じられないが、敢えてとの〇印を記したものです。それより道路行政に関して道幅の拡幅や歩道の確保及び横断歩道などのマーキングが消えかかっているなどの不備が散見されます。県道・国道は無理にしても市道などを整備していただくようお願いしたい。	男性	50歳代
8	役場機能を武徳館内で行い、早急に共に改修すべきである。	女性	50歳代
9	役場庁舎の建て替えはしなくていいのでは？	女性	50歳代
10	相談している時に、周りにいる職員さんがみんな話を聞いているのがイヤです。もっと相談しやすい様にしてください。	女性	30歳代
11	災害時に役場としての機能が出来ること。備蓄品の確保。利用しやすいトイレ。	女性	50歳代
12	システム化され効率的な業務が出来る庁舎。	男性	60歳代
13	地震の時など役場が使えないと困ると思うから。複合化とかもいいかもしれないけど予算の問題もあると思うので〇印つけていません。（どんな機能がつくかにもよるだろうけど）	女性	40歳代
14	役場庁舎の建て替えも大事でしょうが、その庁舎内で働く職員の方々のお客様に対する接し方ももう少し教育されたほうが良いと思われる。庁舎内の雰囲気が少し暗く感じられる。	男性	60歳代
15	人口減少対策もなしに、これからの税収見込みもなしに庁舎など建物のランニングコストの情報もなく建て替えなど考えられない。	男性	60歳代
16	行政と町民が親近感を持って活用できる施設であったり、誘導サイン（課名の分かりやすさや利用しやすさのサイン表示など）。それを充分に把握した職員の方々の対応サービス、コンシェルジュ役などの配置。対応ではなくパートナーシップで話しやすい空間づくりや対面テーブルなども検討してはどうか。現在のオープンな係りの机が見えるのはよいが、働く態度やサービスの悪さがあえて目に付く事もあります。目に入る、接することを考えた配置も大切です。	女性	40歳代

【Q7】_自由記入欄
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

【"その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
17	バリアフリー。職員の態度が悪い（一般企業より）顔ぶれが同じで言葉使いなど。	女性	50歳代
18	福祉課へ行くには今のままの造りでは、他の課の方々、来庁している方から丸見えで、生活保護や身体障害者の係りに行く時少し恥ずかしいので個人的な情報が判る課の造りを工夫してほしい。	女性	50歳代
19	庁舎を新しくするにあたり、上記のとおり、庁舎機能以外の施設を併設する必要があると思う。また町民の雇用を増やす様な取り組みを行なってほしい。位置的には現在の場所が良いことはわかるが過疎化の進む上広川校区についても庁舎を持っていく等、人口を増やす様な動きをしてほしい。	男性	40歳代
20	広川町はあまり災害をうけて困ったような地域ではないが、今はどこでどんな災害がおこってもおかしくない状況なので、もしもの時に安心を感じられることが大事に思う。	女性	40歳代
21	今は新庁舎は不要です。あくまで長寿命化を実施し、あと少なくとも25年使用すべきと考えます。その後であれば新庁舎の検討はありえると思います。いきなり新庁舎ではなく、まずは長寿命化を検討しないと住民は納得しません。	男性	60歳代
22	太陽光で発電蓄電地で電気を利用する。	女性	50歳代
23	庁舎へ行く小型な自動車の利用が不便ですのでこれをどうにかしてほしいです。手続きが役場でできるように別の遠い所へはいけませんので。	女性	70歳代
24	役場は町の顔となる建物なので、立派な建物にしたほうがいいと思います。今の役場だと他から来られた方に広川町はこんなものかと思われてしまいそうで…古すぎてなんだかみじめな感じがします。	女性	40歳代
25	「はなやぎの里」「いこっと」等である程度機能を持っている。この施設の建設は公共施設の全体像を長期的に考えて建設されたのではないか。	女性	60歳代
26	必要な時に利用が出来ない。誰のための建物か考えてほしい。町民は建て直しよりも利用時間を増やしてほしいのでは？防災は小、中学校で十分である。	男性	30歳代
27	老人や障害者にもいいようにエレベーターや階段に座って登れる電動椅子を設置してほしい。地震や風雨などの災害があった場合、役場に住民は集まると思われますので、それに対応できる面積や備蓄品保管所等の確保には余裕を持ってほしい。	女性	60歳代
28	車税をコンビニでも払えるようにしてほしい。同じ郡でもやってますよ（糟屋郡では）。今は女性も仕事をしている方が多くなっているので。	女性	40歳代
29	役場職員の方の接客をもう少し見直してほしい！笑顔での対応を求めます！	女性	40歳代
30	職員が働きやすく、利用しやすい耐震等の対策はもちろんだけど、なるべくコストのかからない様な方法であれば良いと思う。	男性	40歳代

【Q7】_自由記入欄
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

【"その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
31	働く人たちが利用しやすい様に、時間を7時くらいまで開けていてほしい。又、土曜日も開けてほしい。職員の方たちはどうしても"上から目線"になりやすいためもう少し、同じ目線になって丁寧に関わってほしい。	女性	50歳代
32	中途半端な改修はせずに、防災拠点となるような施設を作ったほうが良い。食堂や売店等、一般企業をいれるのも検討してよいのではないか。	男性	30歳代
33	2階、3階が有る場合、お年寄りの方が大変なので利用者限定でエレベーター等があるとよいかも。	男性	30歳代
34	Q3:サービス面について、消防施設は答えようがない。各施設、限られた人だけが利用しているように思う。	女性	50歳代
35	一極集中型にしたほうがいいと思う。	男性	70歳代
36	運動公園のテニスコートは、草が生い茂っており、使いたいと思えないような状態です。もう少し整備されると(除草やラインの清掃など)使用したいです。	女性	18、19歳、20歳代
37	庁舎内が暗く、職員の対応も暗いので、建て替えて明るい庁舎にすれば少しは明るくなると思う。地震もあったので、耐震性を高めるべき。	女性	18、19歳、20歳代
38	住民、特に高齢者に利用しやすい分かりやすい新庁舎にしてほしい。	男性	50歳代
39	広川町にこれだけの公共施設があることを、全部知らない人が多いのではないでしょうか？何らかのクラブ等に入らなければ利用できない。特に年齢により使用する差が大きい様に思います。(老人会、子ども会は多い。中間の50代などは少ない)	女性	50歳代
40	高齢化に伴い、コンパクトで建物の分かりやすい行政サービスを求む。駐車場の1台のスペースを確保(線引き等で分かりやすく停めやすくする)。	男性	50歳代
41	町長、町議は自分の家をするような気でしなさい！公共施設は費用がかかるため！	男性	60歳代
42	一般市民は役場庁舎(構造的なもの)には期待していない。安全安心に使えれば十分。それよりも人・サービス(特に人)を大いに期待する。そもそも、低地に公共施設を造ることが論外。長寿命化の本質がわかっていない。	男性	40歳代
43	役場のお庭に池やお花があって、園児のお散歩コースやお年寄りの方がちょっと休めるイスがあるような、入りやすい雰囲気がいいなと思います。噴水もいいですね。夏にはグリーンカーテンなど…。駐車スペースの確保も必要ですが、ちょっと季節感を感じられる所がいいかと私は思います。登下校中の子供の目にうつり、心がちょっと明るくなるような…そういうのを期待します。	女性	40歳代
44	庁舎に役場以外の施設もできるだけ集約、併設するなどワンストップで色々なサービスを受けられたらとても便利になると思う。たとえば、銀行や郵便局なども近くに集約できたら理想的ですが、色々と創意工夫して計画してください。	男性	50歳代

【Q7】_自由記入欄
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

【"その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
45	多機能に優れた他にはない庁舎	男性	50歳代
46	もっと使いやすい、わかりやすい、町民にもお客様にも利用しやすい庁舎を望みます。	女性	30歳代
47	殆どの公共施設を使用していない為よくわからないのが現状です。高齢化が進んでいる中で税金を上手に使用していただきたいと思います。本当に必要な事だけをしていただきたい。	女性	50歳代
48	職員の方の対応力。番号札等が無い為、窓口へ行ってもすぐに対応してくれない。	女性	18、19歳、20歳代
49	老朽化しているみたいですので建替えすべきでしょうね。暖かみのある、たとえば木を使った庁舎が出来ればいいなあと思います。補助金などを使い町の負担が少なくできる庁舎を建ててほしいと思います。	女性	60歳代
50	耐震等級3は必ず取得してください。		
51	役場内は雰囲気が暗い。ただでさえ建物が古くて中が暗いのに、スタッフの表情がなく対応が悪い。用事があって来ているんだから、窓口に来た時点でさっと立ち上がり出迎えてほしい。もっと笑顔で接するべき！！	女性	30歳代
52	今はまだ車で役場まで行けるけど、年を取ったら車で行けないので公共交通機関の整備。	男性	50歳代
53	役場に行く度、職員の対応に失望する。あんな雰囲気なら最新のコンピュータやら入れて人事を見直す方がいい。優秀な人が少なすぎる。	男性	30歳代
54	役場建替えにお金を使うのはいいですが、もっと人材教育などサービス面もがんばってください。外見だけでなく内側から改善しないと町民は納得しませんよ。	女性	30歳代
55	スポーツやジム。クラブ活動、一般の人が利用できる庁舎。体育館が欲しい。	男性	40歳代
56	小さな子供を待たせる時に、ちょっとした絵本や散らからないおもちゃなどがあるスペースなどがあると騒いだり走り回ったりしてご迷惑をかけるリスクが低くなるのではと感じています。（時間がかかる時に）	女性	30歳代
57	久留米市と合併してください。効率的になります。合併協議の時に反対した議員は責任を感じて下さい。	男性	40歳代
58	アンケート添付資料に関して。延床面積の横に〇〇系施設と写真をあげているが、他にもあるはず。他〇件と書いてもらった方が良いのではと思う。例えば今の資料では、学校教育系は広川中と上広小のみのように見える。		
59	管理・運営に経費がかかる（例えばエスカレーター）のようなのは不安と思う。職員が働きやすい（行動）事も大切。大型文化施設は八女・久留米に行ってよいが町民の為のイベント施設は早急に欲しい。	女性	70歳代

【Q7】_自由記入欄
現在の役場庁舎について、老朽化・耐震化による建て替えを検討するに当たり、新しい庁舎に期待することは何でしょうか。期待することを最大3個まで選んで〇をつけてください。

【"その他"と回答された方のご意見】

No.		性別	年代
60	新しい庁舎にしても、人の教育に対して不安を感じます。外はキレイになったとしても働く人が変わっていなければ何も変わっていないのと一緒です。庁舎として町民との対応能力の向上を期待をしています。田舎の庁舎ではなく(昭和の庁舎ではなく)現代に対応した平成の庁舎であってもらいたいです。どこかで変えなければいけないのは感じているはずです。この機会に変わって欲しいものです。	男性	40歳代
61	予算の確保が難しいのであれば費用を抑えるしかないのではないでしょうか。ムダを抑えた省エネは考えてもらいたいですし、贅沢もできないでしょう。	女性	40歳代
62	バリアフリー等、障害者・年配者が安心して訪れることができ、かつ、思いやりのある対応。環境づくりが整備された庁舎であって欲しいと思います。	女性	70歳代
63	町役場職員や町民そして他の地域や国々から来られた人々のコミュニケーションの場をつくる目的として物産等を販売する売店や食堂等を庁舎内に設けてコミュニケーションの場がさらに広がる庁舎。地域情報の拠点地として町の話題や文化、防災情報等の発信の場のコミュニティーFMラジオ局開局によって情報提供のある庁舎もしくは施設(仮名:FM.H.Machiko.chやFruitsLand.FM等)。	男性	18、19歳、20歳代
64	施設利用の把握してあるのか。古墳資料館(来場者確認)	女性	60歳代
65	3号線に近い所。	女性	18、19歳、20歳代
66	安全面を考え建替えは必須だと思います。それに伴う職員の接客対応等の意識向上を願います。	女性	60歳代
67	もっと広いスポーツレクリエーションなどが出来る庁舎があったらうれしいです。駐車場なども。	女性	50歳代
68	日曜日ではなく平日で月2回程でよいので、時間延長して開庁して欲しい。	女性	30歳代
69	いろんな所を見学されている様にきいていますし、財源も確保されている様ですので、住民にやさしくおもてなしを感じる庁舎を要望します。		
70	公共施設をほとんど利用しないのでアンケートの設問が理解できないし、答えようがない。公共施設利用者に独自でアンケートを取ったら!	男性	18、19歳、20歳代
71	もしも広川町が大きな災害に巻き込まれた場合、色々な人が気軽に安全に立ち寄れる場所になると良いなと思います。もちろん、普段からも開放的な空間であると利用しやすくて良いなと感じます。	女性	18、19歳、20歳代
72	中学校のトイレなど改修する所が多々あります。子供たちが学校生活を快適に過ごせるようご配慮お願いいたします。		
73	役場は大きく作らないで今の所を半分修理して使用する。予算がないから図書館内に作った方がお金がいらない。	男性	30歳代
74	暗い雰囲気があり、入りにくいと思うときがある。	女性	18、19歳、20歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
1	エレベーター設備を備えて頂きたい。武徳館のマイク設備は聞きづらい。	男性	18、19歳、20歳代
2	老朽化している運動施設や役場庁舎等は、多少費用が発生してもしっかり改修して、長く使えるようにした方が良いと思います。	男性	40歳代
3	空いている場所を多くの人に知ってもらい、住民が利用できるようにしたり、もし、もうあるのであれば借りられる事をわかりやすく示すといいと思う。	女性	30歳代
4	観覧席のあるスポーツ施設にしてほしい。	女性	50歳代
5	エレベーター設置のある役場に改修してほしいです。	男性	18、19歳、20歳代
6	産業展示館が不便すぎる場所にある。	女性	60歳代
7	公共施設で非電子ゲーム（ボードゲーム・アナログゲーム・人狼ゲーム等）のイベントを開催してほしい。（久留米に開催している企業・個人の方々がいるので）	男性	18、19歳、20歳代
8	各公共施設の利用度合がわかる様な資料の作成をお願いしたい。	男性	60歳代
9	役場の営業時間が不満。平日17:00までの時間帯では用があっても仕事を休んで行かなくてはならないため。月一の日曜だけでは少ない。	女性	30歳代
10	青年層を中心とした団体を立ち上げ、町を考えて作っていく事を目的として公共施設の建て方から考えたら良いと思います。	女性	30歳代
11	住宅がどんどん建ち、子供たちが遊べる自然がなくなってきている気がします。広川町の自然を生かしもっと自然の中で遊べる様な場所がほしいです。学生が静かで落ち着いた環境で勉強できる施設があったらいいと思います。	男性	40歳代
12	人口が増加していくような公共施設の建設を希望する。	男性	40歳代
13	全国的な人口減少の時代、若年者の町外流出、定住人口の確保は自治体の財政面からみても喫緊の課題です。私見ですが、今の時代、特に若い世代は、住み慣れた街に住み続けたいと思う人よりも、どこに住むかを自治体の施策（サービス）等で選ぶ時代ではないかと思います。公共施設の削減は住民に痛みを伴うものであり、削減されれば不便となることは必定ですし、住民からの反発は必至かと思いますが、町の健全な財政運営のためには避けられない課題だと思います。がんばって下さい。	男性	40歳代
14	子育て中はよく公共施設を利用させてもらいました。子育て世代と老人を中心に使いやすくするのが良いと思います。	女性	50歳代
15	人口が減少しない為にも地元の有名な産地のものを広げていくべきだと思います。わたしは最近引っ越してきましたが（約半年前）広川の有名な物がいまだに何もわかりません。やはり、地元でもたくさんイベントなどを増やすと若者も少しは広川に興味を持つんじゃないでしょうか。	女性	18、19歳、20歳代
16	多目的ホールといったものは何でも使えるかもしれませんが、何をするにも使いにくいということがよくあるため、何をするための施設かをはっきりさせておくといいかと思います。	男性	30歳代
17	道路沿いの外灯が少ないため、車の運転がしづらい。	女性	60歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
18	低年齢児（1～6歳くらい）の遊べる遊具などを公園に作ってほしい。遊具のある公園を増やしてほしい。スケートボードを歩道や車道の近くでやっていて危ない子もいるので、そういう遊び専用の場所を確保してほしい。（ツルツルの路面？ゆるやかな坂？）	女性	18、19歳、20歳代
19	役場、運動公園、産業会館など場所がバラバラで行きにくい。一つの場所に集めて町民が集う場所になる所がいい。	男性	18、19歳、20歳代
20	広川産業展示館について、広川駐車場を生かすことなくイベントやPR企画に乏しい。もっと音楽イベント（出演者募集はネットなどで）など有効に活用できるのでは？久留米絣だけにあの建物を使うつもりですか。様々なイベントは各町村（たとえば武雄市の温泉でビートルズのような）のフェス等を参考にすればいくらでも使えるはず。館員も役場仕事的でまったく活気がなく午後6時ごろに閉館。プロのミュージシャンに頼らずアマでも出られるようなイベントを立ち上げてください。よさこいなど要らない。ジャズやPOPSなつかしいフォークなど私たちが好きな音楽は幅広いです。ヒップホップなども不要。	男性	50歳代
21	武徳館は音が反響するのでいろいろな行事に参加してもダメな施設である。エレベーター設置のある役場施設。	女性	50歳代
22	建物は新しいが、トイレの汚いところがある。大事に使ってほしい。トイレはその施設の顔だと思います。	女性	60歳代
23	ゴミの収集日に高齢者が収集場所に持っていく姿を良く見かけます。久留米のように収集場所を多くしてほしい。リサイクルも公民館じゃなく家の近くには出来ないでしょうか？いつも思います。道路を渡る姿など、杖をついて持っている方もいます。広川町長、又工業団地で働く人も広川町の方は雇用はしないんですね。ほかの方が多いじゃないですか。働きたくても広川町では働く場所がない。雇用がないからです。役場の方々はいつも親切に対応してくださいます。気づくのが早いです。窓口に人が立っていたらすぐ対応（聞いてくれる）すごいと思います。他の市から来たんですけどここはすごいと思います。待たさないですよ。	男性	18、19歳、20歳代
24	子供たちが外で安心して遊べる公園、充実した遊具を設置した公園、他の市町村と比較したときに広川町は劣ります。同じ山に囲まれている筑紫野市のダムの公園はすごく大きな船型の遊具等を備えた公園があります。県外からも遊びに来られています。広川町は子育て世代に手厚いと引越しされて来る方もいます。これからも、もっと頑張ってください。	男性	40歳代
25	正直、公共施設の使い方がわかりません。私以外の方も知らない施設がたくさんあると思いますよ。だから施設に来られる方は毎回同じ人しか来てないのでは？もう少し利用しやすいようにどんなふうにして利用するのか一度きちんと説明してもらいたいです。	女性	30歳代
26	全体的に不便。地元ではなく久留米のほうを利用したい。合併したらよいと思う（久留米のほうに）。高齢者が多く若者には何も魅力がないので正直このアンケートもどうでも良い。将来は引っ越したい。	女性	30歳代
27	いろいろな施設があっても普段利用しない所は場所さえ知らない所もあります。図書館は気になるけれど八女で利用しているので今の所行った事ないです。	女性	40歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
28	小さな自治体では、カルチャー的な物もレクリエーションや交流をする場としての町民サービス的なものも、こじんまりとしていて積極的に参加しようという気は失せてしまいます。そういうものは近隣の自治体と共同でそこそこのレベルで運営できないものか…と思います。たとえば久留米の”えーるピア”程度のものを。広川町としてはこれからの自然災害の多発傾向に向けて防災時に本当にあって良かったと言えるようなものに力を注ぐべきではと思います。いずれ必ず風水害は広川にも起こりうる筈ですから。個人的な意見です。悪しからずご了承ください。	女性	60歳代
29	グラウンドや公園を芝生にする計画は無いのでしょうか。子供たちやレクレーション等のために必要であると考えます。	男性	18、19歳、20歳代
30	公共施設のある場所を分かりやすくマップにでも作成されたらいかがでしょうか？	男性	60歳代
31	孫が広川町内ですが保育園に入れないと言っていました。仕事をしたいけど条件がきびしいと言ってました。子育て支援とよくテレビでも聞きますが、それはうそですか。	女性	60歳代
32	公共施設は利用しやすくする事と場所、内容等の情報が必要であり、利用状況から分析し活用しやすい施設にするべき。建物が新しいから活用するものではないのでは？	男性	60歳代
33	中途半端な規模で作られると町外からの人をイベントなどで迎えることが難しい様に思います。町民が使うと同様に来町による観光企画、商業企画も考えて複合化は有意義ではないでしょうか。未来予測をした目的を持って投資することも大切だと思います。	女性	40歳代
34	図書館や広い公園、グラウンドや交流センターが中広校区にあり、他の校区の子供達やお年寄りが行きにくいのでははいか。中心なのは分かるけど他はどうでもいいのかな？もう少し他の場所にも作ってもいいんじゃないかな？	女性	30歳代
35	「はなやぎの里」が利用しやすくなる様に。一度も行った事がない。	女性	50歳代
36	周知の通り、人口が中広川に集中し上広川に至っては過疎化が進む一方。理由について聞いてみると、田舎だからという意見が多いようです。上広川には店もないし、アパートもないし、バスもほとんど通らない、非常に不便な所です。もっと国の援助にも頼りながら、人口を増やす様な働きを行なってほしいです。大手企業や大型スーパー（デパート）の誘致等。他大学等。	男性	40歳代
37	日曜祭日の利用できる日をもう少し増やして頂けたらと思います。現在も時折利用するがその時にどうしても利用できなかった場合はとても不安ですが、いかがでしょうか。	女性	60歳代
38	公園を作り直したりする時はもっと未来を見据え、又、他の人気がある施設をみて町の人たちの沢山の人に納得してもらえるような物を作って欲しい。公園があっても駐車場から遠すぎたりすると使いにくい。子育て世代の思いもよく聞いてほしい。これからの若い人が住みたくなるような物を作らないとどんどん人口が減ってくると思う。	女性	40歳代
39	受益者負担が基本である！！	男性	50歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
40	公共施設とはだれもがいつでも、どこでも容易に利用できることが不可欠であることは言うまでもない。職員の皆さんは住民目線で業務を遂行していただきたい。行政は最大のサービス産業ですから。	男性	60歳代
41	複合施設に切り替えていく方が良いと思います。	男性	60歳代
42	息子がスポーツをやっているので、出来ることならジムなどの施設があったらいいと思います。（町民は格安で利用できるような）	女性	40歳代
43	高齢者が多い中で機能、施設を集中化させてしまうと利用困難になる事も考えられるのだか…。	女性	60歳代
44	役人のための道路づくりはやめてください。事故の元。無駄な施設はすぐにでもなくし、太陽光でも入れて住民税にあてたら。	男性	30歳代
45	役場等のカウンターは健常者向きに作られているので車椅子や子供でも使えるような低いカウンターがほしい。役場の南側の車庫などの施設はみすぼらしいので、もう少し集約したり別の場所に移したりなど出来ないでしょうか。役場は町の顔になるので、予算は縮めてもキチンとした施設を作ってほしい。	女性	60歳代
46	仕事で広川町にいる時間が少ないため、あまり公共施設を利用することはありませんが、それでも図書館は開館時間や利用方法が利用しやすくて助かっています。武徳館はかなり老朽化が進んでいるように見えるので、もし子供が使う機会が多いのなら優先的に改修をと思います。	女性	30歳代
47	人口減少を見越して、膨大な人件費の削減をお願いします。	男性	40歳代
48	利用する側のモラルの問題とか制限の範囲等、きっちりとは決められない様な事もあると思うが、利用者が無いと意味がなくなるので、もっと活用しやすくの気持ちでやっていってもらえれば有難い。	男性	40歳代
49	公共施設、スポーツ・レクリエーション施設に逆瀬ゴットン館が入っているのは知りませんでした。ここは公共施設として本当に必要でしょうか。	男性	50歳代
50	保育所の受け入れ人数を増やしてほしいです。	女性	30歳代
51	生活するにあたって十分満足しています。無駄なお金は必要ないと思います。	男性	60歳代
52	図書館の利用時間が21時くらいまであったら毎日でも利用します。	女性	18、19歳、20歳代
53	広川に引っ越して数年です。施設はほとんど使ってないので参考にならないと思います。すみません。ただ、すべての税金が他市に比べて高いと思います。町民税、水道代など。	女性	50歳代
54	今後も広川町が存続するよう歳入に応じた施設に統廃合や複合化で施設数を減らしてゆくべきだと思います。	男性	60歳代
55	仕事におわれて公共施設を使用することがありません。防災のときの施設は必要かな？	女性	18、19歳、20歳代
56	防災の拠点となるような体育館を希望します。トイレですが、和式を嫌がる子供が多いので、洋式トイレを強く要望します。	女性	40歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
57	現在、役場へ昼休み時に行くと机で食べている人もいる事から、においが臭い。建て替え時には食堂を作り、分断していただきたい。今も出来ることなら対策を考えてもらいたい。民間（銀行等）の来客がある所でこの様なことは無いと思う。	女性	50歳代
58	町民文化施設の充実を図るため集中して総合多機能の施設を設置し、町民が多数参加できる。道の駅等により町外から人を呼び込める産業、地場産業のPRにより収益を上げるようにしたらどうかと思います。	男性	70歳代
59	古い施設は建て替えや改修をして明るく利用しやすいようにしてほしい。一般の人でも利用できる場所（音楽スタジオ、ダンス練習場など）利用料の発生する施設もあっていいと思います。利用できる場所があれば一般の人にもわかるようにお知らせを周知できるようにしてほしい。	女性	40歳代
60	久泉集会場は閉鎖すべきと考えます。利用目的、利用する人が不明。不要ではないか。一部の人にのみ利益を供与している？	男性	50歳代
61	広川町民が有効利用できる施設の確保。中規模（300～500人程度収容）コンサートホール、結婚式場、研修会議、講演等使用。音響設備の充実。低料金で町民の文化的社会的向上を図る。	男性	50歳代
62	利用の少ない公共施設はなくしてほしい。	男性	50歳代
63	住みやすい町！安心・安全の担保。若者の支援。教育・福祉・子育ての充実。	男性	60歳代
64	スポーツ・レクリエーション系施設ですが、新しく建て替えるとすれば、これまでの様なただスポーツをするだけの広い施設ではなくジムなどの運動をすることが出来る（筋トレ、ウォーキング、エアロバイク）所を町民の健康のために作ってほしい。他の市町村はもうすでにこういう施設はあります。広川町を住みたい町にしてください。	女性	50歳代
65	シルバー人材の作業に従事しております。作業の中に公園管理があり、特に、古墳公園等の除草作業では公園の利用状況に比べて維持管理費が多大であるように思われます。多すぎる樹木の伐採等、将来の負担軽減をご検討ください。	男性	60歳代
66	1～3歳くらいが楽しく遊べるような公園がほしい。久留米や広川を出て行かないと、子供が遊べるところがほとんどない。	女性	30歳代
67	公園は利用者が少ない。減らして他のことに使用。自然公園が望ましい。	男性	60歳代
68	小さい子供も大きな子供も遊べる公園を作ってほしい。又は、竜光寺公園の遊具を今の時代に合ったもので建て替えてほしい。池の周辺も危なく怖さを感じている。	男性	40歳代
69	スポーツ・レクリエーション系施設、公園について近隣の一部の者のみが利用しているほか、利用されていないものが多く、管理費のみが多いのではないか。売却等すべきではないか。	男性	60歳代
70	メンテの行き届かない施設はいらない。	男性	40歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
71	広川に住み始めてから6年余りになります。夫婦二人だけの生活です。なかなか公共施設を利用することも少なく、今後の事を考えると、誰でも気軽に足を運べる場所があれば…と思います。交流の場所（喫茶室みたいな）を増やしていただけたら嬉しく思います。	女性	50歳代
72	まわりの八女市や久留米、筑後に遊具がある公園があるのに対し、広川町には人口が多いにも関わらず、遊具の有る公園が無いに等しい。グラウンドばっかり作って。子供のために遊具を増やしたらどうでしょうか。	女性	18、19歳、20歳代
73	個別に分かれて運用されていて一ヶ所に集中されていたらと思う。役場の窓口は高齢者に親切に理解できるように課のオブザーバー的に接していてほしい。又、その場所より遠くに暮らす者には行きづらい。	女性	60歳代
74	図書館がきれいになって広く明るくなったのが嬉しいです。今後も活用させていただきます。ありがとうございます。	女性	40歳代
75	3号線・高速に近い。都市寄り。	女性	70歳代
76	20年先を見た行動。	男性	60歳代
77	早急に庁舎を建て直すべき。	男性	40歳代
78	いこっとのトイレに幼児用チェアがあればいいと思う。子育てしやすい公共施設、公園の充実、遊具、広いスペース等、ちょっと行って遊べる公園があればいいなと思います。久留米の浦山公園みたいな…	男性	18、19歳、20歳代
79	空地を利用した町営発電システム	男性	50歳代
80	公共施設の管理方針を明らかにし、住民の理解を得られるようにすべきと考えます。	男性	60歳代
81	せっかくあるのに「もったいない！！」にならないよう、フル活用できる施設を目指したい。	女性	30歳代
82	利用していない所もありますが、建替え必要な所はたくさんあるみたいですね。新しく建替えできればもっと利用者も増え、住み良い広川町になるのではないでしょうか。	女性	60歳代
83	自分が利用しない施設については、よく分かりませんでした。広川町に住み始めてまだ日が浅く分からないことばかりでアンケートのお役に立てるか分かりません。途中、分からず記入していないところもあります。すみません。	女性	30歳代
84	広川町の庁舎（役場）も老朽化が進んでいる様に拝見します。地震や台風など過去に考えられない様な災害が起きる時代。災害で庁舎が被害にあい、庁舎としての機能が出来なくなる事が心配です。町の中心として安心な建物、広い避難場所が必要だと思ってます。広川町図書館（いこっと）は子供達がよく利用させていただいています。明るくきれいで本やDVDが観れて子供たちも私も喜んでます。	女性	40歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
85	何をするにも今の時代、防災を第一に考えるべきだと思う。災害時に活用できなければ意味ない気がします。強度ももちろんだが地震の際など車中泊できるスペースのある駐車場など安全な場所の確保をお願いします。熊本地震を経験して日頃からどこに逃げようか考えます。子を持つ親として守ることに必死になります！！	女性	18、19歳、20歳代
86	一条から中広まで出かけるのに自分で車の運転が出来ませんので、中々利用しません。色々な事はわかりませんので…。グラウンドゴルフの時に久泉、ゆのそ公園にお世話になってます。	女性	70歳代
87	中広川学童は生徒数の割に狭すぎる。あんなに狭い所に入って、子供が過ごせる訳がない。	女性	30歳代
88	武徳館はもう少しラインとかをきちんと整備して、使用料を下げてほしい。	女性	18、19歳、20歳代
89	高い町民税を払っているので、住みやすい街にして欲しい。	男性	40歳代
90	運動公園等の施設を休日にもっと気軽に利用できるようにして欲しいです。	男性	18、19歳、20歳代
91	公共無線LANの導入を検討してゆくべき。	男性	60歳代
92	図書館の清潔感は素晴らしいです。よく利用させてもらっているが、全く嫌な気は起きない。	男性	30歳代
93	子供が少ないから施設を減らすというのはやめて下さいね。子育てしやすい町にする事で移住者を増やせば、予算の確保もしやすくなるでしょ。子供はたくさんいるのに、公園の遊具が整備されてない為遊べません。近くにせっかく公園があるのに老人だけ（ゲートボール）が使ってるばかりです。老人に予算使いすぎです。区に払われるお金も無理やり使って、無駄な物買ってるだけです。※上広小の時計台の修理をお願いします。時間がずれたまま放置です。	女性	30歳代
94	町の財政が厳しい中、町民の意見を取り入れる取り組みは素晴らしいと思います。日々大変かと存じますがぜひ頑張ってください。無理をなさらぬようご自愛下さい。	男性	30歳代
95	公園などは遊具を置くなど、子供たちが楽しめるよう期待します。そしてサイクリングコースなどあれば、なお良いです。	女性	30歳代
96	竜光寺公園のように遊具がある公園が家の近くにあるといいなあと思います。（子供達だけで行ける距離に公園がないため。）	女性	30歳代
97	こんなアンケートをやらないで地元に聞いてください。委託費用の無駄です。把握していないんですか？アンケートによる方針設定を行っても反対やクレームは増える一方です。	男性	30歳代
98	どの施設も駐車場が少ないと思う。老朽化して活気もなく暗い感じがする。	女性	50歳代
99	各行政区の中にて、区費がバラバラである。特に、老人の多い区、人口減少区においては、年金生活者が増す中、区運営において厳しいものがある。どうしても少しずつ行事を減らす方向にかじ取りしていかなければならなくなっていくのではと思う。どうしても今後共、公共施設を頼ることは多くなっていくと思います。	男性	60歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
100	施設内のあまり活用されていない区域を気軽にレンタルルームとして利用できないか（交流会、クリスマス会、お別れ会、習い事等）。使用料金をはっきりと広報等で提示することで利用者が増えるのではないか。	女性	30歳代
101	図書館の書籍を充実していただければと思います。	男性	40歳代
102	上広川校区が過疎化というが、広川町は地理的には大変恵まれている。交通アクセスを良くして住み良い上広川にして昼間は中心部、住環境は上広川でという充実整備を！！せいぜい人口増も2～3万。広川町の独自の特色を生かし、バランスの良い魅力的な町であって欲しい。中学校1、小学校2校でよいのでは。	女性	70歳代
103	近くに公園がない。	男性	50歳代
104	広川町には行きたくなる公園がありません。他の町へ孫と車で出かけます。近くに歩いて、または自転車で行きたい。遊具の充実ではなく自然を利用して時間を過ごせる様な場所があればいいなと思います。	女性	60歳代
105	図書館にある本は比較的新しい本が多いようです。昔から読み継がれてきている本や似たような内容、タイトルでも著者によって考え方や見解が違った本が少ない様に感じます。雑誌の豊富さはありがたく思っています。流行、最新だけでなく古き良き書物も増えると嬉しく思います。	女性	30歳代
106	公共施設は防災拠点になるため災害に強い建物、設備（停電でも機能する）にすべきだと思います。	男性	50歳代
107	遊具が充実した、開放的な明るい公園（竜光寺公園は特に木が生い茂って暗い感じがする）。歩道をもう少し整備してほしい（子供の安全のため）。	女性	30歳代
108	夜道など歩くとき、電灯があまりないので怖いです。もっと電灯などがあると女性でも夜安心して歩けると思います！！	女性	18、19歳、20歳代
109	公共施設として不必要なものが見受けられます。その作りなどにも、将来をお考えなのか疑問が湧くこともあります。利用頻度が少ないものや、平等に使えないような施設は未来へ有効なものへ変えて行くことが望ましいと考えます。専門のコンサルタント（利害関係者以外）を入れて進めた方が良いと思います。	女性	40歳代
110	出来るだけ利用者自身が公共物を大事に扱うようにしていかなければならないと思うし、使用回数の多い人がある程度費用を負担するべきだと思う。無駄をなくし、若い世代向け、子供向けの公共施設に重点を置くべきだと思う。また、複合化、集中型の施設を増やしていくという案は大いに賛成である。	男性	30歳代
111	Q7のその他記入欄でここ八女郡広川町にもコミュニティーFMラジオ局が開局された庁舎や施設と述べましたが、その意見が思い立ったきっかけは今年の4月14日に発生した熊本地震です。その災害を機に私の家ではラジオはRKB、NHK福岡第一を加えて久留米市のコミュニティーFM「DreamsFM」を聞き始めました。それにより地域情報発信源のコミュニティーFMラジオ局の重要性を実感しました。身体障害者枠の町の職員を増やしてほしいです。悩み等を打ち明けやすく、励みにもなります。下広川区と中広川区との差がありすぎるので下広川区にもう少し賑やかになってほしい。中広川区まで遠く感じます。	男性	18、19歳、20歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
112	図書館の開館時間を土日だけでものばしてほしい（学校が終わる時間が遅いため、借りられないから）。公共施設の集会所(?)を利用したいが、どうやったら利用できるのかわからないので教えてほしい。	女性	18、19歳、20歳代
113	スポーツが併用できる、明るい公園が欲しい。筑後広域公園はとても良いですよ。	男性	40歳代
114	子供が外遊びをたくさんできる、学校の後に利用できる場所（遊具の充実した公園等、明るい）を広川町内に作って欲しい！（小学校の運動場くらいしか広い所がない印象）。車でわざわざ移動しないと行けない（竜光寺等）。筑後の水辺公園的な場所。徒歩、自転車で移動できる範囲内で。	女性	30歳代
115	カフェスペースがあれば（図書館内など）。役場に行くと、挨拶しても職員の方が返事をしてくれません、又、返してくれても声が小さい。カフェがあれば図書館で本がいっぱい読めます。	男性	18、19歳、20歳代
116	一般の人が自由に遊ぶことの出来る広場が大変少ない。友人とキャッチボール等、簡単なスポーツを行なえる程度の敷地のある広場を。	男性	18、19歳、20歳代
117	公共施設にもよりますが、建替えるとき地下も利用したらいかがでしょうか。	男性	70歳代
118	災害時の避難場所が一目でわかりやすい様に大きな字で道路沿いに看板を掲げて欲しい（個人的意見です）。施設の複合化に賛成です。一つの建物の中で多目的に利用できるホール、福祉やスポーツ娯楽、一般の方が身近に利用できる、又、ある程度の利用料も支払ってでも活用したい建物が欲しい。	女性	60歳代
119	広川町にはもったいない場所が多いと思います。それをなくせば解決すると思います。どうしても、校区でさえも知らない場所があるのに、全体でどこに何があると興味がない人も多いと思います。本当に必要な場所を作ることが大切なことだと思います。管理出来ない様であれば作る必要はないと思います。	女性	30歳代
120	広い駐車場やレクリエーション・スポーツなどができる場所があったら助かります。災害などの時の避難場所もいろんな所にあったら助かります。	女性	50歳代
121	このアンケート結果を広報紙か何かで公表してほしい。	女性	30歳代
122	今、健康志向になってきてるので空き施設にトレーニングマシンなど設置して、使用料を頂き収益を上げるのはどうでしょうか。	男性	40歳代
123	下の様なアンケートを取るという事はこのアンケートに参加した人がわかるのではないですか。役所としてやるならこの様なアンケート（7/7ページ）はやらない方が良いのではないですか。広川町の総務課の品位が下がります。		
124	あまり利用しないので。	男性	60歳代
125	公共施設は今後使用できる物件は利用し、改修の必要がある物件は最低限の予算で建替える。本当に必要な公共施設（広川町の観光をみこした建物、道の駅など）は建ててもいいのでは！	男性	18、19歳、20歳代
126	開放的で利用したくなるような多機型の公共施設があるといいなと思います。	女性	18、19歳、20歳代
127	公園にあるアスレチックなどの老朽化が進んでいる為、子供たちがいつケガをするか分からない状況。アスレチックなど見直しも必要。	男性	30歳代

【Q8】
その他、今後の公共施設の活用について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

No.		性別	年代
128	これから先は、やはり万が一に備えた公共施設です。災害時に何でも変身できるような。町民の身の安全を護る事が第一だと思います。	女性	50歳代
129	広川の予算が少なく併用して使用する。今は作らない！地震や災害が多く建てない方が良いと思う。新しく建ててもM7．５～８くると崩れる！	男性	30歳代
130	町外で就労していると町内施設の利用が限定的になります。広域的に連携して施設建設・運用した方がよりよい施設を町外職場近くのものを利用でき効果的だと思います。	男性	50歳代
131	これから公共施設の老朽化が進み建替えなども必要になるでしょうが、出来る限り今残る自然の風景など残してくださるようにお願いします。	女性	60歳代
132	いこっとをよく利用させていただいていますが、利用者が結構多いため、開館の朝10時には人がおしよせ、勉強場所のとりあいのようになっています。勉強スペースなどがあれば、とても便利だと思います。そのようなスペースがないため、図書館の机を占拠し、本を読みにきた人が座れないことがあると思います。今のところ、平日を除いて、ご老人などより小中高生が多く見られます。広川町には勉強できる公共施設がまったくないため、困っています。	女性	18、19歳、20歳代